らくらくスマートフォン3

ISSUE DATE: '14.7

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書　F-06F

はじめに

「F-06F」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書の構成

「かんたん操作ガイド」（冊子）

本端末の代表的な機能の操作方法を説明した取扱説明書です。説明に沿って操作することで、F-06Fの基本的な機能が使えるようになります。

「らくらくスマートフォン3をお使いになる前に」（冊子）

本端末をご利用いただく際の大切なお知らせをまとめています。ドコモminiUIMカード、microSDカード、電池パックの取り付け方法や充電のしかたなどはこの冊子をご覧ください。

「使いかたガイド」（本端末に搭載）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈操作手順〉
標準：ホーム画面で［使いかたガイド］▶検索方法
シンプル：待受画面で［使いかた］▶［使いかたガイドを読む］▶検索方法

「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉
https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本書の見かた

- 「F-06F」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。また、ホーム画面や待受画面はお客様の契約状態によって異なります。
- お買い上げ時に設定されている「標準メニュー」を主体に説明しています。「標準メニュー」と「シンプルメニュー」とで操作方法が異なる場合には 標準 、シンプル のマークを付けて区別しています。
- 「シンプルメニュー」のメニュー項目は［リスト］にしている場合で説明しています。［タイル］にしたときには、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがあります。
- 本書は端末色が「レッド」、配色テーマの設定が「レッド」の場合で説明しています。
- らくらくタッチの設定が有効の場合で説明しています。
- 「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作を表しています。
- 操作の説明では、ボタンを押す動作をイラスト（→p.17）で表現している箇所があります。
- 代表的な操作の方法を説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。

標準

標準メニューにしているときの操作方法を説明していることを表しています。

1 ホーム画面で［メール］

標準メニューのホーム画面で メール をプレスします。

2 ［送受信履歴］▶［受信した人］／［送信した人］

送受信履歴 をプレスします。

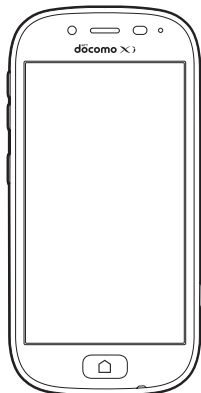
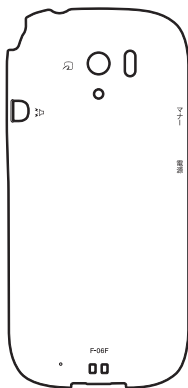
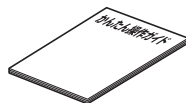
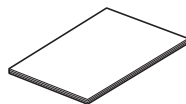
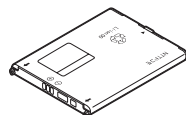
目的に沿って［受信した人］または［送信した人］と表示されているところをプレスします。

履歴の一覧が表示されます。
- ［受信履歴を削除する］／［送信履歴を削除する］をプレスすると、履歴をすべて削除できます。
- 履歴を選択すると、メールの作成、電話帳に登録・追加、履歴の削除の操作ができます。

操作の結果と補足的な説明をしています。

- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

■F-06F本体（保証書付き）

■リアカバー F83

■かんたん操作ガイド

■らくらくスマートフォン3をお使いになる前に

■電池パック F30

■卓上ホルダ F46

- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモホームページをご覧ください。
  https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/

目　次

海外利用 122

付録／索引 127

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、カメラ起動中のスクリーンショット音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、BluetoothLE設定のFind Me通知音は鳴ります。公共モード（ドライブモード）に設定している場合は、さらにタッチ／プレス操作の操作音も鳴ります。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は、ホーム画面で［自分の電話番号］をプレスしてご確認いただけます。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→p.133
- 端末の品質改善に対応したアップデートを行うことがあります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末では、あらかじめインストールされているアプリのほか、dメニューの「お客様サポート」からダウンロードできるアプリをご利用になれます。その他のアプリをブラウザやGoogle Playからダウンロードすることはできません。
- 万が一本端末を紛失した場合は、パソコンメールで利用している各種アカウントを他人に利用されないように、パソコンからパスワード変更や無効化を行ってください。
- 紛失に備えセキュリティロック画面を設定し、端末のセキュリティを確保してください。→p.109
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットY以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用時の料金など詳細については、https://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能について→p.14「防水／防塵性能」

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリや通話、ワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはアクリル樹脂を使用し、割れた際にも飛散りにくい構造となっておりますが、破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

ワンタッチブザーを鳴らす場合は、必ず本端末を耳から離してください。
難聴の原因となります。

⚠注意

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
漏れた内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→p.9「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、充電端子、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意

ドコモminiUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／なし
外装ケース	フロントケース（レッド／ホワイト）	PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	フロントケース（ブラック）	PA-GF樹脂／ウレタン系塗装
	リアケース（レッド／ホワイト）	PC+ABS-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアケース（ブラック）	PC+ABS-GF樹脂／ウレタン系塗装
	リアカバー（レッド／ホワイト）	PC-GF樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアカバー（ブラック）	PC-GF樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／ウレタン系塗装
ホームボタン		PC樹脂／透明UV
ワンセグアンテナ	先端部（レッド／ホワイト）	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	先端部（ブラック）	PC+ABS樹脂／ウレタン系塗装
	パイプ部	ステンレス鋼／なし
	根元屈曲部	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	根元回転部	黄銅／ニッケルメッキ
赤外線ポート	パネル	PC樹脂／UV
外側カメラ（カメラパネル）	パネル	アクリル樹脂／なし
	外周リング	PC樹脂／不連続蒸着
フラッシュレンズ		アクリル樹脂／なし
カメラボタン（レッド／ホワイト）		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
カメラボタン（ブラック）		PC樹脂／ウレタン系塗装
電源ボタン、音量ボタン（レッド／ホワイト）		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源ボタン、音量ボタン（ブラック）		PC樹脂／ウレタン系塗装
ワンタッチブザースイッチ		POM樹脂／なし
外部接続端子キャップ（レッド／ホワイト）		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ（ブラック）		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／ウレタン系塗装
充電端子		PC樹脂＋ABS樹脂／金メッキ
ネジ		ステンレス鋼／なし

使用箇所		材質／表面処理
電池収納面	基板	ガラエポ／ソルダーレジスト＋金メッキ
	銘板シール	PET／なし
電池パック F30	本体	PC樹脂／なし
	端子部	ベリリウム銅／金メッキ
	ラベル	PET／黒色印刷文字
卓上ホルダ F46	上下ケース	ABS樹脂／なし
	スペーサー（L・R）、フロントフック、サイドレバー、充電端子（レバー）	POM樹脂／なし
	充電端子（接点部）	りん青銅／金メッキ
	ゴム足	ポリウレタン／なし
	外部接続端子	ステンレス鋼／錫（スズ）メッキ
	ラベル（上ケース）	ポリエステルフィルム／なし
	ラベル（下ケース前、下ケース後）	アート紙／なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-06Fは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

◆アダプタについてのお願い

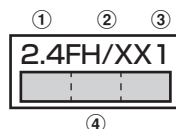
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

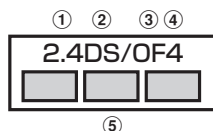
利用可能なチャネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetooth機能の使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  本端末の無線LAN機能が使用する周波数帯は、本端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▭▭▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャネルおよび5GHz帯の120～128チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5,180～5,240MHz（36、38、40、42、44、46、48Ch）
- 5.3GHz帯：5,260～5,320MHz（52、54、56、58、60、62、64Ch）
- 5.6GHz帯：5,500～5,700MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140Ch）

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- **本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター，P2P機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**
- **航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。**
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク〒」が本端末の銘板シールに表示されております。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-06Fは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-06FにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-06Fを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）

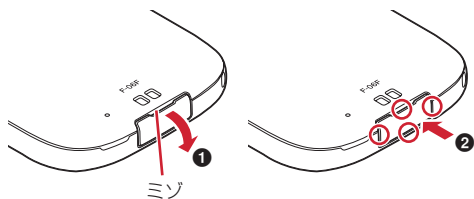
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

❖F-06Fが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - 外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→p.14）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→p.16）で水抜きしてください。
- **風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→p.16）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子を使用するときにはミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを矢印（❶）の方向に開け、使用後は外部接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印（❷）の方向に押し込みます。○部分をしっかりと押し、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。

- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」で説明しています。→p.20
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイクなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

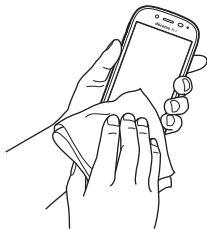
また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

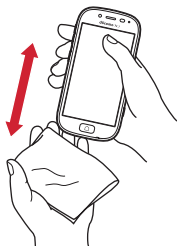
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダに本端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→p.14）以上の強い水流を直接当てないでください。F-06FはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、ボタン、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。

④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

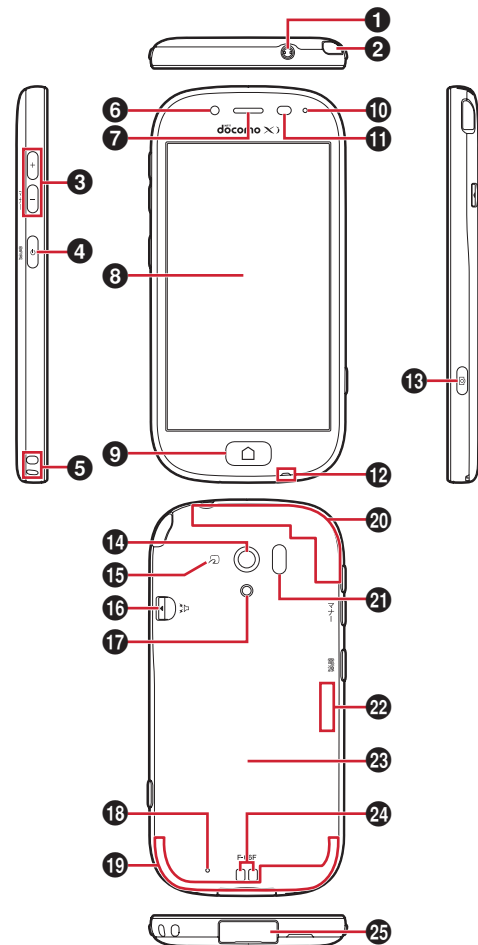
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

❶ **ステレオイヤホン端子（防水）**
❷ **ワンセグアンテナ※1**
テレビ視聴時に伸ばします。
❸ **音量ボタン（[+][−]ボタン）**
各種機能の音量を調節します。[−]ボタンを1秒以上押すと、マナーモードの設定／解除ができます。
❹ **電源ボタン（[⏻]ボタン）**
画面を消灯／点灯させます（スリープモードの切り替え）。[⏻]ボタンを2秒以上押し続けると電源が入ります。携帯電話オプションメニューが表示されるまで[⏻]ボタンを押し続けて電源を切る、再起動の操作や、マナーモード、公共モード（ドライブモード）、機内モード、非常用節電モードの設定／解除ができます。
❺ **ストラップホール**
❻ **内側カメラ**
❼ **受話口／スピーカー**
❽ **ディスプレイ（タッチパネル）**
❾ **ホームボタン（[⌂]ボタン）※2**
ホーム画面を表示します。
❿ **お知らせランプ（着信ランプ）**
⓫ **近接センサー／RGBセンサー※3**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。RGBセンサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。
⓬ **送話口／マイク**
⓭ **カメラボタン（[📷]ボタン）**
ホーム画面や待受画面で長く押すとカメラが起動します。
⓮ **外側カメラ**
⓯ **マーク**
マークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして利用できます。
⓰ **ワンタッチブザースイッチ（スイッチ）**
スライドしてブザーを鳴らします（お買い上げ時の設定を変更する必要があります）。
⓱ **フラッシュ／ライト**
⓲ **背面マイク**
通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようご注意ください。
⓳ **Xi／FOMAアンテナ部※4**
⓴ **GPS／Xiアンテナ部※4**
㉑ **赤外線ポート**
㉒ **Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部※4**
㉓ **リアカバー※5**
リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。
㉔ **充電端子**
㉕ **外部接続端子**

※1 ワンセグアンテナを伸ばした状態でも防水／防塵性能を有しています。
※2 メディアプレイヤーやラジオなどアプリによっては、終了せずに起動した状態（バックグラウンド動作）のままにすることができます。
※3 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。
※4 本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
※5 リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

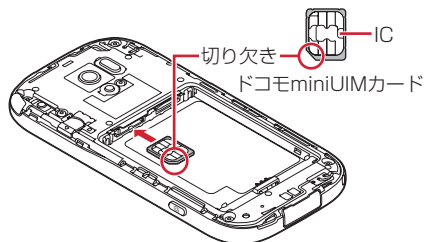
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信などの機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→p.20

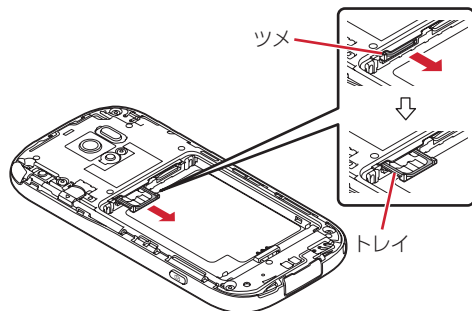
■取り付けかた

① ドコモminiUIMカードのIC面を上にして、ドコモminiUIMカードスロットに差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

■取り外しかた

① トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す

② ドコモminiUIMカードを軽く押さえながら、矢印の方向へ引き出す

- このときドコモminiUIMカードを下方向に強く押し付けないでください。

③ トレイをまっすぐ水平に差し込む

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイは外れない構造になっています。トレイを引き出す際はトレイ引き出し位置（トレイが自然に止まる位置）を目安とし、無理に引き出さないでください。トレイが破損する恐れがあります。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.109

microSDカード

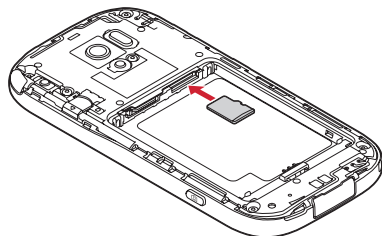
◆microSDカードについて

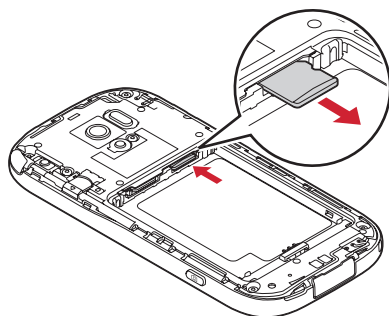
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、64GBのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2014年7月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。

◆microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→p.20

■取り付けかた

① **microSDカードの金属端子面を下に向け、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む**
  - microSDカードの向きにご注意ください。

■取り外しかた

① **microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す**

✔お知らせ

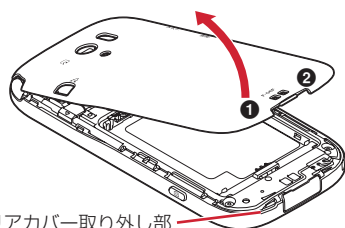
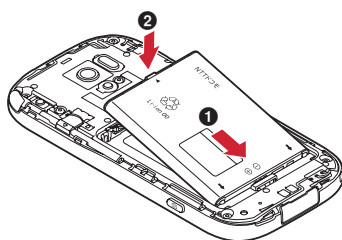
- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

電池パック

◆電池パックの取り付け／取り外し

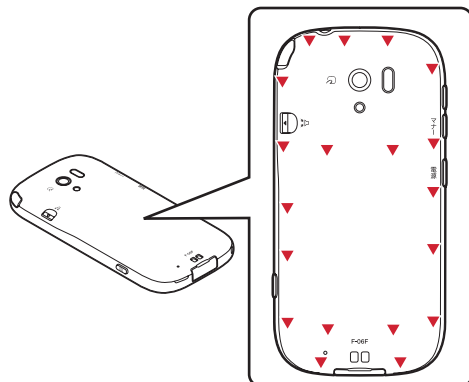
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから（→p.16）、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F30をご利用ください。

■取り付けかた

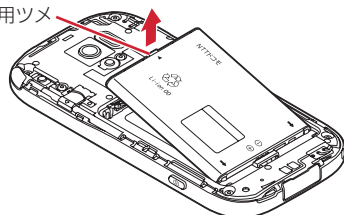
① **リアカバー取り外し部に指先をかけ、リアカバー裏のツメを❶、❷の順番で外してから、リアカバーを矢印の方向に取り外す**

② **電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける**

③ **リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する**

④ **リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押して、完全に閉める**

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※ 防水／防塵性能について→p.14

■取り外しかた

① **リアカバー取り外し部に指先をかけてリアカバーを取り外す**

② **電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す**

③ **リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する**

④ **リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付ける**

充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせランプが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせランプが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせランプが点滅します。充電器から取り外すか電池パックを取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 電池パックを一度取り外し、再度取り付けた直後は、電池残量が正しく表示されない場合があります。繰り返し使用することで、電池残量表示が補正されます。
- 充電しながら電池パックを取り外し再度取り付けた場合は、電池残量が正しく表示されない場合があります。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→p.135

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 03（別売）／ACアダプタ 04（別売）／ACアダプタ 05（別売）／ACアダプタ F05（別売）／ACアダプタ F06（別売）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

DCアダプタ 03（別売）／DCアダプタ 04（別売）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆卓上ホルダを使って充電

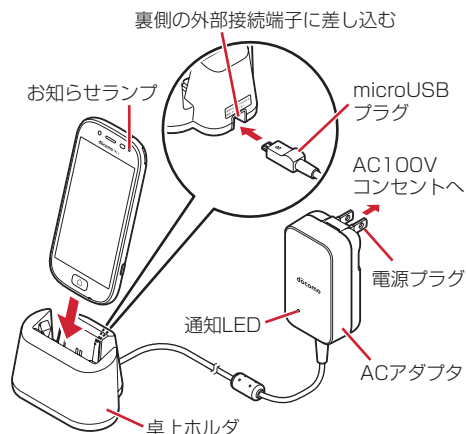
付属の卓上ホルダ F46と別売りのACアダプタ 05を使用した場合で説明します。

① **ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子へ水平に差し込む**

② **本端末を卓上ホルダに差し込む**
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

③ **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**
- 充電中は本端末のお知らせランプが赤色に点灯します。お知らせランプが点灯しない場合には、点灯するまで本端末を卓上ホルダに押し込んでください。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
- 充電が完了すると本端末のお知らせランプが消灯します。

④ **充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す**
- ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いた後しばらく通知LEDが点灯することがありますが、異常ではありません。

⑤ **卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜く**

✔お知らせ
- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 卓上ホルダには指定のACアダプタ以外は接続しないでください。

◆ACアダプタを使って充電

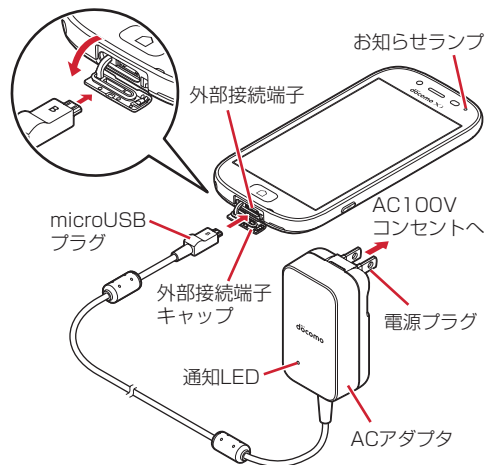
別売りのACアダプタ 05を使った場合で説明します。

① **本端末の外部接続端子キャップを開け（→p.15）、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む**

② **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**
- 充電中は本端末のお知らせランプが赤色に点灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
- 充電が完了すると本端末のお知らせランプが消灯します。

③ **充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**
- ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いた後しばらく通知LEDが点灯することがありますが、異常ではありません。

④ **本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜き、本端末の外部接続端子キャップをしっかりと閉じる**
- 防水／防塵性能を維持するために、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。

※ 防水／防塵性能を維持するために→p.15

◆パソコンを使って充電

別売りのPC接続用USBケーブル T01などで接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。
- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

◆電源を入れる

1 **お知らせランプが緑色に点灯するまで⏻ボタンを押し続ける（2秒以上）**

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のトップ画面が表示されます。

2 **トップ画面で下から上方向にスライド**

- トップ画面については、「トップ画面」をご覧ください。→p.23
- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は［OK］をプレスします。

■初めて電源を入れたときは

初期設定（本端末を使う前の準備）を行った後、ドコモサービスの設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。→p.26

■ホーム画面の変更

初回起動時はホーム画面に「標準メニュー」が設定されています。「シンプルメニュー」に変更する場合は、設定メニューの［メニュー切替］から操作してください。→p.30

❖トップ画面

トップ画面は誤操作を防ぐための画面です。

1 **トップ画面で下から上方向にスライド**

ホーム画面または待受画面が表示されます。

✔お知らせ

- トップ画面は、消灯までの時間の設定（→p.97）に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。スリープモードについては、「ディスプレイの表示が消えたら」をご覧ください。→p.23
- トップ画面の設定については、「トップ画面の設定」をご覧ください。→p.96
- トップ画面の配色設定については、「配色テーマの設定【標準】」をご覧ください。→p.97

❖ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、消灯までの時間の設定（→p.97）に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、電池の消耗を抑えることができます。

1 **⏻ボタンを押す**

スリープモードが解除され、トップ画面が表示されます。

手動でスリープモードにする：⏻ボタンを押す

✔お知らせ

- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆電源を切る

1 **携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻ボタンを押し続ける**

2 **［電源を切る］▶［OK］**

本端末が振動して電源が切れます。

再起動：［再起動］ ▶ ［OK］

基本操作

◆タッチパネルの使いかた

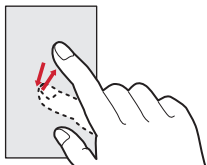
本端末は指で直接タッチパネルに触れて操作します。

❖タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは、指の腹を使って軽い力で操作するように設計されています。強い力で押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

❖プレス

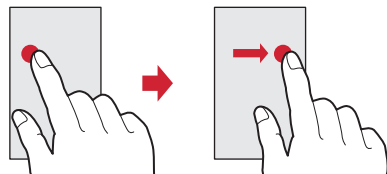
画面に指を軽く触れてからそのまま押し込み、指を離します。押し込んだ時点で操作が有効になります。

- アプリによっては、画面を長めに押し込む操作（ロングプレス）が必要になります。
- お買い上げ時は、画面に軽く触れるとアイコンやメニューなどの色や枠が変化し、さらにプレスすると振動が指先に伝わる設定になっています。らくらくタッチの設定（→p.101）や、タッチ／プレス時の振動設定（→p.101）で動作を変更することができます。
- らくらくタッチの設定が無効の場合は、画面に軽く触れてから離します（タッチ）。画面から指を離した時点で操作が有効になります。
- 一部アプリやインターネットサイト閲覧など、画面によっては次のように、らくらくタッチの設定に従って動作しない場合があります。
  - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレスの動作にならない
  - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレス時に振動しない
  - アイコンやメニューなどに指で軽く触れても、色や枠が変化しない
  - アイコンやメニューなどをプレスしたとき、色や枠に変化はないが、振動する
- プレスできないときは、軽く触れてから指を離すと操作できる場合があります。
- アプリによっては、プレス／タッチ（指で軽く触れてから離す操作）のいずれの操作もできないことがあります。その場合は、らくらくタッチの設定（→p.101）をオフにしてください。
- 表示された画面以外の空き領域をプレスすると、キャンセルの動作になる場合があります。

❖スライド（スワイプ）／ドラッグ／パン

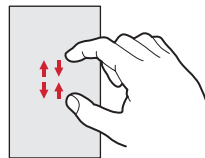
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。画面をスクロールしたり、音量を調節したりするときなどの操作です。

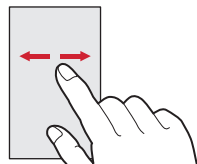
- 画面によっては同じ場所を0.5秒以上触れ続けると、スライド操作によるスクロール動作が固定されます。画面から指を離すことで、固定を解除することができます。

ドラッグ：画面の項目などに指を触れたまま、目的の位置に動かします。

パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。

例：ドラッグ

❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。画面の表示を拡大したり、縮小したりするときの操作です。

❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。画面内のページや項目を次へ移動する操作です。

◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→p.98）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 ボタンとボタンを同時に押す（1秒以上）

❖画像を確認する

1 ホーム画面で［アルバム］

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［写真・画像を見る］

2 ［スクリーンショット］

✔お知らせ

- 通知パネル（→p.30）を開いて、スクリーンショットの通知をプレスしても画像を確認できます。

◆非常用節電モードの設定

災害などの非常時に、画面の明るさを抑えたり各種機能をオフにしたりして、電池の消費を抑えることができます。

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまでボタンを押し続ける

2 ［非常用節電モード］▶［OK］

非常用節電モードが設定され、ステータスバーに(非常用節電モード設定中）が表示されます。

✔お知らせ

- 非常用節電モードを解除するには、携帯電話オプションメニューが表示されるまでボタンを押し続けて、［非常用節電モード］▶［OK］をプレスします。
- ホーム画面で［あんしんツール］▶［災害用キット］▶▶［OK］をプレス、または待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［災害用キットを使う］▶▶［OK］をプレスしても、非常用節電モードを設定／解除できます。アプリ起動時に「ご利用にあたって」の画面が表示された場合は、確認して［同意して利用する］をプレスします。
- 非常用節電モード設定中は、電源をオフにしても設定は解除されません。
- 非常用節電モード設定中は、エコモードの設定はできません。
- 非常用節電モード中は次の設定になります。
  - 画面消灯までの時間設定：15秒
  - Wi-Fi機能、Bluetooth機能、GPS機能、スーパークリアモード、持ってる間ON、画面の自動回転、動画補正、静止画補正の設定：オフ

  なお、非常用節電モードを設定していても、利用するアプリによっては上記の設定を変更するため、非常用節電モードが解除される場合があります。

ワンタッチブザーの鳴らしかた

本端末で大音量のブザーを鳴らすことができます。ブザーを鳴らしたとき、自動で電話を発信したり、GPS機能を利用して居場所を知らせたりすることもできます。

- 本機能を利用するには、あらかじめワンタッチブザーの設定を行う必要があります。→p.115

1 本端末の裏側のスイッチを外側にスライドさせ、スイッチを入れる

大音量でブザーが鳴ります。

ブザーを停止する：スイッチを元に戻す

- このとき、電話発信や位置提供の動作は継続します。

■自動音声電話発信を設定している場合

ブザーが鳴ると、発信先番号に自動で電話が発信されるように設定できます（→p.115）。相手が電話を受けると、ブザー音は停止します。「緊急通話です」という音声ガイダンスが3回流れた後、スピーカーフォン（→p.42）通話に切り替わります。

- 登録した発信先番号のいずれかの相手が電話を受けるまで、順次発信を繰り返します。
- 発信者番号通知の設定に関わらず、相手に自分の電話番号が通知されます。
- 電話発信を中止したり、音声ガイダンスや通話を終了したりする場合は、［電話を切る］をプレスします。

■位置提供が行われている場合

ブザーが鳴ると、位置提供要求が送信されるように設定できます（→p.117）。位置提供の要求があると、測位を行って位置情報を送信します。

✔お知らせ

- ワンタッチブザーのスイッチを外側にスライドした状態で、リアカバーを取り外さないでください。リアカバーやスイッチが破損します。
- 国際ローミング中は、ワンタッチブザーのGPS機能をご利用いただけません。
- ワンタッチブザーの画面は、①通話中画面、②位置提供画面、③ワンタッチブザー鳴動画面の優先順位で表示されます。
- PINコードがロックされているときは、ブザーは鳴りますが電話発信や位置提供は行われません。
- ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合は、電話発信や位置提供は行われませんのでご注意ください。
- ワンタッチブザーの音量は調節できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。
- 通話中（発信先番号と緊急通報を除く）にスイッチを入れた場合、通話は切断されワンタッチブザーが動作します。

- 着信中にスイッチを入れた場合、着信は切断されワンタッチブザーが動作します（発信先番号と緊急通報を除く）。かかってきた電話は、着信履歴に記録されます。
- マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中もワンタッチブザーは動作します。
- ワンタッチブザー動作中の電話着信は次のようになります。
  - 自動で電話発信する設定にしている場合は、登録している発信先番号からの電話着信のみ受けることができます（自動的に応答します）。発信先番号以外からの電話着信は拒否され、不在着信として記録されます。ただし、発信先番号を2件以上登録している場合は、発信中の番号以外の登録番号からの電話着信も拒否されます。
  - 自動で電話発信しない設定にしている場合は、電話着信を受けることができます（自動的に応答しません）。
- 呼出中から約30秒経過しても相手の応答がないと、発信を中断します。発信先番号を複数登録した場合は、登録番号順に次の発信先に音声電話を発信します。
- すべての発信先番号に音声電話を発信しても応答がない場合は、発信の中断後、約1分間待機して再び音声電話を発信します。
- 発信先番号の相手が応答保留や伝言メモ応答した場合でも、相手が応答したことになります。また、留守番電話サービスや転送でんわサービスの利用など、相手の状態によっては相手が応答したことになる場合があります。
- 電源を入れて起動中のときや、ソフトウェア更新の書き換え中にスイッチを入れると、ワンタッチブザーを有効に設定していても動作しません。
- 位置提供要求を送信できても、位置提供を行えない場合があります。
- ワンタッチブザーを有効に設定していないときにスイッチを入れると「ワンタッチブザー無効」の画面が表示されます。スイッチを元に戻してください。
- 長期間に渡って使用しない場合、定期的に操作して正常に動作することを確認してください。
- ワンタッチブザーは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

初期設定

初めて電源を入れたときは、本端末を使う前の準備を行う画面（初期設定）が表示されます。

- 設定は後から変更することもできます。
- 初期設定に含まれる設定を行わずに電源を切った場合は、電源を入れ直したときに未設定の項目が再び表示されます。
- ドコモminiUIMカードを取り付けないで電源を入れると、「日付」と「時刻」の設定画面が表示されます。また、ドコモサービスの設定画面は表示されません。
- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は［OK］をプレスします。

1 **「初期設定」画面で［次へ］**

2 **画面の案内に従って各項目を設定**

自分からだ設定：自分からだ設定の基本情報を設定します。→p.118

暗証番号：セキュリティロックを利用するときに使用する暗証番号を設定します。→p.109

- お買い上げ時は暗証番号が「0000」に設定されています。変更する場合は暗証番号の入力画面で「0000」を入力した後、新しい暗証番号を入力してください。

ワンタッチブザー：ワンタッチブザーを有効にするかを設定します。→p.115

配色テーマの設定：トップ画面やホーム画面の配色を設定します。→p.97

3 **「ソフトウェア更新」画面で［次へ］**

4 **「ドコモサービスへようこそ」画面で注意事項などを確認して［すべてのリンク先の内容に同意する］にチェックを付ける**

5 **［設定をはじめる］**

6 **画面の案内に従って各項目を設定**

docomo ID：ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。

ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。

- ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。

ドコモ位置情報：本端末の位置情報を提供するかを選択します。

遠隔初期化：遠隔初期化を設定します。

- ドコモアプリパスワードを設定すると表示されます。

アプリ一括インストール：契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールするかを選択します。

7 ［使いはじめる］

ホーム画面が表示されます。

お知らせランプの見かた

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせランプの点灯や点滅で通知します。

■主な通知の種類と点灯／点滅について

電源を入れたとき	緑　1回点灯
充電中	赤　点灯
充電異常	赤　点滅
新着メール	青　（カラー3）※
電話着信、不在着信、新着通知（伝言メモ）、留守番電話サービス（伝言メッセージ、着信通知）	緑　（カラー2）※
新着SMS	青
お知らせタイマー	白

※ お買い上げ時の色です。アプリの設定や動作によって異なります。

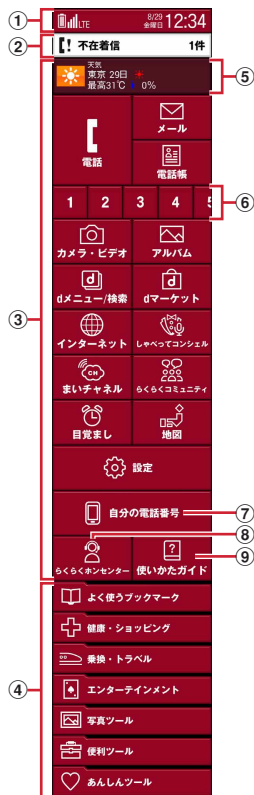
ホーム画面

ホーム画面はアプリを使用するためのスタート画面です。本端末には、「標準メニュー」と「シンプルメニュー」の2種類のホーム画面があります。

- ホーム画面の切り替えは、設定メニューの「メニュー切替」から行います。→p.30

◆ホーム画面の見かた【標準】

「標準メニュー」のホーム画面は、画面を上下にスライドして操作します。

- ［⌂］ボタンを押すと、ホーム画面の一番上の位置に戻ります。

① **ステータス表示エリア**→p.29

ステータスアイコン、通知アイコン、日付と時刻が表示されます。トップ画面の下部にも表示されます。

- ホーム画面上部のステータス表示エリアをプレスすると、通知パネルが表示されます。→p.30

② **新着通知**→p.30

不在着信や新着メールなどがあるときに表示され、プレスすると内容を確認できます。トップ画面の下部にも通知は表示されます。

③ **基本アプリ→p.31**
基本アプリエリアに表示されているアプリはホーム画面から起動できます。
④ **カテゴリ別アプリ→p.32**
基本アプリエリア以外のアプリは、カテゴリに分けられた一覧を表示して起動します。
⑤ **ｉチャネル**
情報配信サービス「ｉチャネル」のウィジェットです。ｉチャネルを契約していない場合は、情報は表示されません。
⑥ **ワンタッチダイヤル→p.45**
連絡する相手をあらかじめ登録しておくと、簡単に電話やメールができます。
- 左にフリックすると、ワンタッチダイヤルを9個まで利用できます。

⑦ **自分の電話番号→p.49**
ご利用の電話番号を確認できます。
⑧ **らくらくホンセンター→p.35**
らくらくホンセンターへ電話できます。
⑨ **使いかたガイド→p.35**
使いかたガイドを起動します。

✔お知らせ
- ｉチャネル、ワンタッチダイヤルの表示など、ホーム画面の設定については「ホーム画面の設定【標準】」をご覧ください。→p.96
- ホーム画面の配色設定については、「配色テーマの設定【標準】」をご覧ください。→p.97

◆待受画面（ホーム画面）の見かた【シンプル】

「シンプルメニュー」の待受画面（ホーム画面）は、従来のらくらくホンの感覚で待受画面からメニューを表示して操作できます。
- シンプルメニューでは、ホーム画面のことを「待受画面」と表記しています。

① **ステータスバー→p.29**
ステータスアイコン、通知アイコン、時刻が表示されます。
- 待受画面のステータスバーをプレスすると、通知パネルが表示されます。→p.30

② **新着通知→p.30**
不在着信や新着メールなどがあるときに表示され、プレスすると内容を確認できます。トップ画面の下部にも通知は表示されます。
③ **ｉチャネル**
情報配信サービス「ｉチャネル」のウィジェットです。ｉチャネルを契約していない場合は、情報は表示されません。
④ **ワンタッチダイヤル→p.45**
連絡する相手をあらかじめ登録しておくと、簡単に電話やメールができます。
⑤ **電話**
メニュー一覧（→p.34）の「電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」を表示します。
⑥ **メニュー**
メニュー一覧（→p.34）を表示します。
⑦ **使いかた**
使いかたガイド（→p.35）を見たり、らくらくホンセンター（→p.35）に電話したりできます。
⑧ **メール**
メニュー一覧（→p.34）の「メールを使う」を表示します。

✔お知らせ
- 背景画像や時計表示など、待受画面の設定については「待受画面の設定【シンプル】」をご覧ください。→p.97

画面表示／アイコン

◆ステータスバーについて

ステータスバーには、本端末の現在の状態を示す「ステータスアイコン」と、本端末からの通知を表示する「通知アイコン」が表示されます。アイコンによっては、ホーム画面のステータス表示エリアにも表示されます。

- ステータスバーは、シンプルメニューの画面と、標準メニューでアプリや機能を起動したときの画面に表示されます。
- アプリによっては、ステータスバーが表示されないことがあります。

ステータスアイコン　通知アイコン

12:34　ステータスバー

■主なステータスアイコン

: 電池残量80～100％（十分）
: 電池残量31～79％
- 31～79％にかけて、残量表示（白の範囲）が変化します。

: 電池残量16～30％（少ない）
: 電池残量5～15％（ほとんどない）
: 電池残量0～4％（要充電）
: 電池残量（充電中）
: 電波状態
圏外: 圏外
: 国際ローミング中
／: LTE通信中／使用可能
／: 3G通信中／使用可能
／: GSM通信中／使用可能
: 機内モード
: マナーモード
: 公共モード（ドライブモード）
: おサイフケータイ ロック設定中
: 新着メール、メッセージR、SMS
: 新着パソコンメール
: 不在着信
: 伝言メモオン
: 未確認の伝言メモあり
: Wi-Fi接続中
: Bluetooth機能オン
: Bluetooth機器接続中
: GPS測位中
: スピーカーフォンオン
: 着信音量0
: 着信時の振動オン
: 着信音量0で着信時の振動オン
: ワンタッチブザー設定中

■主な通知アイコン

: 新着エリアメール
: SMSの送信失敗
: Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
: 留守番電話サービスの伝言メッセージあり
: 通話中※、着信中
: 通話保留中※
／: データのアップロード完了／ダウンロード完了
: エラー／警告メッセージあり
: イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
: イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
: ワンセグ受信中
: 目覚まし設定中
: スクリーンショットで画像を保存
: 声の宅配便（メッセージ受信あり、再生完了通知あり）
: 非常用節電モード設定中
: エコモード実行中
: 表示しきれない通知あり
VPN: VPN接続
: らくらくコミュニティからの新着お知らせ
: ファミリーページからの新着お知らせ
／／: ソフトウェア更新あり／完了／継続不可
: おまかせロック設定中
: 本体メモリの空き容量低下
: docomo ID設定の認証失敗

※ 電話の追加画面や電話番号の検索画面などで表示されます。

◆ステータス表示エリアについて【標準】

ホーム画面の上部とトップ画面の下部に、ステータスバーに表示されるステータスアイコンや通知アイコンの一部が表示されます。

ステータスアイコン　通知アイコン

ステータス表示エリア

- ステータス表示エリアに表示しきれなくなると、（表示しきれない通知あり）が表示されます。
- ホーム画面のステータス表示エリアをプレスすると、通知パネルが表示されます。通知アイコンの内容は通知パネルで確認することができます。→p.30

◆通知パネル

通知パネルを表示して、通知アイコンの内容を確認したり、［簡単モード切替］をプレスしてマナーモードやGPS機能などの設定を行ったりできます。

- 簡単モード切替については、「簡単モード切替」をご覧ください。→p.95

1 ホーム画面上部のステータス表示エリアをプレス

通知パネルが表示されます。

シンプル：待受画面のステータスバーをプレス

- 各通知をプレスすると、通知内容を確認できます。
- ［通知を消去］をプレスすると、通知内容が消去されます。通知内容によっては、「通知を消去」が表示されない場合があります。
- すべての通知が表示されていないときは、画面をスクロールすると確認できます。
- ［閉じる］をプレスすると、通知パネルを閉じて、ホーム画面または待受画面を表示します。

✔お知らせ

- トップ画面のステータス表示エリアや、待受画面以外のステータスバーをプレスしても、通知パネルは表示されません。

◆新着通知

不在着信や新着メールなどがあるときは、ホーム画面（シンプルメニューの場合は待受画面）と、トップ画面に新着通知が表示されます。ホーム画面（シンプルメニューの場合は待受画面）の新着通知から通知の内容を確認することができます。

- 不在着信、着信通知、新着メール、新着SMS、伝言メモ、留守番メッセージ、らくらくコミュニティからの新着お知らせ（投稿へのコメント、ともだち申請など）、ファミリーページからの新着お知らせ（投稿、コメントなど）、新着パソコンメールなどが新着通知として表示されます。

1 ホーム画面の新着通知をプレス

関連するアプリが起動します。

シンプル：待受画面の新着通知をプレス

■異なる種類の新着通知がある場合

［新着あり］と表示されます。プレスすると、新着通知が一覧で表示されます。各通知をプレスすると、関連するアプリが起動します。

メニュー切替

ホーム画面または待受画面の構成（メニュー）を切り替えます。

- メニューを切り替えると、本端末は自動的に再起動します。

標準

1 ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［メニュー切替］

2 ［このメニューを使う］▶［切り替える］／［切り替えない］

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［メニュー切替を行う］

2 ［このメニューを使う］▶［切り替える］／［切り替えない］

アプリについて

本端末に登録されているアプリを起動します。
「標準メニュー」では、「基本アプリ」と「カテゴリ別アプリ」に分類されます。
「シンプルメニュー」では、アプリとその機能がメニュー形式で表示されます。

- お買い上げ時に登録されているアプリをアップデートしたとしても、アップデートしたデータを削除して、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
- 本端末では、あらかじめインストールされているアプリのほか、dメニューの「お客様サポート」からダウンロードできるアプリをご利用になれます。その他のアプリをブラウザやGoogle Playからダウンロードすることはできません。
- アプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。

◆基本アプリ【標準】

基本アプリエリアに表示されているアプリはホーム画面から起動できます。

1 ホーム画面でアプリをプレス

アプリが起動します。

✔お知らせ

- 基本アプリの表示位置は、一部変更できるものがあります。→p.97
- 未読のメール／SMSがある場合は、メールアプリの右上に未読件数が表示されます。

❖基本アプリ一覧

お買い上げ時の基本アプリエリアに表示されるアプリは次のとおりです。

ｉチャネル：天気、ニュース、芸能・スポーツ、占いなどのさまざまなジャンルの最新情報を自動でホーム画面または待受画面にお届けするウィジェットです。

電話：電話をかけたり、通話履歴の確認を行うことができます。→p.40

メール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp ）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→p.50

電話帳：電話番号やメールアドレスなどを登録して、電話帳から電話をかけたり、メールを送信したりできます。→p.46

1～9ワンタッチダイヤル：連絡する相手をあらかじめ登録しておくと、簡単に電話やメールができます。→p.45

カメラ・ビデオ：写真を撮影します。メニューから撮影モードを切り替えて、動画（ビデオ撮影）、パノラマ撮影、QRコード読み取り、拡大鏡を利用できます。→p.78

アルバム：カメラで撮影した静止画や動画を確認したり、Webページからダウンロードした画像を表示できます。→p.83

dメニュー／検索：「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。→p.72

dマーケット：音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。→p.72

インターネット：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→p.62

しゃべってコンシェル：やりたいこと、知りたいことなどを本端末に話しかけると、その言葉を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。→p.72

まいチャネル：ニュースサイトで配信されている記事を音声で確認できるサービスです。

らくらくコミュニティ：趣味や生活に役立つクチコミ、面白い情報が満載で、登録者どうしでの交流が楽しめるインターネット上のコミュニケーションの場です。→p.65

目覚まし：目覚ましを設定します。眠りの浅いときに鳴動するスッキリ目覚ましも設定できます。→p.88

地図：現在地の表示や周辺の検索、経路検索などを行います。→p.85

設定：本端末の各種設定を行います。→p.92

自分の電話番号：ご利用の電話番号を確認できます。→p.49

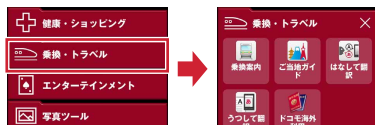
らくらくホンセンター：らくらくホンセンターへ電話して、本端末の使いかたなどを確認することができます。→p.35

使いかたガイド：本端末の使いかたガイドです。調べたい用語や機能などを検索して、本端末について確認することができます。→p.35

◆カテゴリ別アプリ【標準】

基本アプリエリア以外のアプリは、カテゴリに分けられた一覧を表示して起動します。

1 **ホーム画面で[よく使うブックマーク]／[健康・ショッピング]／[乗換・トラベル]／[エンターテインメント]／[写真ツール]／[便利ツール]／[あんしんツール]のいずれかをプレス**

カテゴリが開いて、アプリの一覧が表示されます。

- 閉じる場合は☒をプレスします。

2 **アプリをプレス**

アプリが起動します。

✔お知らせ

- カテゴリ別アプリのアイコンを並び替えたり、カテゴリの並び順を変更したりできます。→p.96
- dメニューの「お客様サポート」からアプリをインストールした場合、「その他」のカテゴリが追加され、アプリは「その他」カテゴリに配置されます。
- 一部アプリのご利用にはmicroSDカードを挿入する必要があります。

❖カテゴリ別アプリ一覧

お買い上げ時のカテゴリ別アプリに表示されるアプリは次のとおりです。

■よく使うブックマーク

Twitter：サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

■健康・ショッピング

血圧手帳：朝晩の血圧（服薬情報含む）・歩数・体重・睡眠時間のデータを毎日記録・管理でき、対応の健康機器があれば、簡単にからだのデータを転送することができます。

歩数計：本端末に搭載された機能を使って、毎日の歩数や睡眠状態を楽しく管理する健康支援サービスです。→p.91

おサイフケータイ：お店などの読み取り機に本端末をかざすだけでお支払いなどができます。→p.72

トルカ：お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→p.74

■乗換・トラベル

乗換案内：乗換案内を利用できます。

ご当地ガイド：日本全国のおすすめスポットや旅、グルメ情報などの観光に使えるガイドブック情報を利用できます。

はなして翻訳：お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

うつして翻訳：海外の街中で気になった標識・案内板・飲食店のメニューなどの文字に向かってピントを合わせるだけで、狙った文字が日本語に翻訳されて表示されます。

ドコモ海外利用：海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。

■エンターテインメント

テレビ：ワンセグを視聴できます。→p.75

ネットラジオ：NHKネットラジオ「らじる★らじる」へ接続します。

radiko.jp（ラジオ）：地上波のラジオ音声を、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサービスです。

メディアプレイヤー：音楽や動画を再生することができるアプリです。→p.84

dブックマイ本棚 DL：dマーケットのdブックで購入した本を手軽に読めるブックビューアです。

スゴ得コンテンツ：「スゴ得コンテンツ」へのショートカットアプリです。スゴ得コンテンツでは、定番・人気コンテンツを厳選しており、天気・ニュースなどの幅広いジャンルのコンテンツを利用できます。

ｉチャネル：ｉチャネルを利用するためのアプリです。

ゲーム：「みんなで脳力ストレッチング」「BREAKDICE」「ソリティア」「将棋ウォーズ」など、頭の体操にも役立つ、じっくり遊べるゲームを提供しています。

■写真ツール

らくらく簡単写真印刷：セイコーエプソン製のプリンターと本端末を接続して、写真などを印刷できます。

フォトコレクション：写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。

俳句・写真くらぶ：作った俳句や写真などを投稿したり、他の人が作った作品を閲覧することができます。

■便利ツール

電卓：加算、減算などの計算ができます。→p.89

スケジュール：スケジュールを作成・管理できるアプリです。→p.87

辞書：広辞苑などの電子辞書を利用できます。→p.89

メモ：メモを作成・管理できるアプリです。→p.87

お知らせタイマー：タイマーを利用できます。→p.89

ボイスレコーダー：音声を録音できます。

赤外線：電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→p.67

QRコード読み取り：QRコードを読み取り、利用できます。→p.82

拡大鏡：カメラを利用し、本端末を拡大鏡として使うことができます。→p.81

Document Viewer：パソコンで作成した文書やファイルを確認することができます。

パソコンメール：パソコンで使用しているメールを本端末で利用できます。→p.56

パソコン転送：本端末内の写真や動画、歩数／活動量をパソコンに取り込むことができます。

- 「パソコン転送」を行うには、「スマホ受信」搭載のパソコンが必要です。「スマホ受信」のダウンロードや対応機種などについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
FMWORLD（http://www.fmworld.net/soft/rt/）

データ保管BOX：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

声の宅配便：「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。

■あんしんツール

お客様サポート：ご利用料金の確認やメールなどの各種設定、製品のサポート情報などをご利用いただけます。

遠隔サポート：「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→p.131

災害用キット：災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。

あんしんスキャン：ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。

ドコモバックアップ：「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです。→p.90

つながりほっとサポート：体調を登録して後から確認できます。また、あらかじめ登録したつながりメンバー（家族など）にスマートフォンの利用状況や体調の情報をお知らせできます。

❖ウィジェット

ウィジェットとは、画面に貼り付けて利用するアプリのことです。ウィジェットを設定すると、ホーム画面の一番下にウィジェット表示エリアが追加されて表示されます。

- 「シンプルメニュー」では利用できません。

1 **ホーム画面で[設定]▶[画面・ランプの設定]**

2 **[ホーム画面の設定]▶[ウィジェット]**

3 **目的の操作を行う**

ウィジェットを貼り付ける：[ウィジェットを貼る] ▶ウィジェットを選択▶ [OK]

ウィジェットをはがす：[ウィジェットをはがす] ▶ウィジェットを選択▶ [OK]

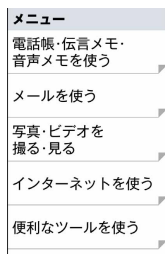
並び順の編集：[並び順の編集] ▶ウィジェットを選択▶貼り付ける位置をプレス▶ [OK]

- グレーで表示されたエリアに並び替えることができます。

◆メニュー【シンプル】

「シンプルメニュー」では、従来のらくらくホンのようなメニュー形式でアプリが並べられています。メニューを選ぶことで、目的の機能を起動できます。

1 **待受画面で[メニュー]**

メニューが表示されます。

❖メニュー一覧

• メニュー形式を［リスト］にした場合のメニュー一覧です。

■電話帳・伝言メモ・音声メモを使う

電話してきた相手を見る

電話をかけた相手を見る

電話をかける

電話帳の内容を見る

電話帳を検索する

電話帳に登録する

伝言メモ・通話メモを使う

声の宅配便を使う

電話帳のグループを設定する

自分の電話番号を見る

電話帳の登録件数を見る

■メールを使う

受信したメールを見る

メールを作る

テンプレートを使ってメールを作る

未送信のメールを見る

送信したメールを見る

メールがあるか問い合わせる

メールアドレスを確認・変更する

メールを設定する

SMSを使う

メールを送受信した人を見る

■写真・ビデオを撮る・見る

写真を撮影する

写真・画像を見る

ビデオを撮影する

ビデオを見る

バーコードを読み取る

■インターネットを使う

dメニューを見る

インターネットに接続する

ブックマークを見る

URLを入力して接続する

サイト閲覧履歴を見る

ブラウザを設定する

■便利なツールを使う

電卓を使う

スケジュール帳・目覚ましを使う

辞書を使う

メモを使う

しゃべってコンシェルを使う

お知らせタイマーを使う

ボイスレコーダーを使う

赤外線を使う

拡大鏡を使う

使いかたガイドを使う

microSDカードを使う

トルカを使う

おサイフケータイを使う

ｉチャネルを使う

パソコンメールを使う

ドキュメント閲覧を使う

パソコン転送を使う

らくらく簡単写真印刷を使う

■地図を見る・乗換案内・GPSを使う

現在地の地図を見る

ナビを使う

乗換案内を使う

ご当地ガイドを使う

現在地をメールで送る

イマドコサーチを使う

イマドコかんたんサーチを使う

■テレビ・ラジオを使う

テレビを見る
ラジオ（NHK）を聴く
ラジオ（radiko.jp）を聴く

■アプリを使う

アプリの概要は「カテゴリ別アプリ一覧」をご覧ください。→p.32

dマーケット
らくらくコミュニティ
メディアプレイヤー
フォトコレクション
ゲーム
まいチャネル
dブックマイ本棚 DL
俳句・写真くらぶ
スゴ得コンテンツ
データ保管BOX

- 外部からアプリをインストールした場合、アプリは「アプリを使う」のメニューに配置されます。

■健康ツールを使う

血圧手帳を使う
歩数・活動量計を使う

■自分の電話番号を見る

「自分の電話番号」をご覧ください。→p.49

■設定を行う

「設定メニュー【シンプル】」をご覧ください。→p.93

■あんしん・海外ツールを使う

お客様サポートを使う
遠隔サポートを使う
つながりほっとサポートを使う
災害用キットを使う
あんしんスキャンを使う
ドコモバックアップを使う
はなして翻訳を使う
うつして翻訳を使う
ドコモ海外利用を使う

らくらくホンセンター

本端末の使いかたが分からないときに、らくらくホンセンターに電話をかけて確認することができます。

らくらくホンセンターとは

各種手続き、お問い合わせなどのご用件をアドバイザーが直接お答えする受付センターです。らくらくホンセンターに電話した際の通話料はかかりません。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

1 ホーム画面で［らくらくホンセンター］

シンプル：待受画面で［使いかた］▶［らくらくホンセンターに電話する］

2 ［電話する］

らくらくホンセンターに電話がかかります。

使いかたガイド

本端末の使いかたが分からないときに、使いかたガイドを起動して機能の詳しい説明や操作方法を調べることができます。

- コンテンツアップデートの確認画面が表示された場合は、スライドして内容を確認した後、［実行する］▶［OK］をプレスしてください。

1 ホーム画面で［使いかたガイド］

シンプル：待受画面で［使いかた］▶［使いかたガイドを読む］

2 目的の操作を行う

目次から検索：機能別に分けられた目次から検索します。

索引から検索：50音順の機能名から検索します。

キーワード検索：調べたい用語などを入力して検索します。

ブックマーク：ブックマークに登録した項目から検索します。

このアプリの使いかた：このアプリの使いかたを確認します。

アップデート：コンテンツを最新にすることができます。

どこでもヘルプ

アプリの利用中に機能の説明（ガイド）などを確認できます。

標準

1 アプリ利用中に画面右上の?をプレス

- ?は画面によって色が異なる場合があります。

シンプル

1 アプリ利用中に画面右下の[ガイド]または画面右上の?をプレス

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

◆入力方法

テンキーキーボード、手書き入力、音声入力で文字を入力します。

❖テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。お買い上げ時は「ケータイ入力とらくらく2タッチ入力を併用」に設定されていて、入力したい文字が割り当てられているボタンを目的の文字が表示されるまで続けてプレスする「ケータイ入力」と、ボタンをロングプレスして目的の文字をプレスする「らくらく2タッチ入力」ができます。→p.36

- ［らくらく2タッチ入力］に設定した場合は、ボタンをプレスして目的の文字をプレスする操作になります。→p.38

文字	く	＞	削除
あ	か	さ	
た	な	は	
ま	や	ら	
機能	わ、。	↲改行	

①文字 ②く ③＞ ④削除 ⑤機能 ⑥↲改行

ひらがな／漢字入力

- 文字入力を開始すると、表示が変わるボタンがあります。

① 文字 : 文字切替メニューの表示
  - 文字切替メニューを表示すると、次の操作ができます。

  あいう : ひらがな／漢字入力に切り替え
  アイウ : カタカナ入力に切り替え
  ABC : 英字入力に切り替え
  123 : 数字入力に切り替え
  顔文字 : 顔文字一覧の表示
  記号 : 記号一覧の表示
  絵文字 : 絵文字一覧の表示
  閉じる : 文字切替メニューを閉じる
  変換 : 文字の変換

② カーソルを左に移動
③ カーソルを右に移動
④ カーソルの右側の文字を削除
  - カーソルの右側に文字がない場合は左側の文字を削除します。

⑤ 機能 : 機能メニューの表示→p.36
  ゛゜小 : 濁音付きの文字／半濁音付きの文字／拗音／促音に変換
  A/a : 英字入力時の大文字と小文字の切り替え
⑥ ↲改行 : 改行
  決定 : 文字の確定
  - アプリによっては［実行］／［検索］／［送信］／［次へ］が表示されます。

■機能メニュー

音声入力 : 音声入力の起動
手書き入力 : 手書き入力に切り替え
定型文 : 定型文一覧の表示
引用 : 引用先選択画面の表示（電話帳／マイプロフィールのデータを引用）
コピー : 文字のコピー
切り取り : 文字の切り取り
貼り付け : 文字の貼り付け
カーソル : カーソル移動画面の表示
閉じる : 機能メニューを閉じる
設定 : 文字入力設定画面の表示

■文字入力

ひらがなで「おはよう」と入力します。

ケータイ入力の場合

① あ **を5回プレス**
② は **をプレス**
③ や **を3回プレス**
④ あ **を3回プレス**
⑤ 決定 **をプレス**

らくらく2タッチ入力の場合

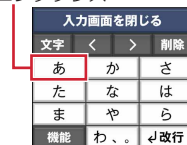
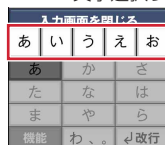
① あ **をロングプレスして文字選択リストから** お **をプレス**
② は **をロングプレスして文字選択リストから** は **をプレス**
③ や **をロングプレスして文字選択リストから** よ **をプレス**
④ あ **をロングプレスして文字選択リストから** う **をプレス**
⑤ 決定 **をプレス**

ロングプレス　文字選択リスト

入力画面を閉じる

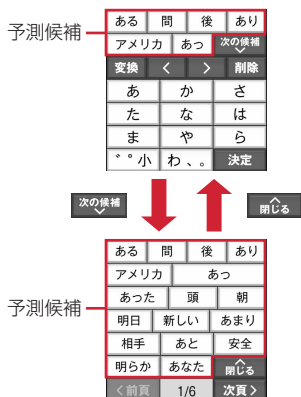
文字	く	＞	削除
あ	か	さ	
た	な	は	
ま	や	ら	
機能	わ、。	↲改行	

➡

あ	い	う	え	お
あ	か	さ		
た	な	は		
ま	や	ら		
機能	わ、。	↲改行		

■文字変換

1 文字を入力

予測候補が表示されます。

- [次の候補]をプレスすると、テンキーキーボード全体に予測候補が表示されます。

変換候補の表示：文字を入力▶［変換］

- テンキーキーボード全体に予測候補／変換候補を表示中は、［前頁］／［次頁］をプレスして前ページ／次ページの予測候補／変換候補を表示します。
- [閉じる]をプレスすると、予測候補／変換候補を閉じてテンキーキーボードを表示します。

2 変換する文字をプレス

✔**お知らせ**

- 文字入力中に[∨]（標準メニュー）または[戻る]（シンプルメニュー）をプレスすると、文字入力画面や文字選択リスト、予測候補／変換候補一覧を閉じます。

❖手書き入力

手書きで文字を入力します。

1 文字入力画面で［機能］▶［手書き入力］

① カーソルの右側の文字を削除
- カーソルの右側に文字がない場合は左側の文字を削除します。

② [＜]：カーソルを左に移動
[＞]：カーソルを右に移動
- 文字入力後にプレスして次の文字を入力します。

③ 文字切替メニューの表示→p.36

④ [機能]：機能メニューの表示→p.36
[訂正]：訂正候補の表示
- 2つ以上の未確定文字がある場合に[＜]／[＞]をプレスすると、未確定文字を移動しながら訂正候補を表示します。

[閉じる]：[訂正]をプレスする前の画面に戻す

⑤ [改行]：改行
[決定]：文字の確定
- アプリによっては［実行］／［検索］／［送信］／［次へ］が表示されます。

❖音声入力

音声を文字に変換して入力します。

1 文字入力画面で［機能］▶［音声入力］▶送話口／マイクに向かって言葉を発声

- 初回起動時は「アプリケーションプライバシーポリシー」をご確認の上、［同意する］をプレスしてください。

- [≡]をプレスすると、音声入力の使いかた、アプリ情報、オープンソースライセンスを確認できます。

2 認識結果を確認▶［決定］

- 発声した言葉が正しく認識されていない場合は、［やり直す］をプレスして再度送話口／マイクに向かって発声します。

❖入力方法の切り替え

■テンキーキーボードから手書き入力に切り替え

1 テンキーキーボード表示中に［機能］▶［手書き入力］

手書き入力画面が表示されます。

■手書き入力からテンキーキーボードに切り替え

1 手書き入力画面表示中に［文字］

2 ［あいう］／［アイウ］／［ABC］／［123］のいずれかをプレス

テンキーボードが表示されます。

◆便利な入力機能

顔文字／記号／絵文字／定型文から入力、電話帳／マイプロフィールから引用、文字のコピー／切り取り／貼り付けができます。

❖顔文字／記号／絵文字／定型文の入力

- 文字入力画面によっては、絵文字は入力できません。

1 文字入力画面で[文字]

2 [顔文字]／[記号]／[絵文字]のいずれかをプレス

定型文の入力：文字入力画面で［機能］▶［定型文］▶カテゴリを選択

絵文字入力

① 顔文字／記号の場合はタイトルとページ数を表示
絵文字／絵文字Dの場合はカテゴリ名、ページ数、カテゴリの切り替えアイコン（＜／＞）を表示
- 入力後は1ページ目に履歴が表示されます。

② 顔文字／記号／絵文字／定型文一覧を閉じる
③ 絵文字／絵文字D：絵文字と絵文字Dの切り替え
④ 前のページに移動
⑤ 次のページに移動

3 顔文字／記号／絵文字／定型文を選択

❖電話帳／マイプロフィールの引用

電話帳やマイプロフィールのデータを引用して入力します。

1 文字入力画面で[機能]▶[引用]▶[電話帳]／[マイプロフィール]

2 データを選択▶[決定]

❖文字のコピー／切り取り／貼り付け

文字のコピーや切り取り、貼り付けができます。

- 暗証番号を入力する画面では、コピー／切り取り／貼り付けの操作はできません。パスワードを入力する画面では、コピー／切り取りの操作はできません。

■文字のコピー／切り取り

1 文字入力画面で[機能]

2 [コピー]または[切り取り]

3 コピーまたは切り取り開始位置にカーソルを移動して[開始選択]

- ［|←文頭］／［文末→|］：カーソルを文頭／文末に移動します。
- ［∧］／［∨］／［＜］／［＞］：カーソルを上下左右に移動します。

4 コピーまたは切り取り終了位置にカーソルを移動して[決定]▶[OK]

- アプリによっては、カーソルを移動して［決定］▶［閉じる］をプレスします。

■文字の貼り付け

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを移動

2 [機能]▶[貼り付け]

◆文字入力の設定

入力方式の選択、単語や定型文の登録、学習内容の消去ができます。

❖入力方式の選択

ケータイ入力とらくらく2タッチ入力の2つの入力方式があります。ケータイ入力とらくらく2タッチ入力を併用することもできます。

1 文字入力画面で[機能]▶[設定]

2 [入力方式の選択]

シンプル：[入力方式を選択する]

3 [ケータイ入力とらくらく2タッチ入力を併用]／[ケータイ入力]／[らくらく2タッチ入力]のいずれかをプレス

4 [OK]

✔お知らせ

- ［ケータイ入力とらくらく2タッチ入力を併用］を設定中にらくらくタッチをオフ（→p.101）にすると、文字入力時に入力方式の選択画面が表示され、［ケータイ入力］／［らくらく2タッチ入力］から選択します。
- 音声読み上げを設定すると入力方式はケータイ入力に切り替わります。設定を変更することはできません。

❖単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、その読みを入力したとき予測候補／変換候補として優先的に表示されます。

1 文字入力画面で[機能]▶[設定]

2 [よく使う単語を登録]
シンプル：[よく使う単語を登録する]

3 [新規登録]
登録された単語を修正：登録単語をプレス▶[修正する]

4 [単語]に単語を入力▶[決定]

5 [よみ]に読みかたを入力▶[決定]

6 [完了]▶[OK]

■単語の削除

1 文字入力画面で[機能]▶[設定]

2 [よく使う単語を登録]
シンプル：[よく使う単語を登録する]

3 削除する単語をプレス▶[削除する]

4 [削除する]▶[OK]

❖定型文登録

よく使う文章を定型文として登録できます。

1 文字入力画面で[機能]▶[設定]

2 [よく使う定型文を登録]
シンプル：[よく使う定型文を登録する]

3 [新規登録]
登録された定型文を修正：ユーザー定型文をプレス▶［修正する]

4 定型文を入力▶[決定]

5 [OK]

■定型文の削除

1 文字入力画面で[機能]▶[設定]

2 [よく使う定型文を登録]
シンプル：[よく使う定型文を登録する]

3 削除する定型文をプレス▶[削除する]

4 [削除する]▶[OK]

✔お知らせ

- 登録した定型文は、文字入力画面で［機能］▶［定型文］▶［ユーザ作成］カテゴリに表示されます。

❖学習内容を消去

文字入力で学習した内容をすべて消去します。

1 文字入力画面で[機能]▶[設定]

2 [学習した内容をすべて消去]
シンプル：[学習した内容をすべて消去する]

3 [消去する]▶[OK]

電話

電話をかける

相手の電話番号を入力して電話をかけます。電話帳から電話をかけることもできます。

◆電話をかける【標準】

1 ホーム画面で[電話]

ダイヤル入力画面が表示されます。

- 発着信履歴画面が表示された場合は、[ダイヤル]をプレスします。

2 電話番号を入力

- 訂正する場合は[削除]をプレスします。
- [メニュー]をプレスすると、電話帳登録、発信者番号通知／非通知の発信、国際電話の発信、声の宅配便などの操作ができます。

3 [電話をかける]

4 通話が終了したら[電話を切る]

- [⌂]ボタンを押して[はい]をプレスしても通話を終了できます。

❖電話帳から電話をかける

1 ホーム画面で[電話帳]▶電話帳を選択▶[電話をかける]

◆電話をかける【シンプル】

1 待受画面で[電話]▶[電話をかける]

ダイヤル入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

- 訂正する場合は[削除]をプレスします。
- [メニュー]をプレスすると、電話帳登録／追加、発信者番号通知／非通知の発信、国際電話の発信、声の宅配便などの操作ができます。

3 [電話をかける]

4 通話が終了したら[電話を切る]

- [⌂]ボタンを押して[はい]をプレスしても通話を終了できます。

❖電話帳から電話をかける

1 待受画面で[電話]▶[電話帳の内容を見る]▶電話帳を選択▶[電話をかける]

✔お知らせ

- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本端末にイヤホンを挿入している、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合、近接センサーを停止します。そのため、近接センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- 通話中に髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。
- 通話中でも一定時間が経過するとディスプレイの表示が消えます。再び表示させるには[⏻]ボタンを押してください。

◆緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。

◆通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

標準

1 ホーム画面で［電話］

2 電話番号を入力

3 ［メニュー］▶［通知で電話する］／［非通知で電話する］▶［電話をかける］

シンプル

1 待受画面で［電話］▶［電話をかける］

2 電話番号を入力

3 ［メニュー］▶［通知で電話］／［非通知で電話］▶［電話をかける］

◆追加番号を入力して発信

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめ電話番号と追加の番号を一度に入力して発信することができます。

「＊」をロングプレスすると「;」（待機）が、「#」をロングプレスすると「,」（2秒間の停止）が入力されます。

- 待機「;」：電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。［はい］をプレスすると追加番号をダイヤルします。
- 2秒間の停止「,」：電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で［電話］

シンプル：待受画面で［電話］▶［電話をかける］

2 電話番号を入力▶待機「;」（「＊」をロングプレス）／2秒間の停止「,」（「#」をロングプレス）▶追加番号を入力

3 ［電話をかける］

- 待機「;」の場合、電話がつながったら［はい］をプレスすると追加番号をダイヤルします。

✔お知らせ

- 通話中にダイヤルパッドを表示して番号を入力する場合は、「通話中に番号を入力」をご覧ください。→p.43

◆国際電話（WORLD CALL）

「＋」を入力して国際電話をかけます。「0」をロングプレスすると「＋」が入力されます。

- 海外でのご利用については、「国際ローミング（WORLD WING）の概要」をご覧ください。→p.122
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で［電話］

シンプル：待受画面で［電話］▶［電話をかける］

2 ＋（「0」をロングプレス）▶「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力

3 ［電話をかける］

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をオンにしている場合、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。［元の番号で発信］または［変換後の番号で発信］をプレスします。
- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力するには、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、［メニュー］▶［国際電話をかける］▶国を選択します。

電話を受ける

かかってきた電話に応答します。着信中は着信拒否、応答保留、伝言メモ録音の操作もできます。

◆電話を受ける【標準】

1 電話がかかってくる

- 着信音、振動を止めるには［着信音を消す］をプレスするか、⊞⊟ボタンを押します。

2 ［電話に出る］

- らくらくタッチをオフ（→p.101）にした場合は、着信中画面で上にスライドしてから［電話に出る］をタッチします。

応答保留：［メニュー］▶［応答保留］
着信拒否：［メニュー］▶［拒否］
伝言メモ録音：［メニュー］▶［伝言メモ］

3 通話が終了したら［電話を切る］

◆電話を受ける【シンプル】

1 電話がかかってくる

- 着信音、振動を止めるには⊞⊟ボタンを押します。

2 ［電話に出る］

- らくらくタッチをオフ（→p.101）にした場合は、着信中画面で上にスライドしてから［電話に出る］をタッチします。

伝言メモ録音：［メニュー］▶［伝言メモ］
着信拒否：［メニュー］▶［着信拒否］
応答保留：［メニュー］▶［応答保留］

3 通話が終了したら［電話を切る］

通話中の操作

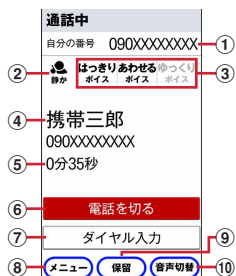
通話中に画面をプレスして、さまざまな操作ができます。

◆通話中の操作【標準】

標準メニューの通話中画面では次の操作ができます。

① 自分の電話番号
② はっきりボイス／ぴったりボイスの状態表示
③ はっきりボイス／あわせるボイス／ゆっくりボイスの利用状況
④ 名前や電話番号
⑤ 通話時間
⑥ 番号を入力するダイヤルパッドを表示
通話中に番号を入力します。→p.43
⑦ スピーカーフォンをオン
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。Bluetooth機器を接続している場合、音声の出力先を切り替えることができます。
⑧ 通話を終了
⑨ 通話を一時保留
⑩ メニュー
はっきりボイス／ゆっくりボイスの設定、電話の追加※、電話帳の電話番号の検索、メールの操作、遠隔サポートの起動ができます。
※ キャッチホンのご契約が必要です。

◆通話中の操作【シンプル】

シンプルメニューの通話中画面では次の操作ができます。

① 自分の電話番号
② はっきりボイス／ぴったりボイスの状態表示
③ はっきりボイス／あわせるボイス／ゆっくりボイスの利用状況
④ 名前や電話番号
⑤ 通話時間
⑥ 通話を終了
⑦ 番号を入力するダイヤルパッドを表示
通話中に番号を入力します。→p.43
⑧ メニュー
はっきりボイス／ゆっくりボイスの設定、電話の追加※、電話帳の電話番号の検索、メールの操作、遠隔サポートの起動ができます。
※ キャッチホンのご契約が必要です。
⑨ 通話を一時保留
⑩ スピーカーフォンをオン
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。Bluetooth機器を接続している場合、音声の出力先を切り替えることができます。

◆通話音量

- 発信中／通話中以外は通話音量を調節することはできません。

1 通話中に[+][-]ボタン

◆通話中に番号を入力

通話中にダイヤルパッドを表示して追加する番号を入力します。

1 通話中に[ダイヤル入力]▶追加番号を入力

◆はっきりボイス

相手の聞こえにくい声を強調して聞き取りやすくします。

1 通話中に[メニュー]▶[はっきりボイスをオン]／[はっきりボイスをオフ]

❖ぴったりボイス

はっきりボイス動作中は、行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

◆あわせるボイス

通話中の音声を自動で聞き取りやすく調整します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[あわせるボイス]

2 各項目を設定

あわせるボイス：あわせるボイスを利用するかどうかを設定します。
音質設定：音声を聞きながら音質を設定します。「年齢に合わせる」をオフにすると設定できます。
年齢に合わせる：年齢に合わせて音質を調整するかどうかを設定します。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[電話の設定を行う]▶[あわせるボイスを設定する]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは 標準 の操作2をご覧ください。

◆ゆっくりボイス

相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。

1 通話中に[メニュー]▶[ゆっくりボイスをオン]／[ゆっくりボイスをオフ]

◆響カット

声の響く場所等で電話中に残響音を抑え、相手に聞き取りやすくします。

1 ホーム画面で[設定]▶[通話音声の設定]▶[響カット]を[オン]／[オフ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通話音声の設定を行う］▶［響カットを設定する］▶［有効にする］／［無効にする］

発着信履歴

電話の発信、着信の履歴を確認できます。履歴から電話発信やメール送信などの操作をすることができます。

◆発着信履歴【標準】

標準メニューで電話の発着信履歴を確認できます。
- 発着信履歴の最大表示件数は30件です。

1 ホーム画面で[電話]

2 [履歴]

① **名前や電話番号**
プレスすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、メモの再生ができます。［メニュー］をプレスすると、電話帳に登録、声の宅配便、メール送信、履歴からの削除などができます。
② **履歴アイコン**
発信履歴は、着信履歴は、不在着信履歴と着信通知履歴はがそれぞれ表示されます。
③ **声の宅配便アイコン**
④ **伝言メモアイコン／通話メモアイコン**
⑤ **発着信履歴の全削除**

◆発着信履歴【シンプル】

シンプルメニューで電話の発信履歴／着信履歴を確認できます。
- 発信履歴の最大表示件数は30件、着信履歴の最大表示件数は30件です。

1 待受画面で[電話]

2 [電話してきた相手を見る]／[電話をかけた相手を見る]

① **発着信の種別**
② **伝言メモアイコン／通話メモアイコン**
③ **名前や電話番号**
プレスすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、声の宅配便、メモの再生ができます。［メニュー］をプレスすると、電話帳に登録／追加、履歴からの削除、メール送信などができます。
④ **声の宅配便アイコン**

✔お知らせ
- 発信履歴／着信履歴の一覧画面で［メニュー］▶［全件削除］をプレスすると、履歴を全件削除できます。

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。
- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定が有効になっていても伝言メモで応答しません。
- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

◆伝言メモ【標準】

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[伝言メモ]

2 [伝言メモを有効]を[オン]／[オフ]

伝言メモリスト：伝言メモリストで、伝言メモを選択して再生します。
- 伝言メモ選択後、［1件削除］をプレスすると伝言メモが削除できます。

応答時間設定：伝言メモが応答するまでの時間を設定します。
応答ガイダンス設定：応答ガイダンスを設定します。

◆伝言メモ【シンプル】

1 待受画面で[電話]▶[伝言メモ･通話メモを使う]

2 [伝言メモを開始／停止する]▶[開始する]／[停止する]

その他の各項目について、詳しくは「伝言メモ【標準】」の操作2をご覧ください。

通話メモ

通話中の会話を通話メモとして録音できます。

- 電話を切る約1分前からの通話が最大10件録音されます。10件を超えると、保護されていない古い通話メモから順に上書きされます。残しておきたい通話メモは保護してください。

◆通話メモ【標準】

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[通話メモ]

2 [通話メモを有効]を[オン]／[オフ]

通話メモリスト：通話メモリストで、通話メモを選択して再生します。

- 通話メモ選択後、[保護設定]をプレスすると通話メモの保護／解除ができ、[1件削除]をプレスすると通話メモが削除できます。

◆通話メモ【シンプル】

1 待受画面で[電話]▶[伝言メモ・通話メモを使う]

2 [通話メモを開始／停止する]▶[開始する]／[停止する]

通話メモの再生について、詳しくは「通話メモ【標準】」の操作2をご覧ください。

✔お知らせ

- 通話中に[保留]をプレスした場合は、保留前の通話は録音されません。

ワンタッチダイヤル

よく連絡を取る相手をワンタッチダイヤルに登録しておくと、電話やメールが簡単にできます。

◆ワンタッチダイヤルに登録する

標準

1 ホーム画面で 1 ～ 9 のいずれかをプレス

2 [新規電話帳作成して登録]▶各項目を設定▶電話番号／メールアドレスを確認して[OK]▶[OK]

電話帳から登録：[電話帳から選ぶ]▶登録したい相手を選択▶電話番号／メールアドレスを確認して[OK]▶[OK]

シンプル

1 待受画面で 1 ～ 3 のいずれかをプレス

2 [新規に登録する]／[新規電話帳作成して登録]▶各項目を設定▶[OK]

電話帳から登録：[電話帳から選ぶ]▶登録したい相手を選択▶電話番号を確認して[次へ]▶メールアドレスを確認して[決定]▶[OK]

◆ワンタッチダイヤルを使う

1 ホーム画面で 1 ～ 9 のいずれかをプレス

シンプル：待受画面で 1 ～ 3 のいずれかをプレス

2 [電話をかける]／[メールを送る]

- [メニュー]をプレスすると、登録相手の変更、電話帳の修正、ワンタッチダイヤル解除ができます。シンプルメニューの場合は[修正する]をプレスすると、同様の操作ができます。

電話の設定

ドコモのネットワークサービスや、通話、発着信など、電話に関するさまざまな設定を行います。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]

2 利用したいサービスを選択

伝言メモ：→p.44
- シンプルメニューでは表示されません。

通話メモ：→p.45
- シンプルメニューでは表示されません。

発信者番号通知：発信者番号の通知／非通知の設定、設定の確認を行います。

ネットワークサービス：次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

声の宅配便：サービスの利用、設定確認・変更を行います。

メロディコール：メロディコールサイトに接続します。

留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。

転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。

キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認を行います。

番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

通話中着信設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。

遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

ドコモへのお問い合わせ：らくらくホンセンターやドコモ故障問合せ窓口に電話をすることができます。

あわせるボイス：→p.43

海外設定：→p.125

詳細設定：通話中の番号表示、サブアドレス設定、着信拒否設定を行います。

通話時間：通話の合計時間を確認したり、リセットしたりできます。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[電話の設定を行う]

2 利用したいサービスを選択

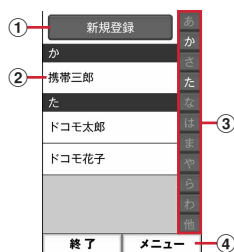
各項目について、詳しくは 標準 の操作2をご覧ください。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- 電話帳を初めて起動すると（アプリの初期化後を含む）、クラウドの利用を開始するかどうかの確認画面が表示されます。クラウドを利用すると、電話帳データをサーバーに保管したり、パソコンで電話帳データを編集したりできます。
  ドコモクラウドに関する設定は、ホーム画面で［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［ドコモクラウド］で行います。シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［ドコモのサービス／クラウドの設定を行う］▶［ドコモクラウド］で行います。なお、ドコモクラウドの設定にはパケット通信料がかかります。
- ドコモバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ／復元することができます。詳細は「ドコモバックアップ」の「microSDカードへ保存・復元」をご覧ください。→p.90
- iコンシェル契約中でも、関連する電話帳項目は表示されません。

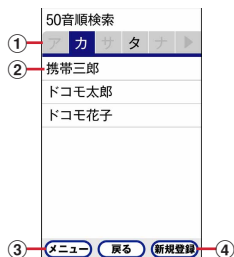
◆電話帳【標準】

1 ホーム画面で[電話帳]

① **新規登録**
電話帳を新規登録します。

② **名前**
プレスすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、声の宅配便、メール送信、SMS送信、登録内容の修正、赤外線送信、電話帳の削除などの操作ができます。

③ **インデックス**
インデックスを表示します。
④ **メニュー**
グループ表示、電話帳検索、クラウドにログインなどができます。

◆電話帳【シンプル】

1 **待受画面で[電話]▶[電話帳の内容を見る]**

① **インデックス**
インデックスを表示します。
② **名前**
プレスすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、声の宅配便、メール送信、SMS送信、登録内容の修正、着信音の設定、赤外線送信などの操作ができます。
③ **メニュー**
検索方法の変更、クラウドにログイン、海外利用の設定などができます。
④ **新規登録**
電話帳を新規登録します。

◆電話帳を登録【標準】

電話帳を登録します。

1 **ホーム画面で[電話帳]**

2 **[新規登録]**

3 **名前を入力▶[次へ]**

4 **フリガナを入力▶[次へ]**

- 入力した名前のフリガナがあらかじめ入力されています。修正の必要がなければそのまま[次へ]をプレスします。

5 **電話番号を入力▶[次へ]**

6 **メールアドレスを入力▶[次へ]**

7 **[この内容で登録する]▶[OK]**

- メモや住所などを登録する場合は、各項目で[追加]をプレスします。

✔お知らせ

- 各項目で[省略]をプレスすると、項目を設定せずに次の操作に進みます。
- 発着信履歴から電話帳を登録する場合は、ホーム画面で[電話]▶[履歴]▶登録したい履歴を選択▶[メニュー]▶[電話帳に登録]▶[電話帳に新規登録]／[電話帳に追加登録]▶各項目を設定▶[この内容で登録する]▶[OK]をプレスします。

◆電話帳を登録【シンプル】

1 **待受画面で[電話]**

2 **[電話帳に登録する]▶名前を入力▶[次へ]**

3 **フリガナを入力▶[次へ]**

- 入力した名前のフリガナがあらかじめ入力されています。修正の必要がなければそのまま[次へ]をプレスします。

4 **入力方法を選択▶電話番号を入力▶[次へ]**

- 入力方法は、直接入力か発着信履歴から選択できます。

5 **入力方法を選択▶メールアドレスを入力▶[次へ]**

6 **[入力する]▶郵便番号と住所を入力▶[次へ]**

7 **[入力する]▶メモを入力▶[次へ]**

8 **[入力する]▶入力方法を選択▶誕生日を入力▶[OK]**

- 入力方法は、明治、大正、昭和、平成、西暦から選択できます。
- グループが登録してある場合は、グループの設定画面が表示されます。
- 西暦で入力した場合、グループ登録があるときは[次へ]、グループ登録がないときは[決定]と表示されます。

9 **[終了する]**

ワンタッチダイヤルに登録：[登録する]▶未登録のワンタッチダイヤルを選択▶[次へ]▶[決定]▶[OK]

- 登録した電話帳がワンタッチダイヤルに登録されます。→p.45

✔お知らせ

- 各項目で［入力しない］をプレスすると、項目を設定せずに次の操作に進みます。また、項目を追加で登録したい場合は、追加登録のメッセージに従って登録操作を繰り返します。
- 発着信履歴から電話帳を登録する場合は、待受画面で［電話］▶［電話してきた相手を見る］／［電話をかけた相手を見る］▶登録したい履歴を選択▶［メニュー］▶［電話帳に登録］／［電話帳に追加］▶各項目を設定▶［終了する］をプレスします。

◆電話帳の編集

登録済みの電話帳の内容を修正します。

標準

1 電話帳リストで修正したい電話帳を選択▶［修正する］

2 各項目を設定

- 名前や電話番号などを編集できます。

3 ［この内容で登録する］▶［OK］

シンプル

1 電話帳リストで修正したい電話帳を選択▶［メニュー］▶［修正する］

2 各項目を設定

- 名前や電話番号などを編集できます。

3 ［上書きする］／［新規登録する］▶［終了する］

ワンタッチダイヤルに登録：［登録する］▶未登録のワンタッチダイヤルを選択

- 編集した電話帳がワンタッチダイヤルに登録されます。→p.45

◆電話帳の削除

登録済みの電話帳を削除します。

1 電話帳リストで削除したい電話帳を選択

2 ［メニュー］▶［削除する］▶［削除する］▶［OK］

シンプル：［メニュー］▶［電話帳から削除］▶［削除する］▶［OK］

◆電話帳を検索

電話帳を検索します。

標準

1 電話帳リストで［メニュー］▶［検索する］

2 検索したいキーワードを入力▶［検索する］

シンプル

1 待受画面で［電話］▶［電話帳を検索する］

- 50音検索の場合は［メニュー］▶［検索方法を変更］をプレスして、検索方法を変更できます。グループ検索、文字列検索を選択した場合は、［検索方法］をプレスすると検索方法を変更できます。検索方法は50音順検索、グループ検索、文字列検索から選択できます。
- 検索方法の選択画面で検索方法の項目名をプレスすると、一時的に選択した検索方法で検索できます。各検索方法の○をプレスして◉にすると、待受画面で［電話］▶［電話帳を検索する］をプレスしたときに、選択した検索方法で優先的に検索を行います。

◆電話帳をグループごとに表示【標準】

標準メニューで、電話帳を登録したグループごとに表示できます。

1 電話帳リストで［メニュー］▶［グループ表示する］▶表示したいグループを選択

❖グループの新規作成

標準メニューで、電話帳を登録するグループを作成できます。

1 電話帳リストで［メニュー］▶［グループ表示する］

2 ［メニュー］▶［グループを編集する］▶［グループを追加］

3 ［一覧から選ぶ］▶一覧からグループを選択▶［この内容で登録する］▶［OK］

入力して追加：［直接入力する］▶グループ名を入力▶［決定］▶［この内容で登録する］▶［OK］

◆電話帳をグループごとに表示【シンプル】

シンプルメニューで、電話帳を登録したグループごとに表示できます。

1 電話帳リストで[メニュー]▶[検索方法を変更]▶[グループ検索]▶表示したいグループを選択

❖グループの新規作成

シンプルメニューで、電話帳を登録するグループを作成できます。

1 待受画面で[電話]▶[電話帳のグループを設定する]

2 [グループを追加する]

- グループ名の変更、削除もできます。

3 [一覧から選ぶ]▶グループを選択▶[OK]

入力して追加：[直接入力する]▶グループ名を入力▶[決定]▶[OK]

自分の電話番号

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集したりできます。

標準

1 ホーム画面で[自分の電話番号]

- [修正する]をプレスすると、名前やメールアドレスなどのマイプロフィールを修正できます。なお、メールアドレスは1件目のみ自動取得ができ、入力済みのメールアドレスがある場合は上書きされます。
- [赤外線でデータを送る]をプレスすると、赤外線送信ができます。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[自分の電話番号を見る]

- [修正する]をプレスすると、名前やメールアドレスなどのマイプロフィールを修正できます。なお、メールアドレスは1件目のみ自動取得ができ、入力済みのメールアドレスがある場合は上書きされます。
- [メニュー]をプレスすると、赤外線送信ができます。

メール／インターネット

メール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp ）を利用して、メール（spモードメール）の送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- メールをご利用いただくには、spモードの契約が必要です。
- メールの初回起動時は「ソフトウェア使用許諾規約」画面が表示されます。メールをご利用いただくには、「ソフトウェア使用許諾規約」をご確認の上、同意いただく必要があります。同意後、マイアドレスが自動で登録されます。

◆メールの作成・送信【標準】

1 ホーム画面で［メール］

メールのメニュー画面が表示されます。

2 ［メール作成］

メール作成画面が表示されます。

- メール作成画面で［メニュー］をプレスすると、署名や例文、テンプレートの挿入、保存／破棄の操作ができます。

3 宛先の［ここを押して入力］▶宛先を入力

- 宛先を［電話帳から選ぶ］／［最近送信した人から選ぶ］／［最近受信した人から選ぶ］／［直接入力する］のいずれかを選択し、画面の案内に従って操作してください。
- 宛先の入力後に、宛先を追加するには［追加］、変更や削除をするには入力済みの宛先をプレスします。

4 件名の［ここを押して入力］▶件名を入力▶［入力を完了する］

5 添付の［ここを押して選択］▶ファイルを選択

- ファイルを添付するには、［写真］／［写真（携帯電話向けに縮小）］／［その他のファイル］のいずれかを選択し、画面の案内に従って操作してください。

6 本文の［ここを押して入力］▶本文を入力▶［入力を完了する］

- 本文入力画面で［メニュー］をプレスすると次の操作ができます。
  ［デコメを挿入する］：デコメ絵文字®を選択して本文に挿入できます。
  ［かんたんデコメを使う］：お買い上げ時に保存されている画像などを利用して、入力した本文を簡単に装飾します。
  ［装飾を使う］：本文の装飾操作ができます。
  ［テキスト操作］：署名やテンプレート、例文、位置情報などを挿入できます。
  ［直前の動作を取り消す］：直前の操作を取り消します。
  ［直前の動作をやり直す］：「直前の動作を取り消す」で行った操作を再度取り消す前の状態に戻します。
- 本文を入力するエリアをロングプレスしてもテキスト操作が行えます。

7 ［メールを送信する］▶［送信する］▶［閉じる］

送信が完了すると、送信メールのフォルダに保存されます。

◆メールの作成・送信【シンプル】

❖簡単メールの作成・送信

1 待受画面で［メール］

メールのメニュー画面が表示されます。

2 ［メールを作る］

通常メール作成画面が表示されます。

- 前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作5に進みます。

3 ［簡単］

簡単メール作成に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

4 ［切り替える］

簡単メール作成画面が表示されます。

- ［通常］をプレスすると、通常メールに切り替えられます。→p.51

5 ［文章のみ］

［テンプレート］の場合：テンプレートを選択
［ファイル添付］の場合：［写真］／［写真（携帯電話向けに縮小）］／［その他のファイル］のいずれかを選択し、画面の案内に従って操作

6 [直接入力する]▶宛先を入力▶[入力完了]

[最近送信した人]／[最近受信した人]の場合：最近メールを送受信した宛先の履歴から選択

[電話帳から選ぶ]の場合：登録されている電話帳から宛先を選択

7 [次へ進む]

[この宛先を編集]の場合：入力した宛先を再編集

[他の宛先を編集]の場合：[宛先：]をプレスして他の宛先を追加／再編集

8 [直接入力する]▶件名を入力▶[入力完了]

[例文から選ぶ]の場合：例文から選択

[次へ進む]の場合：件名を入力せずに、操作10に進む

9 [次へ進む]

本文の編集画面が表示されます。

10 [本文を編集する]▶本文を入力▶[入力完了]

- 本文入力画面で［メニュー］をプレスすると次の操作ができます。
  [デコメを挿入する]：デコメ絵文字®を選択して本文に挿入できます。
  [かんたんデコメを使う]：お買い上げ時に保存されている画像などを利用して、入力した本文を簡単に装飾します。
  [装飾を使う]：本文の装飾操作ができます。
  [テキスト操作]：署名やテンプレート、例文、位置情報などを挿入できます。
  [直前の動作を取り消す]：直前の操作を取り消します。
  [直前の動作をやり直す]：「直前の動作を取り消す」で行った操作を再度取り消す前の状態に戻します。
- 本文を入力するエリアをロングプレスしてもテキスト操作が行えます。

[次へ進む]の場合：本文を入力せずに、操作12に進む

11 [次へ進む]

入力が完了したメール作成画面が表示されます。

12 [送信する]

メールを送信するかどうかの確認画面が表示されます。

13 [送信する]▶[閉じる]

送信が完了すると、送信メールのフォルダに保存されます。

[保存して終了]の場合：作成したメールを送信せずに未送信メール内に保存

❖通常メールの作成・送信

1 待受画面で[メール]

2 [メールを作る]

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、［通常］▶［切り替える］をプレスします。
- ［メニュー］をプレスすると、署名や例文、テンプレートの挿入、保存／破棄の操作ができます。

3 宛先の[押して入力]▶宛先を入力▶[入力完了]

- 宛先を［電話帳から選ぶ］／［最近送信した人］／［最近受信した人］／［直接入力する］のいずれかを選択し、画面の案内に従って操作してください。
- 宛先の入力後に宛先を追加するには［追加］、宛先の変更や削除をするには入力済みの宛先をプレスします。

4 件名の[押して入力]▶件名を入力▶[入力完了]

5 添付の[押して選択]▶ファイルを選択

- ファイルを添付するには、［写真］／［写真(携帯電話向けに縮小)］／［その他のファイル］のいずれかを選択し、画面の案内に従って操作してください。

6 本文の[ここを押して入力]▶本文を入力▶[入力完了]

- 本文入力画面で［メニュー］をプレスすると次の操作ができます。
  [デコメを挿入する]：デコメ絵文字®を選択して本文に挿入できます。
  [かんたんデコメを使う]：お買い上げ時に保存されている画像などを利用して、入力した本文を簡単に装飾します。
  [装飾を使う]：本文の装飾操作ができます。
  [テキスト操作]：署名やテンプレート、例文、位置情報などを挿入できます。
  [直前の動作を取り消す]：直前の操作を取り消します。
  [直前の動作をやり直す]：「直前の動作を取り消す」で行った操作を再度取り消す前の状態に戻します。
- 本文を入力するエリアをロングプレスしてもテキスト操作が行えます。

7 [メールを送信する]▶[送信する]▶[閉じる]

送信が完了すると、送信メールのフォルダに保存されます。

◆テンプレート

保存されているテンプレートを利用して簡単にデコメール®を作成できます。

標準

1 ホーム画面で［メール］

2 ［テンプレート］▶テンプレートを選択

- テンプレート一覧を左右にフリックして画像を選択します。

3 拡大表示された画像をプレス▶［決定］

テンプレートが挿入されたメール作成画面が表示されます。→p.50

シンプル

1 待受画面で［メール］

2 ［テンプレートを使ってメールを作る］▶テンプレートを選択

- テンプレート一覧を左右にフリックして画像を選択します。

3 拡大表示された画像をプレス▶［決定］

テンプレートが挿入されたメール作成画面が表示されます。→p.50

◆メールを受信したときは

メールサーバーにメールが届くと、自動的に本端末に送られてきます。
メールを受信すると、お知らせランプが点滅し、着信音が鳴ります。通知アイコンが表示され、画面に新着通知が表示されます。
新着通知をプレスして新着メールを確認します。

✔お知らせ

- メール受信時の動作は変更することができます。→p.54
- 本端末のメールメモリの空き容量が少なくなると、メールを受信できません。不要な未読メールや保護メールを削除するなどして、メールメモリの空き容量を増やしてください。

◆新着問合せ

標準

1 ホーム画面で［メール］

2 ［新着問合せ］

問合せが開始されます。メールがあると受信メールのフォルダに保存されます。

シンプル

1 待受画面で［メール］

2 ［メールがあるか問い合わせる］

問合せが開始されます。メールがあると受信メールのフォルダに保存されます。

◆受信／送信／未送信メールの表示

標準

1 ホーム画面で［メール］

2 ［受信メール］／［送信メール］／［未送信メール］のいずれかをプレス

受信／送信メールのフォルダ一覧、未送信メール一覧が表示されます。

- ［未送信メール］をプレスした場合は、操作4に進みます。

3 受信／送信メールのフォルダを選択

受信／送信メール一覧が表示されます。

4 メールを選択

受信／送信／未送信メールの詳細画面が表示されます。

シンプル

1 待受画面で［メール］

2 ［受信したメールを見る］／［未送信のメールを見る］／［送信したメールを見る］のいずれかをプレス

受信／送信メールのフォルダ一覧、未送信メール一覧が表示されます。

- ［未送信のメールを見る］をプレスした場合は、操作4に進みます。

3 受信／送信メールのフォルダを選択

受信／送信メール一覧が表示されます。

4 メールを選択

受信／送信／未送信メールの詳細画面が表示されます。

◆メールの操作

受信／送信／未送信メールを操作します。

- フォルダやメールによって、操作できる項目は異なります。

❖受信／送信フォルダの操作

1 フォルダ一覧表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

フォルダを追加する：フォルダを追加します。
フォルダを削除する：フォルダを削除します。
フォルダ名を変更する：フォルダ名を変更します。
フォルダを並び替える：フォルダを2つ以上作成した場合に、作成したフォルダを並び替えます。
メールを振り分ける※1：フォルダに振り分け条件を設定して、振り分けを実行するかどうかを設定します。
振り分け条件を設定する※2：フォルダに振り分け条件を設定します。
自動振り分けを実行する※2：振り分けを実行するかどうかを設定します。
保存件数を表示する：フォルダに保存されているメール／メッセージRの件数を表示します。

※1 シンプルメニューでは表示されません。
※2 標準メニューでは表示されません。

❖受信／送信／未送信メール一覧の操作

1 メール一覧表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

並び順を変更する：並び順を変更します。
保護／保護解除：メールを保護／保護解除します。
未読／既読変更：受信メールの既読／未読を変更します。
削除する：メールを選択して削除します。
フォルダを移動する：受信／送信メールをフォルダ移動します。
その他※1：条件を指定してメールを検索、microSDカードへコピー、メールアドレスの電話帳登録、赤外線でメールを送信します。
検索する※2：条件を指定してメールを検索します。
SDへコピー※2：microSDカードにコピーします。
電話帳に登録する※2：メールアドレスを電話帳に登録します。
赤外線でメールを送る※2：赤外線でメールを送信します。

※1 シンプルメニューでは表示されません。
※2 標準メニューでは表示されません。

❖受信／送信／未送信メール詳細画面の操作

1 メール詳細画面表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

返信する※1：受信メールに返信します。→p.54
転送する：受信メールを転送します。→p.54
再編集する：送信／未送信メールを再編集します。

- 標準メニューの未送信メールでは表示されません。

削除する：表示中のメールを削除します。
フォルダを移動する：受信／送信メールのフォルダを移動します。
電話帳に登録する：メールアドレスを電話帳に登録します。
本文コピー：本文をコピーします。
その他※2：表示中のメールをmicroSDカードへコピーしたり、保護／保護解除したり、デコメール®の画像を操作したり、受信メールをレイアウト補正せずに表示したりします。
SDへコピー※1：microSDカードにコピーします。
保護／保護解除※1：保護／保護解除します。
デコメ操作※1：デコメール®の本文に挿入されている画像を表示したり、保存したりします。
レイアウト補正なし※1：受信メールを画面の右端で折り返さずに、送信された状態で表示します。

※1 標準メニューでは表示されません。
※2 シンプルメニューでは表示されません。

❖添付ファイルの操作

メールに添付されているファイルを表示・保存します。

1 メール詳細画面表示中に[添付ファイル一覧]

2 ファイルを選択

- 添付ファイルが画像の場合は自動的に表示され、［保存］をプレスしてmicroSDカードの保存先フォルダを選択して保存できます。

3 [表示する]／[保存する]

表示する：添付ファイルを表示します。

- 添付ファイルによっては、［再生する］や［実行する］を選択できます。

保存する：microSDカードに添付ファイルを保存します。

- microSDカードが取り付けられていない場合は、自動的に本体メモリが保存先となります。

◆メールに返信

標準

1 ホーム画面で[メール]

2 [受信メール]▶フォルダを選択▶メールを選択

3 [返信する]

メール作成画面が表示されます。→p.50

シンプル

1 待受画面で[メール]

2 [受信したメールを見る]▶フォルダを選択▶メールを選択

3 [メニュー]▶[返信する]

メール作成画面が表示されます。→p.50

✔お知らせ

- 複数の宛先に送られた受信メールに返信するときは、返信先の選択画面が表示されます。

◆メールを転送

1 ホーム画面で[メール]▶[受信メール]

シンプル：待受画面で［メール］▶［受信したメールを見る］

2 フォルダを選択▶メールを選択

3 [メニュー]▶[転送する]

メール作成画面が表示されます。→p.50

◆送受信履歴

標準

1 ホーム画面で[メール]

2 [送受信履歴]▶[受信した人]／[送信した人]

履歴の一覧が表示されます。

- ［受信履歴を削除する］／［送信履歴を削除する］をプレスすると、履歴をすべて削除できます。
- 履歴を選択すると、メールの作成、電話帳に登録・追加、履歴の削除の操作ができます。

シンプル

1 待受画面で[メール]

2 [メールを送受信した人を見る]▶[最近送信した人]／[最近受信した人]

履歴の一覧が表示されます。

- ［削除］をプレスすると、履歴をすべて削除できます。
- 履歴を選択すると、メールの作成、電話帳に登録・追加、履歴の削除の操作ができます。

◆メールの設定

メールに関するさまざまな設定を行います。

❖受信設定

1 ホーム画面で[メール]▶[設定]▶[受信]

シンプル：待受画面で［メール］▶［メールを設定する］▶［受信］

2 各項目を設定

■メール

着信音：受信時の着信音を選択します。

着信音鳴動時間：受信時の着信音の鳴動時間を0～30秒の間で設定します。

振動：受信時の振動パターンを選択します。

- 受信時に振動させるには、「電話・メール着信時の振動設定」を有効にしてください。→p.99

振動時間：受信時の振動時間を0～30秒の間で設定します。

着信ランプ：受信時にお知らせランプを点灯するかどうかを設定します。

着信ランプ色：受信時のお知らせランプの色を選択します。

■メッセージR

着信音：受信時の着信音を選択します。

着信音鳴動時間：受信時の着信音の鳴動時間を0～30秒の間で設定します。

振動：受信時の振動パターンを選択します。

- 受信時に振動させるには、「電話・メール着信時の振動設定」を有効にしてください。→p.99

振動時間：受信時の振動時間を0～30秒の間で設定します。

着信ランプ：受信時にお知らせランプを点灯するかどうかを設定します。

着信ランプ色：受信時のお知らせランプの色を選択します。

■共通設定

メール自動受信：新着メールを自動で受信するかどうかを設定します。

■海外設定

海外メール自動受信：海外ローミング中にメールを自動受信するかどうかを設定します。
海外通信時確認ダイアログ／海外通信時確認画面：海外ローミング中にメールが受信されるときに、受信確認画面を表示するかどうかを設定します。

❖表示設定

1 ホーム画面で[メール]▶[設定]▶[表示]
シンプル：待受画面で［メール］▶［メールを設定する］▶［表示］

2 各項目を設定
表示切替：メニューの表示形式を設定します。
- シンプルメニューでは表示されません。

本文文字サイズ変更：本文の文字サイズを選択します。
電話帳登録名表示：電話帳に登録されている名前を表示するかどうかを設定します。

❖署名設定

1 ホーム画面で[メール]▶[設定]▶[署名]
シンプル：待受画面で［メール］▶［メールを設定する］▶［署名］

2 各項目を設定
自動署名設定：メールに署名を自動で挿入するかどうかを設定します。
署名を編集する：署名を編集します。

❖例文編集

お買い上げ時に登録されている例文の件名と本文を編集します。

1 ホーム画面で[メール]▶[設定]▶[例文]
シンプル：待受画面で［メール］▶［メールを設定する］▶［例文］

2 例文を選択▶編集▶[決定]

❖その他設定

1 ホーム画面で[メール]▶[設定]▶[その他]
シンプル：待受画面で［メール］▶［メールを設定する］▶［その他］

2 各項目を設定
引用符編集：メールを返信する際、引用する本文の先頭に付ける引用符を編集します。
引用返信設定：メールを返信する際、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。
らくらく返信設定：メールを返信する際、らくらく返信を利用するかどうかを設定します。
返信メール編集：らくらく返信の返信文を編集します。
メール全般の設定：ドコモサイトに接続して、メールアドレス変更などのメールの設定をします。
- シンプルメニューでは表示されません。シンプルメニューの場合は、「自分のメールアドレスを確認・変更【シンプル】」をご覧ください。→p.56

マイアドレス：マイアドレス情報を更新したり、メールアドレスをコピーしたりできます。
利用者使用許諾日時：本機能を使用開始した日時が表示されています。
かんたんWi-Fi設定：Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用するための設定を行います。
Wi-Fiメール利用設定：spモードセンターに接続して、Wi-Fiメール利用について設定します。
パスワード設定：Wi-Fiオプションパスワードを設定します。
Wi-Fiメール接続確認：spモードセンターに接続してWi-Fiオプションパスワードの確認をします。
アプリケーション名：メールアプリ名が表示されています。
提供者：メールアプリの提供者が表示されています。
バージョン：メールアプリのバージョンが表示されています。
本アプリのライセンスについて：メールアプリのライセンスについて表示します。
Copyright：メールアプリのコピーライトが表示されています。

❖自分のメールアドレスを確認・変更【シンプル】

ドコモサイトに接続して、メールアドレス変更などのメールの設定をします。
- 標準メニューの場合は、その他設定の「メール全般の設定」をご覧ください。→p.55

1 **待受画面で［メール］▶［メールアドレスを確認・変更する］▶［接続する］**

ドコモサイトに接続します。
- 以降は画面の案内に従ってメールアドレスを確認したり、変更したりします。

◆メッセージサービス

メッセージサービスを提供するサイトに申し込むと、欲しい情報（メッセージR）が自動的に受信できます。

❖受信したメッセージRの表示

1 **ホーム画面で［メール］▶［受信メール］**

シンプル：待受画面で［メール］▶［受信したメールを見る］

2 **［メッセージR］▶メッセージRを選択**
- メッセージRを転送したり、返信したりできません。一部の操作を除き、主な操作方法はメールと同様です。

パソコンメール

Gmail、Yahoo！メール、Hotmailなどのアカウントをお持ちの場合は、本端末でメールの送受信ができます。
- ここでは、Gmailのメールアカウント（Googleアカウント）での操作方法を説明しています。

◆パソコンメールのアカウントを設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。
- 最大3件登録できます。

1 **ホーム画面で［便利ツール］▶［パソコンメール］**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

2 **［新規アカウント］**

メールアドレスの入力画面が表示されます。

3 **［ここを押して入力］▶メールアドレスを入力▶［入力画面を閉じる］▶［次へ］**

パスワードの入力画面が表示されます。

4 **［ここを押して入力］▶パスワードを入力▶［入力画面を閉じる］▶［次へ（自動設定）］**

アイコンの選択画面が表示されます。

5 **アイコンを選択▶［完了］**

登録内容が表示されます。

6 **［この内容で登録する］**

新着メールを確認するかの確認画面が表示されます。

7 **［確認する］／［戻る］**

メールのメニュー画面が表示されます。
- ［確認する］をプレスした場合は、問合せの確認結果を確認して［閉じる］をプレスします。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作4で［次へ（手動設定）］をプレスしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（OutboundPort 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

■アカウントの追加

すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、次の操作を行います。

1 メールのメニュー画面で[メニュー]▶[アカウント一覧を表示･管理]

アカウント一覧が表示されます。

2 [メニュー]▶[アカウントを追加する]

- 以降の操作方法については、「パソコンメールのアカウントを設定」の操作2以降をご覧ください。

✔お知らせ

- 設定したアカウントを確認したり、編集したりする場合は、操作2で［メニュー］▶［アカウントを見る・変更する］▶アカウントを選択します。
- 設定したアカウントを削除するには、操作2で［メニュー］▶［アカウントを削除する］▶アカウントを選択▶［削除する］▶［閉じる］をプレスします。
- 他の端末からmicroSDカードにコピーしたメールを本端末に取り込むには、メールのメニュー画面で［メニュー］▶［SDから取り込む］をプレスし、画面の案内に従って操作してください。

◆パソコンメールの作成・送信

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

メールのメニュー画面が表示されます。

- メールアカウントを2つ以上設定している場合は、アカウント一覧画面が表示されます。アカウントを選択すると、メールのメニュー画面が表示されます。

2 [メール作成]

メール作成画面が表示されます。

- メール作成画面で［メニュー］をプレスすると、署名や例文、保存の操作ができます。

3 宛先の[ここを押して入力]▶宛先を入力

- 宛先を［電話帳から選ぶ］／［最近送信した人から選ぶ］／［最近受信した人から選ぶ］／［直接入力する］のいずれかを選択し、画面の案内に従って操作してください。
- 宛先の入力後に、宛先を追加するには［追加］、変更や削除をするには入力済みの宛先をプレスします。

4 件名の[ここを押して入力]▶件名を入力▶[入力を完了する]

5 添付の[ここを押して入力]▶ファイルを選択

- ファイルを添付するには、［写真］／［写真(携帯電話向けに縮小)］／［その他のファイル］のいずれかを選択し、画面の案内に従って操作してください。

6 本文の[ここを押して入力]▶本文を入力▶[入力を完了する]

- 本文入力画面で［メニュー］をプレスすると、文字サイズや文字色の変更などができます。
- 本文が入力されるエリアをロングプレスすると、署名や例文などを挿入できます。

7 [メールを送信する]▶[送信する]▶[閉じる]

送信が完了すると、送信メールのフォルダに保存されます。

◆パソコンメールを受信したときは

パソコンメールを受信すると、お知らせランプが点滅し、着信音が鳴ります。通知アイコンが表示され、画面に新着通知が表示されます。
新着通知をプレスして新着メールを確認します。

✔お知らせ

- パソコンメール受信時の動作を変更するには、ホーム画面で［便利ツール］▶［パソコンメール］▶［設定］▶［このアカウント設定］▶［受信］をプレスして各項目の設定を変更します。シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］▶［設定］▶［このアカウント設定］▶［受信］をプレスして変更します。

◆パソコンメールの新着問合せ

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

2 [新着問合せ]▶[閉じる]

パソコンメールがあると受信メールのフォルダに保存されます。

◆パソコンメールの表示

1 **ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

2 **[受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]のいずれかをプレス**

受信／送信／未送信メール一覧が表示されます。

3 **メールを選択**

受信／送信／未送信メールの詳細画面が表示されます。

◆パソコンメールの操作

受信／送信／未送信メールを操作します。
• メールによって操作できる項目は異なります。

❖パソコンメール一覧の操作

1 **パソコンメール一覧表示中に[メニュー]**

2 **各項目を設定**

新着メールを問合せる：新着メールの問合せを開始します。
過去メールを問合せる：取得済みメール以前の未取得メールの問合せを開始します。
並び順を変更する：並び順を変更します。
既読／未読変更：受信メールの既読／未読を変更します。
削除する：メールを選択して削除します
検索する：条件を指定してメールを検索します。
電話帳に登録する：メールアドレスを電話帳に登録します。
SDカードへコピー：microSDカードにコピーします。

❖パソコンメール詳細画面の操作

1 **パソコンメール詳細画面表示中に[メニュー]**

2 **各項目を設定**

転送する：受信メールを転送します。→p.58
再編集する：送信メールを再編集します。
削除する：表示中のメールを削除します。
電話帳に登録する：メールアドレスを電話帳に登録します。
本文コピー：本文をコピーします。
SDカードへコピー：microSDカードにコピーします。

❖添付ファイルの操作

1 **パソコンメール詳細画面表示中に[添付ファイル一覧]**

2 **ファイルを選択**

• 添付ファイルが画像の場合は画像が表示され、［保存］をプレスしてmicroSDカードの保存先フォルダを選択して保存できます。

3 **[表示する]／[保存する]**

表示する：表示するアプリを選択して添付ファイルを表示します。
保存する：microSDカードの保存先フォルダを選択して保存します。
• microSDカードが取り付けられていない場合は、自動的に本体メモリが保存先となります。

◆パソコンメールに返信

1 **ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

2 **[受信メール]**

受信メール一覧が表示されます。

3 **メールを選択**

受信メール詳細画面が表示されます。

4 **[返信する]**

メール作成画面が表示されます。→p.57

✔**お知らせ**

• アカウントによっては、操作2で［受信メール］をプレスした後に、フォルダを選択する場合があります。

◆パソコンメールを転送

1 **ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

2 **[受信メール]▶メールを選択**

3 **[メニュー]▶[転送する]**

メール作成画面が表示されます。→p.57

◆パソコンメールの送受信履歴

1 **ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

2 **[送受信履歴]▶[受信した人]／[送信した人]**

履歴の一覧が表示されます。

- ［受信履歴を削除する］／［送信履歴を削除する］をプレスすると、履歴をすべて削除できます。
- 履歴を選択すると、パソコンメールの作成、電話帳への登録・追加、履歴の削除ができます。

◆パソコンメールの設定

パソコンメールについての設定を行います。

❖アカウント共通の設定

1 **ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

2 **[設定]▶[アカウント共通の設定]**

3 **各項目を設定**

■受信

メールサイズ制限：受信するメールサイズの制限を設定します。
海外メール自動受信：海外ローミング中のメールの自動受信／手動受信を設定します。
海外通信時確認ダイアログ：海外ローミング中のメール受信時に受信確認画面の表示／非表示を設定します。

■表示

本文文字サイズ変更：メール本文の文字サイズを選択します。
電話帳登録名表示：宛先や差出人に電話帳に登録されている名前の表示／非表示を設定します。

■例文

メール本文に利用できる例文を選択して編集します。

■その他

引用符編集：メールを返信する際、引用する本文の先頭に付ける引用符を編集します。
引用返信設定：メールを返信する際、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。
らくらく返信設定：メールを返信する際、返信文を選択するだけで送信できるように設定します。
返信メール編集：らくらく返信の返信文を編集します。

❖アカウント個別の設定

複数のメールアカウントを設定している場合などに、アカウントごとの受信設定や署名を変更できます。

1 **ホーム画面で[便利ツール]▶[パソコンメール]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［パソコンメールを使う］

- 複数のメールアカウントがある場合は、設定するアカウントを選択します。

2 **[設定]▶[このアカウント設定]**

3 **各項目を設定**

■受信

着信音：受信時の着信音を選択します。
着信音鳴動時間：受信時の着信音の鳴動時間を0～30秒の間で設定します。
振動：受信時の振動パターンを選択します。

- 受信時に振動させるには、「電話・メール着信時の振動設定」を有効にしてください。→p.99

振動時間：受信時の振動時間を0～30秒の間で設定します。
着信ランプ：受信時にお知らせランプの点灯／非点灯を設定します。
着信ランプ色：受信時のお知らせランプの色を選択します。
受信間隔：メール受信の受信間隔を選択します。

■署名

自動署名設定：メールに署名を自動で挿入するかどうかを設定します。
署名を編集する：署名を編集します。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

◆SMSの作成・送信

1 **ホーム画面で[メール]▶[SMS]**

シンプル：待受画面で［メール］▶［SMSを使う］

2 **[新しくメッセージを送る]**

宛先の指定方法の選択画面が表示されます。

3 **[電話番号を入力]**

電話番号入力画面が表示されます。

- ［電話帳から選ぶ］をプレスした場合は、送信する相手を選択し、操作5に進みます。

4 **電話番号を入力▶[メッセージを書く]**

メッセージの入力画面が表示されます。

5 **メッセージを入力▶[入力を完了する]**

入力が完了した送信画面が表示されます。

6 **[送信する]**

- ［メニュー］▶［宛先を追加］／［宛先を編集］をプレスすると、宛先の追加や宛先の削除ができます。

✔お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

◆SMSを受信したときは

SMSを受信すると、お知らせランプが点滅し、着信音が鳴ります。通知アイコンが表示され、画面に新着通知が表示されます。

新着通知をプレスして新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- SMS受信時の動作は変更することができます。→p.61
- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、新着SMS通知の設定に関わらず着信音が鳴らなかったり、振動しなかったりする場合があります。
- 本体メモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→p.120

◆送受信したSMSの表示

1 **ホーム画面で[メール]▶[SMS]**

シンプル：待受画面で［メール］▶［SMSを使う］

2 **相手を選択**

- SMS表示中に［メッセージをクリア］をプレスすると、表示中のSMS一覧を削除できます。
- SMS表示中に［メニュー］をプレスすると、電話発信や電話帳登録、SMS削除の操作ができます。

◆SMSに返信

1 **ホーム画面で[メール]▶[SMS]**

シンプル：待受画面で［メール］▶［SMSを使う］

2 **相手を選択**

3 **[メッセージを書く]**

メッセージの入力画面が表示されます。

4 **メッセージを入力▶[入力を完了する]**

入力が完了した送信画面が表示されます。

5 **[送信する]**

◆ドコモminiUIMカード内のSMSの操作

他の端末でドコモminiUIMカードに保存したSMSを操作します。

- 本端末のSMSをドコモminiUIMカードにコピーすることはできません。

〈例〉本体にコピーする

1 ホーム画面で[メール]▶[SMS]

シンプル：待受画面で［メール］▶［SMSを使う］

2 [メニュー]▶[SIMカードのSMSを見る]▶SMSを選択

3 [本体にコピーする]

削除する：[削除する］▶［削除する］

◆SMSの設定

1 ホーム画面で[メール]▶[SMS]

シンプル：待受画面で［メール］▶［SMSを使う］

2 [メニュー]▶[SMSを設定する]

3 各項目を設定

着信音：メッセージが届いたときの着信音を設定します。

受信時の振動：メッセージが届いたときに振動させるかどうかを設定します。

着信ランプ：メッセージが届いたときにお知らせランプを点灯させるかどうかを設定します。

通知時間：メッセージが届いたときの通知時間を1～60秒の間で設定します。

受取確認通知：オンに設定すると、メッセージ一覧の送信メッセージに「配信済み」が表示され、メッセージが宛先に届いたことを確認できます。

メッセージセンター番号：他社／海外のSIMで端末を利用する場合に、メッセージを送信するのに必要なメッセージセンターの番号を設定します。すでに番号が設定されている場合、通常は設定を行う必要はありません。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本体メモリの空き容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→p.62

◆受信したエリアメールの表示

1 ホーム画面で[あんしんツール]▶[災害用キット]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［災害用キットを使う］

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を確認して、[同意して利用する] をプレスします。

2 [緊急速報「エリアメール」]▶エリアメールを選択

◆エリアメールの削除

1 ホーム画面で[あんしんツール]▶[災害用キット]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［災害用キットを使う］

2 [緊急速報「エリアメール」]▶エリアメールをチェック▶[削除]／[すべて選択]

3 [削除する]

◆緊急速報「エリアメール」設定

1 ホーム画面で[あんしんツール]▶[災害用キット]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［災害用キットを使う］

2 [緊急速報「エリアメール」]▶[メニュー]

3 各項目を設定

エリアメール受信設定：エリアメールを受信するかどうかを設定します。

着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。

受信画面と着信音の確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。

受信登録：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。

アプリ情報：アプリ情報を表示します。

インターネット

パソコンと同じようにインターネットのWebページをご覧になれます。パケット通信またはWi-Fi機能を利用して、ブラウザ（Webページを閲覧するためのアプリ）でインターネットに接続します。

- 表示するWebページによっては次のように、らくらくタッチの設定（→p.101）に従って動作しない場合があります。
  - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレスの動作にならない
  - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレス時に振動しない
  - アイコンやメニューなどに軽く触れても、色や枠が変化しない
  - アイコンやメニューなどをプレスしたとき、色や枠に変化はないが、振動する

◆Webページ表示中の画面操作

■Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

2回タッチ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度2回タッチします。

ズームコントロール：画面をフリックして[⊖][⊕]を表示します。[⊕]をプレスして拡大し、[⊖]をプレスして縮小します。

■画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→p.24）して見たい部分を表示します。

■Webページを戻す／進める

表示したWebページを画面上部の[◀]（前のページ）で戻り、[▶]（次のページ）で進みます。

◆インターネットを起動してWebページを表示

❖キーワードからWebページを表示

1 ホーム画面で[インターネット]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［インターネットに接続する］

ホームページに設定されているWebページが表示されます。→p.64

2 検索

dメニューの検索サイトが表示されます。

- ブラウザの詳細設定の検索サービスを［dメニュー］以外に設定している場合は、キーワード入力画面が表示されます。

3 検索ボックスをプレス▶キーワードを入力▶[実行]

検索結果が表示されます。

- 検索ボックス右側のをプレスすると、音声でキーワードを入力できます。

❖URLを入力してWebページを表示

1 ホーム画面で[インターネット]▶[メニュー]▶[その他の操作を行う]▶[URLを入力して接続]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［URLを入力して接続する］

2 URLを入力▶[接続]

入力したURLのWebページが表示されます。

❖履歴からWebページを表示

1 Webページ表示中に[メニュー]▶[その他の操作を行う]▶[閲覧履歴を見る]

- シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［サイト閲覧履歴を見る］をプレスしても操作できます。

2 閲覧履歴を選択▶[接続する]

- 閲覧履歴一覧で［メニュー］をプレスすると、閲覧履歴の削除、URLの表示やコピーなどの操作ができます。

✔お知らせ

- ページの情報が正常に受信できなかった場合に、Webページ表示中に［メニュー］▶［再読み込みする］をプレスすると、再読み込みを行います。

◆ブックマークを登録して簡単にWebページにアクセス

ブックマークとは、後から再度表示したいWebページをブラウザに登録しておく機能です。

- ブックマークの最大保存件数は100件です。

❖ブックマークの登録

1 Webページ表示中に[メニュー]▶[ブックマークに登録]

- すでに同じブックマークがある場合は、登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 標準メニューでは、登録したブックマークをホーム画面の「よく使うブックマーク」に貼り付けるかどうかの確認画面が表示されますので、［貼る］／［貼らない］を選択して設定できます。
- シンプルメニューでは、［OK］をプレスしてブックマークに登録します。

✔お知らせ

- ブックマークの削除や名称変更などをするには、Webページ表示中に［メニュー］▶［ブックマーク一覧］▶［メニュー］をプレスして各項目を選択し、画面の案内に従って操作してください。

❖ブックマークからWebページを表示

1 Webページ表示中に[メニュー]▶[ブックマーク一覧]

- シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［ブックマークを見る］をプレスしても操作できます。

2 ブックマークを選択

❖ブックマークをホーム画面に貼付【標準】

ブックマークをホーム画面に貼り付けておくと、ホーム画面から簡単にWebページを表示できます。

1 Webページ表示中に[メニュー]▶[ブックマーク一覧]

2 [メニュー]▶[ホーム画面に貼る]▶ブックマークを選択▶[ホーム画面に貼る]

カテゴリ別アプリ（→p.28）の一番上の「よく使うブックマーク」カテゴリにブックマークが貼り付けられます。

✔お知らせ

- ブックマークの貼り付けを解除するには、ホーム画面で［設定］▶［画面・ランプの設定］▶［ホーム画面の設定］▶［ブックマークの貼付け解除］▶ブックマークを選択▶［貼付けを解除する］▶［解除する］▶［OK］をプレスします。また、ブックマーク一覧で［メニュー］▶［ホーム画面から解除］をプレスしても解除できます。ただし、ブックマークの貼り付けを解除しても、ブックマークは削除されません。
- ブックマークの貼り付けがすべて解除されると、ホーム画面の「よく使うブックマーク」カテゴリは消去されます。
- ブックマークを削除しても、ホーム画面に貼り付けられたブックマークは消去されません。

◆Webページのリンクを操作

Webページに表示されているリンクを操作します。

URLの場合

- プレスしてWebページを開きます。
- ロングプレスしてURLをコピー、またはテキストを選択してコピーします。

電子メールアドレスの場合

- プレスしてメールを作成します。
- ロングプレスしてメールを作成、またはテキストを選択してコピーします。

電話番号の場合

- プレスして電話番号に発信します。
- ロングプレスして電話番号を電話帳に登録、またはテキストを選択してコピーします。

ファイルの場合

- プレスしてファイルをダウンロードして保存します。

✔お知らせ

- 保存したファイルは、Webページ表示中に［メニュー］▶［その他の操作を行う］▶［ダウンロード履歴］で確認できます。

◆Webページに表示されている画像を保存

1 Webページ表示中に画像を選択（ロングプレス）▶［画像を保存する］／［保存する］

- 表示される項目は、Webページや画像によって異なります。

2 ［OK］

保存された画像が表示されます。

✔お知らせ

- 保存した画像は、アルバム（→p.83）または、Webページ表示中に［メニュー］▶［その他の操作を行う］▶［ダウンロード履歴］で確認できます。なお、画像によっては、アルバムに保存されないものもあります。

◆ブラウザの設定

ブラウザに関するさまざまな設定を行います。

❖Webページの文字の大きさ

1 Webページ表示中に［メニュー］▶［その他の操作を行う］▶［ブラウザを設定する］

- シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［ブラウザを設定する］をプレスしても操作できます。

2 ［文字の大きさ］▶大きさを選択▶［OK］

✔お知らせ

- 文字の大きさを［大］に設定すると、Webページによっては正しく表示されない場合があります。

❖ホームページの設定

- お買い上げ時は、ホームページ（最初に表示されるページ）にdメニューが設定されています。

1 Webページ表示中に［メニュー］▶［その他の操作を行う］▶［ブラウザを設定する］

- シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［ブラウザを設定する］をプレスしても操作できます。

2 ［ホームページの設定］

3 各項目を設定

直接入力：ホームページに設定するWebページのURLを入力します。

現在のページを使用：現在表示しているWebページをホームページに設定します。

初期状態に戻す：お買い上げ時に設定されているホームページの設定に戻します。

✔お知らせ

- ホームページを表示するには、Webページ表示中に［メニュー］▶［ホームに戻る］をプレスします。

❖ブラウザの詳細設定

1 **Webページ表示中に[メニュー]▶[その他の操作を行う]▶[ブラウザを設定する]▶[詳細設定]**

- シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［ブラウザを設定する］▶［詳細設定］をプレスしても操作できます。

2 **各項目を設定**

ファイル保存先：Webページからダウンロードしたファイルや画像の保存先を設定します。
画像表示：画像を表示するかを設定します。
拡大縮小の上書き：拡縮禁止の指定があるページに対して、拡縮を可能にするかを設定します。
拡大縮小の引継ぎ：現在表示しているWebページの拡縮率を、Webページを移動したときに引継ぐかを設定します。
- URLを入力してWebページを表示したり、ブックマークや履歴からWebページを表示したりしたときには引き継がれません。

フォームデータ保存：Webページのフォームに入力した情報を保存して、使用するかを設定します。
Cookie：Cookieを端末に保存して、Webページで使用するかを設定します。
JavaScript：WebページでJavaScriptを使用するかを設定します。
位置情報：Webページに位置情報のアクセスを許可するかを設定します。
検索サービス：利用する検索サービスを設定します。
文字コード：文字コードを選択します。
設定を初期状態に戻す：ブラウザの設定を初期状態に戻します。

らくらくコミュニティ

「らくらくコミュニティ」は、趣味や生活に役立つクチコミ、面白い情報が満載で、登録者どうしでの交流が楽しめるインターネット上のコミュニケーションの場です。

- らくらくコミュニティは利用登録が必要な無料のサービスです。ただし、サービス利用にはパケット通信料がかかります。

1 **ホーム画面で[らくらくコミュニティ]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［アプリを使う］▶［らくらくコミュニティ］

2 **[利用規約に同意して登録を開始する]**

登録が完了して、登録番号とパスワードが表示されます。

3 **[利用を開始する]**

らくらくコミュニティのトップページが表示されます。
興味のあるコーナーを選び、趣味や生活に役立つさまざまな記事を読んだり、他の利用者と交流したりできます。

- らくらくコミュニティの使いかたなどを確認するときは、トップページの［まずはここをタッチ！］をプレスします。

ファミリーページ

「ファミリーページ」では、家族と写真や近況を簡単に共有することができます。投稿された写真と一言メッセージは、自動で本端末のトップ画面に表示することができ、フォトパネルのように楽しめます。

- ファミリーページを利用するには、プロフィール登録でニックネームと居住地のほかに「実名」を登録する必要があります。
- メンバーの追加は、招待メールを送信して行います。

❖ファミリーページを始める

1 **らくらくコミュニティのトップページで[ファミリーページ]**

- らくらくコミュニティの利用登録ですでに登録必須項目「実名」「ニックネーム」「居住地」を登録していた場合は、操作7へ進みます。

2 **[プロフィール登録へ]**

プロフィール登録画面が表示されます。

3 **登録項目を入力**

- 登録必須項目「実名」「ニックネーム」「居住地」だけを入力して登録を完了できます。
- らくらくコミュニティの利用登録ですでに「ニックネーム」「居住地」を登録していた場合は、「実名」の「姓」「名」を入力して［実行］をプレスすると、操作5へ進みます。
- ファミリーページでは実名が表示されます。

4 **[確認へ進む]**

5 **[この内容で登録する]**

6 **[ファミリーページへ]**

7 **[利用をはじめる]**

ファミリーページに投稿された画像と一言メッセージをトップ画面の画像に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

8 **[設定する(推奨)]▶[OK]**

9 **[招待メールを送る]**

10 **宛先を入力して[メールを送信する]▶[送信する]**

✔お知らせ

- 招待メールを受け取った場合は、メールに記載されたURLからファミリーページに登録ができます。
- ファミリーページを開始した後は、らくらくコミュニティのトップページで［ファミリーページ］▶［投稿する］と操作して、画像やメッセージを投稿できます。
- 操作8の「トップ画像設定」で［いまは設定しない］をプレスした場合は、ファミリーページ画面で［ファミリーページ設定］▶［トップ画像に設定する］をプレスして設定できます。
- トップ画像に「ファミリーページ」を設定して投稿がない場合、または写真を投稿する際に［トップ画面に表示する］にチェックを付けなかった場合は、トップ画面には「ファミリーページへようこそ！」が表示されます。
- トップ画像の設定を変更する操作については、「トップ画面の設定」をご覧ください。→p.96

■招待メールを受け取ったときは

すでにファミリーページを始めている人から招待メールを受け取った場合は、プロフィール登録を行って参加します。

1 **招待メール本文中のURLをプレス**

ブラウザ接続の確認画面が表示されます。

2 **[接続する]**

3 **[利用をはじめる]**

らくらくコミュニティの利用登録画面が表示されます。

4 **[利用規約に同意して登録を開始する]**

登録番号とパスワードが表示されます。

5 **[利用を開始する]**

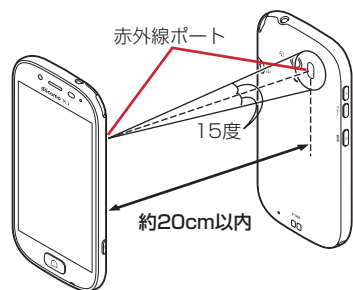
ファミリーページのプロフィール編集画面が表示されます。「ファミリーページを始める」(→p.66)を参考にしてプロフィールを登録して開始します。

- らくらくコミュニティのファミリーページから［投稿する］をプレスして、画像を添付したり、メッセージを入力したりして投稿できます。

データ通信

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などとデータを送受信します。

- 赤外線通信できるデータは次のとおりです。
  - マイプロフィール：1件送信／受信
  - 電話帳：1件送信／受信、全件送信／受信
  - メール：1件送信／受信、全件送信／受信
  - スケジュール&メモ：1件送信／受信、全件送信／受信
  - トルカ：1件送信／受信
  - 静止画：1件送信／受信、全件受信
  - 動画：1件送信／受信
- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線通信中に、音声着信やアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中断します。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

✔お知らせ

- 赤外線受信した電話帳、スケジュール、メモのデータは、項目によっては本端末で表示できない場合があります。
- 赤外線受信した電話帳、スケジュール、メモのデータを他の端末に赤外線送信すると、本端末で表示できないデータでも、他の端末では復元して表示できる場合があります。
- 本端末への機種変更時に、他の端末から赤外線受信したスケジュールやメモなどを他の端末に赤外線送信すると、スケジュールやメモが重複する場合があります。

◆赤外線送信

❖赤外線通信でマイプロフィールを送信

標準

1. ホーム画面で［自分の電話番号］
2. ［赤外線でデータを送る］
3. 受信側を受信待ち状態にする▶［開始］▶［OK］

シンプル

1. 待受画面で［メニュー］▶［自分の電話番号を見る］
2. ［メニュー］▶［赤外線で送る］
3. 受信側を受信待ち状態にする▶［開始］▶［OK］

❖赤外線1件送信

標準

〈例〉電話帳を1件送信する

1. ホーム画面で［電話帳］
2. 電話帳を選択
3. ［メニュー］▶［赤外線でデータを送る］
4. 受信側を受信待ち状態にする▶［開始］▶［OK］

シンプル

〈例〉電話帳を1件送信する

1. 待受画面で［電話］
2. ［電話帳の内容を見る］▶電話帳を選択
3. ［メニュー］▶［赤外線で送る］
4. 受信側を受信待ち状態にする▶［開始］▶［OK］

❖赤外線全件送信

- あらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→p.112
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。数字4桁の認証パスワードを決めてから操作してください。

〈例〉電話帳を全件送信する

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[赤外線]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［赤外線を使う］

2 [赤外線で全件送信する]▶[電話帳]▶[送信する]

3 ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]▶認証パスワードを入力▶[完了]

- 認証パスワード入力画面で［パスワードを表示する］をプレスしてチェックを付けると、パスワードを確認できます。

4 受信側を受信待ち状態にする▶[開始]

5 [OK]

◆赤外線受信

❖赤外線1件受信

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[赤外線]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［赤外線を使う］

2 [赤外線で1件受信する]

3 [開始]▶相手側からデータを1件送信

4 [OK]▶[保存する]▶[OK]

❖赤外線全件受信

- あらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→p.112
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。数字4桁の認証パスワードを決めてから操作してください。

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[赤外線]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［赤外線を使う］

2 [赤外線で全件受信する]

3 ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]▶認証パスワードを入力▶[完了]

- 認証パスワード入力画面で［パスワードを表示する］をプレスしてチェックを付けると、パスワードを確認できます。

4 [開始]▶相手側からデータを全件送信

5 [OK]▶[保存する]▶[OK]

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→p.135
- テレビの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆Bluetooth機能オン／オフ

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をオンに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためオフに設定してください。

- オンのときはステータスバーに（Bluetooth機能オン）が表示されます。
- Bluetooth機能オン／オフの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Bluetooth]を[オン]／[オフ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Bluetoothの有効／無効を設定する］▶［有効にする］／［無効にする］

◆Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器からデータを受信したりすることができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーに（Bluetooth機器接続中）が表示されます。
- プロファイルがHSP／A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Bluetooth設定]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Bluetooth機器の検出や接続をする］

- 接続するBluetooth機器が表示されないときは、［デバイスの検索］をプレスします。

2 検出されたBluetooth機器をプレス▶必要に応じてパスコード(パスキー、PIN)を入力して[OK]または[ペア設定する]

■他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（パスキー、PIN）を入力して［OK］をプレスするか、［ペア設定する］をプレスしてください。

■他のBluetooth機器で本端末を検出する場合

接続する他のBluetooth機器に本端末が表示されない場合は、［他のBluetooth デバイスには非表示］／［ペア設定したデバイスにのみ表示］をプレスして、［周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示］にし、接続先のBluetooth機器でデバイスの検索を行ってください。

◆Bluetooth通信画面の表示時間設定

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Bluetooth設定]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Bluetooth機器の検出や接続をする］

2 [メニュー]▶[表示のタイムアウト]▶時間を選択

◆Bluetooth機器からのデータ受信

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 「Bluetoothで受信」画面で[OK]▶通知パネルを開く▶[Bluetoothで受信]▶[受信する]▶[OK]

3 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Bluetooth設定]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Bluetooth機器の検出や接続をする］

4 [メニュー]▶[受信済みファイル表示]

◆Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Bluetooth設定]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Bluetooth機器の検出や接続をする］

2 Bluetooth機器をプレス▶[切断する]

◆Bluetooth機器とのペアリング解除

1 **ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Bluetooth設定]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Bluetooth機器の検出や接続をする］

2 **Bluetooth機器をプレス▶[ペア解除する]**

◆BluetoothLE設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

1 **ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[BluetoothLE設定]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定］

2 **各項目を設定**

Alert Notification：電話着信やメール受信時などに対応機器へ通知するかどうかをオン／オフで設定します。

Alert Notification詳細設定：「Alert Notification」がオンの場合に、通知する項目（電話着信、メール受信、パソコンメール受信、SMS受信、アラーム、スケジュール）を選択できます。

Find Me通知音：対応機器から通知を受けたときに通知音を鳴らすかどうかをオン／オフで設定します。

Find Me通知音 詳細設定：「Find Me通知音」がオンの場合に、鳴らす通知音を選択できます。

Proximity：接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。

- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time：Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。

- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がオンの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✔**お知らせ**

- マナーモード、公共モード（ドライブモード）の設定に関わらず、BluetoothLE設定のFind Me通知音は鳴ります。

外部機器接続

◆本端末のデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル T01（別売）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続すると、本端末のデータをパソコンから操作できます。

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8／8.1に対応しています。ただし、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

標 準

1 **USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む**

- microSDカードを利用する場合は、ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［保存領域］▶［microSDカードをマウント］をプレスしてマウントします。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 **ステータス表示エリアをプレスして通知パネルを表示▶[メディアデバイスとして接続]▶[メディアデバイス(MTP)]または[カメラ(PTP)]**

3 **プログラムを選択▶プログラムの画面の表示に従って操作**

4 **目的の操作を行う**

シンプル

1 **USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む**

- microSDカードを利用する場合は、待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［保存領域を設定する］▶［microSDカードをマウントする］▶［マウントする］▶［OK］をプレスしてマウントします。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 **ステータスバーをプレスして通知パネルを表示▶［メディアデバイスとして接続］▶［メディアデバイス（MTP）］または［カメラ（PTP）］**

3 **プログラムを選択▶プログラムの画面の表示に従って操作**

4 **目的の操作を行う**

✔お知らせ

- SIMカードロック設定やセキュリティロック画面を設定している場合に、本端末を起動中やスリープモード中にパソコンと接続すると、本端末がパソコンに認識されません。PINコードの入力やセキュリティロック画面を解除してから操作してください。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー／検索]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［インターネットを使う］▶［dメニューを見る］

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✔お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

1 ホーム画面で[dマーケット]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［アプリを使う］▶［dマーケット］

- dマーケットアプリの初回起動画面が表示された場合は、「アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意する」にチェックを付けて、［利用開始］をプレスします。

✔お知らせ

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

しゃべってコンシェル

「調べたいこと」や「やりたいこと」などを本端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、dメニューの情報やサービス、または使いかたガイドの中から最適な回答を画面に表示します。

1 ホーム画面で[しゃべってコンシェル]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［しゃべってコンシェルを使う］

- 初回起動時は、操作ガイドが表示された場合は画面に従って［次へ］をプレスし、「利用規約」を確認して［同意する］をプレスします。

しゃべってコンシェルTOP画面が表示されます。

2 🎤をプレス

3 してほしいことをマイクに向かって話す

- 話しかけてしばらくすると、回答画面が表示されます。表示された画面に従って操作します。
- 再度検索したい場合は、回答画面で🎤をプレスしてください。

✔お知らせ

- 操作2のしゃべってコンシェルTOP画面で［メニュー］または⋮をプレスし、［設定］▶［マチキャラ設定］をプレスして「キャラ表示」の［表示する］／［表示しない］を選択すると、ホーム画面にマチキャラを表示するかどうかを設定できます。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどをICカード内に保存することができます。
また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「iD」および「楽天Edy」など一部のおサイフケータイ対応サービスのみご利用になれます。
- 本端末でご利用いただけるおサイフケータイ対応サービスは、サービス一覧でご確認ください。

◆おサイフケータイのご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

※ おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用設定

1 ホーム画面で[健康・ショッピング]▶[おサイフケータイ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［おサイフケータイを使う］

おサイフケータイのトップ画面が表示されます。

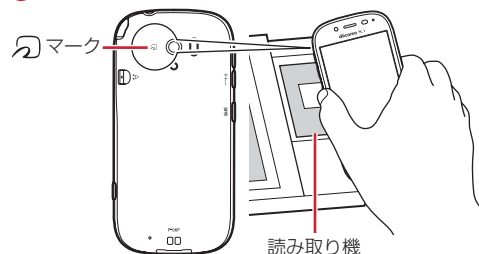
- おサイフケータイ初期設定が未完了の場合、画面の案内に従って初期設定を行ってください。

2 [サービス一覧]

3 サービスを選択▶[利用する]

4 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリから必要な設定を行います。

5 マークを読み取り機にかざす

✔お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。

◆対向機にかざす際の注意事項

- マークを対向機にかざす際に、強くぶつけないようにご注意ください。
- マークは対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
- マークを対向機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしたりしてかざしてください。なお、マークは本端末の中心部ではなく外側カメラ付近にあるため、かざす位置にご注意ください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

◆おサイフケータイの機能をロック

おサイフケータイの機能をロックすると、本端末をかざしての利用や、おサイフケータイ対応アプリの利用ができなくなります。

1 ホーム画面で[健康・ショッピング]▶[おサイフケータイ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［おサイフケータイを使う］

2 [おサイフケータイをロックする]

- 初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の案内に従って、パスワードを設定してください。

3 パスワードを入力▶[完了]

4 [ロックする]▶[OK]

✔お知らせ

- おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに(おサイフケータイ ロック設定中)が表示されます。
- おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、おサイフケータイ ロックが解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は充電後に、おサイフケータイ ロックを解除してください。
- おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、ロック解除のパスワード入力が必要になります。
- おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。

❖ロックの解除

1 **ホーム画面で[健康・ショッピング]▶[おサイフケータイ]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［おサイフケータイを使う］

2 **[ロックを解除する]**

3 **パスワードを入力▶[完了]**

4 **[解除する]▶[OK]**

◆iDアプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

◆トルカ

トルカとは、本端末に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、サイトや読み取り機から取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 **ホーム画面で[健康・ショッピング]▶[トルカ]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［トルカを使う］

- 初回起動時は、「「トルカアプリ」ソフトウェア使用許諾規約」を確認して［同意する］をプレスし、画面の案内に従って初期設定を行うと、トルカ一覧が表示されます。

2 **サービス(トルカ)を選択**

✔お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  更新、トルカの共有、地図表示※、読み取り機からの取得
  ※ トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- ［重複チェック設定］にチェックを付けている場合、保存済みトルカと同じトルカを読み取り機から重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、チェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

テレビ

テレビ（ワンセグ）は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

◆テレビのご利用にあたって

- テレビ（ワンセグ）は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆放送波について

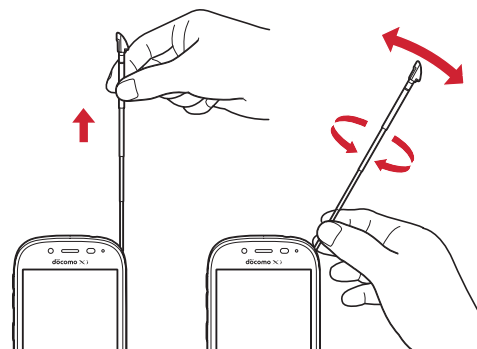
テレビ（ワンセグ）は、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよびfomaサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、Xiサービスおよびfomaサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。

■ワンセグアンテナについて

テレビ（ワンセグ）を視聴するときは、ワンセグアンテナがワンセグの電波を受信します。

- ワンセグアンテナを引き出すときは、最後までしっかりと引き出してください。
- ワンセグアンテナの方向を変えるときはワンセグアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。

- ワンセグアンテナを収納するときはワンセグアンテナの根元を持って止まるまで入れます。ワンセグアンテナの先端を持って収納しないでください。

◆テレビの起動

1 **ホーム画面で[エンターテインメント]▶[テレビ]**

シンプル：**待受画面で［メニュー］▶［テレビ・ラジオを使う］▶［テレビを見る］**

テレビ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、「ソフトウェア使用許諾契約書」を確認して［同意する］をプレスし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→p.77

テレビの終了：**テレビ視聴画面で［終了］**

- 標準メニューの場合は、ホーム画面に戻ります。シンプルメニューの場合は、テレビ・ラジオのメニュー画面に戻ります。

✔お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- ［動画補正］をオンにすると、高画質化エンジンを使用して視聴できます。→p.98
- テレビ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットは実行できません。

❖テレビ画面について

テレビ視聴画面　テレビ操作画面

① チャンネル、番組名

② テレビ映像エリア

- プレスするとテレビ操作画面を表示します。
- 左右にフリックすると選局を開始できます。

③ 字幕／データ放送エリア

- プレスするとテレビ操作画面を表示します。
- 左右にフリックすると選局を開始できます。

④ データ放送の操作アイコン

- データ放送内の選択項目に対して［▼］／［▲］をプレスして移動・選択し、［決定］をプレスして実行します。［戻る］をプレスすると前の画面に戻ります。

⑤ 終了

- テレビを終了します。

⑥ どこでもヘルプ

⑦ メニュー

- メニューを表示します。番組情報の表示、チャンネルの切り替え／サーチ、テレビリンクの表示、チャンネルリスト／テレビの設定などの操作ができます。

⑧ チャンネル選局

⑨ 音量変更

- ［－］／［＋］をプレスして音量を調節します。

⑩ チャンネル切替

- 「◀」／「▶」をプレスしてチャンネルを切り替えます。
- テレビ視聴画面で［メニュー］▶［チャンネルを変える］とプレスしても、登録されたチャンネル一覧から選局できます。
- テレビ視聴画面で［メニュー］▶［チャンネルを探す］をプレスすると、チャンネルサーチを開始できます。未登録の放送局が見つかったときは、［メニュー］▶［チャンネルを追加する］▶［追加する］をプレスすると、チャンネルリストに追加できます。

⑪ 戻る

- テレビ視聴画面に戻ります。

⑫ 画面切替

- テレビ映像エリアと字幕を表示します。さらにテレビ操作画面で［画面切替］をプレスするとデータ放送エリアのみの表示に切り替わります。

⑬ 横画面固定／横画面解除

◆テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖テレビリンクの登録

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択

- データ放送確認画面が表示された場合は［追加する］をプレスします。
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖テレビリンクの表示

1 テレビ視聴画面で［メニュー］▶［テレビリンクを見る］

登録されたテレビリンクの一覧が表示されます。

2 テレビリンクをプレス▶［データを見る］

- ［詳細を見る］をプレスすると、テレビリンクのタイトル名やリンク先などの基本情報を確認できます。

3 ［接続する］

登録されたサイトに接続します。

- テレビリンクには［接続する］が表示されず、メモ情報が表示されるものもあります。

❖テレビリンクを削除

1 テレビ視聴画面で［メニュー］▶［テレビリンクを見る］

2 テレビリンクをプレス▶［データを削除する］▶［削除する］▶［OK］

◆テレビの各種設定

1 テレビ視聴画面で[メニュー]▶[テレビの設定をする]

2 各項目を設定

字幕言語の設定をする：複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。
音声の設定をする：複数の音声を放送している番組で、どの音声を聴くかを設定したり、副音声を放送している番組で主音声と副音声を切り替えたりします。
サービスの切替えをする：視聴するサービスを選択します。
放送用メモリを初期化する：データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。
バージョン情報を表示する：テレビ（ワンセグ）アプリのバージョン情報を確認できます。

◆チャンネルリストの設定

視聴する地域ごとのチャンネルリストを10件まで登録できます。チャンネルリストを切り替えて、視聴する地域に合ったチャンネル選びができます。

❖チャンネルリストの登録

1 テレビ視聴画面で[メニュー]▶[チャンネルリストを設定する]▶[未登録]

2 [一覧から選ぶ]／[自動で登録する]▶チャンネルリストを設定

一覧から選ぶ：地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを選びます。
自動で登録する：現在地で受信可能な地域をスキャンして、チャンネルリストを登録します。

❖チャンネルリストを選ぶ

1 テレビ視聴画面で[メニュー]▶[チャンネルリストを設定する]

チャンネルリストが表示されます。

2 チャンネルリストをプレス▶[視聴チャンネルに登録する]▶[OK]

❖チャンネルリストを削除

1 テレビ視聴画面で[メニュー]▶[チャンネルリストを設定する]

チャンネルリストが表示されます。

2 チャンネルリストを選択▶[チャンネルリストを削除する]

3 [削除する]▶[OK]

❖チャンネルリスト名の変更

1 テレビ視聴画面で[メニュー]▶[チャンネルリストを設定する]

2 チャンネルリストを選択▶[チャンネルリスト名を変更する]

編集画面が表示されます。

3 チャンネルリスト名を編集▶[OK]▶[OK]

❖チャンネルのリモコン番号を入れ替える

1 テレビ視聴画面で[メニュー]▶[チャンネルリストを設定する]

2 チャンネルリストを選択▶[リモコン番号を変更する]

3 入れ替えるリモコン番号を選択▶入れ替え先のリモコン番号を選択

4 [入れ替える]▶[OK]

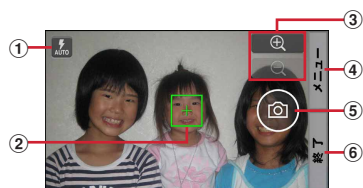
カメラ・ビデオ

◆撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- マナーモード、公共モード（ドライブモード）の設定に関わらず、カメラ起動中のスクリーンショット音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- 待機中に約5分間（撮影モードが「拡大鏡」の場合は約30分間）操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーに◙が表示されます。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① フラッシュ（静止画撮影時、オート／オン／オフ）、ライト（動画撮影時、オン／オフ）

② フォーカス枠
- ピントが合うと枠の色が白から緑に変わります。

③ ズーム
- ⊕／⊖をプレスして拡大／縮小します。プレスしたままにすると、連続して拡大／縮小できます。ピンチアウト／ピンチインして拡大／縮小することもできます。

④ メニュー

⑤ シャッター

⑥ 終了

⑦ 録画開始／録画停止

✔お知らせ
- ④⑥の文字の向きは、カメラ起動時やメニュー操作後の本端末の向きにより変わることがあります。
- ⑤⑦の操作アイコンは、手ぶれ防止のため画面に軽くタッチして操作できます。

◆静止画（写真）撮影

1 ホーム画面で[カメラ･ビデオ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［写真を撮影する］

静止画の撮影画面が表示されます。
- ホーム画面または待受画面で📷ボタンを長く押しても静止画の撮影画面を表示できます。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［いいえ］／［切り替え］をプレスします。

2 撮影画面に被写体を表示し､ピントが合ったら◎(シャッターボタン)を軽く指でタッチまたは📷ボタンを押す

シャッター音が鳴り、静止画が撮影され、保存されます。
- 撮影した静止画を確認するには、撮影画面で［メニュー］▶［撮った写真を見る］とプレスします。

3 [終了]

カメラを終了します。

✔お知らせ
- 撮影した静止画は、JPEG（拡張子「.jpg」）のファイル形式で保存されます。
- 静止画撮影時のズームは撮影サイズにより異なります。内側のカメラはズームに対応していません。

撮影サイズ	最大ズーム
8メガ最高画素 4：3 6メガワイド 16：9 SNS 4：3 フルHD 16：9	約3.0倍（32段階）
ケータイメール 4：3	約10.2倍（32段階）

◆静止画（写真）の撮影設定メニュー

静止画撮影画面で［メニュー］をプレスすると、次のメニューを操作することができます。
- 内側のカメラでは設定できない項目があります。
- 他の機能から連携してカメラを起動したときには、設定できる項目が異なる場合があります。

■残り撮影可能枚数表示

メニュー画面の左上に、設定している保存先の空き容量で保存できる残り撮影可能枚数の目安が表示されます。保存先の空き容量、撮影サイズにより残り撮影可能枚数は変化します。残り撮影可能枚数が99枚以下になると、その旨の警告画面が表示されます。

■撮影モード

［静止画］／［動画］／［パノラマ］／［QRコード］／［拡大鏡］のいずれかをプレスして撮影モードを切り替えます。

■内／外カメラ切替

外側のカメラと内側のカメラを切り替えます。

■撮影サイズ

静止画の大きさ、撮影サイズを設定します。
- 撮影サイズについて詳しくは、「主な仕様」をご覧ください。→p.135
- お買い上げ時は、［6メガワイド 16：9］（外側のカメラ）、［画面ぴったり 16：9］（内側のカメラ）に設定されています。

■フラッシュ

フラッシュの設定を、オート／オン／オフから選択できます。オートに設定すると、暗い場所と判断された場合に自動的にフラッシュが点灯します。オンに設定すると、周囲の明るさに関係なくフラッシュが点灯します。
- オンの場合は、静止画撮影画面に⚡(フラッシュボタンオン）が常時表示されます。オートまたはオフの場合は、暗い場所と判断されたとき静止画撮影画面に⚡(フラッシュボタンオート）または⊘(フラッシュボタンオフ）が表示されます。表示されたアイコンをプレスして、オート／オン／オフを切り替えることもできます。
- ［HDR撮影］を設定した場合にはフラッシュは点灯しません。また、夜景撮影の際は場所によって点灯しない場合があります。

■その他

位置情報：撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中は、取得するとのアイコンが撮影画面に表示されます。
位置情報の取得方法として、ドコモ基地局、GPSの2種類を利用できます。

保存先切替：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

HDR撮影：撮影時に露光時間が異なる（長時間露光と短時間露光）2枚の画像を撮影して、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

タイマー：シャッター操作をしてから2秒後／10秒後に撮影されるように設定します。

- 撮影画面でシャッターを押すと、セルフタイマーの進行がわかるようにカウント音が鳴ります。
- タイマーのカウント中にシャッターを押すと、タイマーをキャンセルして撮影・保存されます。

タッチシャッター：撮影画面の被写体にタッチして、ピントが合うとオートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影するように設定します。

- タッチシャッターは内側のカメラには対応していません。

■撮った写真を見る

アルバムアプリを起動して、撮影した静止画を確認できます。

- 撮影した静止画がない場合は、撮影データ以外のアルバム一覧画面が表示されます。

❖静止画（写真）の自動撮影機能

次の機能は、設定なしに自動的に調整されて撮影できます。

オートフォーカス：被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけでフォーカス枠を表示して自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。ピントが合うと、検出枠の色が白から緑へ変わります。ピントが合っていないときは、検出枠は赤く表示されます。

タッチオートフォーカス：撮影画面の被写体にタッチして自動的にフォーカス枠を表示してピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカス枠の色が白から緑に変わりお知らせ音が鳴ります。

ホワイトバランス：さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

自動シーン認識：被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- QRコードを撮影画面に表示した場合は、QRコードを自動的に読み取って結果を表示します。

自動露出調整：撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体にタッチして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先します。

ちらつき補正：蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

手ぶれ補正：撮影時の手ぶれは自動的に補正されるように設定されています。

インテリジェントシャッター：手ぶれしやすい薄暗い屋内などでは、シャッターを押したときの撮影者の動きをセンサーで検知し、カメラの揺れが少ない瞬間をとらえることで手ぶれを防止します。

ゼロシャッター：シャッターを押したタイミングから遅れることなく、すぐに撮影できます。

◆パノラマ撮影

カメラの方向を左右または上下にゆっくりと動かすことで連続したパノラマ写真が撮影できます。
- 内側のカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で[カメラ･ビデオ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［写真を撮影する］

静止画の撮影画面が表示されます。
- ホーム画面または待受画面で［📷］ボタンを長く押しても静止画の撮影画面を表示できます。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［いいえ］／［切り替え］をプレスします。

2 [メニュー]▶[撮影モード]▶[パノラマ]

3 撮影画面に被写体を表示し､ピントが合ったら（シャッターボタン）を軽く指でタッチまたは［📷］ボタンを押す

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 撮影時にカメラの方向をずらす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

4 完了（シャッターボタン）を軽く指でタッチまたは［📷］ボタンを押す

撮影停止音が鳴り、撮影が完了してパノラマ画像が保存されます。
- カメラを動かし続けてシャッターを押さずに撮影が完了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

5 [終了]

カメラを終了します。

◆拡大鏡

カメラのズーム機能を利用して細かい文字などを約2倍〜12倍に拡大して画面に表示できます。拡大した画面はシャッターを押してそのまま撮影することもできます。
- 拡大鏡は外側のカメラを使って縦画面でのみのご利用になります。
- 撮影サイズは、縦1280×横720のみとなります。

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[拡大鏡]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［拡大鏡を使う］

画面に撮影モードの（拡大鏡）が表示されます。

2 対象にカメラを向ける

2倍に拡大された画面が表示されます。ズーム操作で表示の拡大率を調整できます。

撮影する：（シャッターボタン）を軽く指でタッチまたは［📷］ボタンを押す

撮影の設定：拡大鏡の撮影画面で［メニュー］
- ［ライト］／［位置情報］／［保存先切替］のいずれかをプレスして設定します。

3 [終了]

カメラを終了します。

✔お知らせ
- 拡大鏡は、ホーム画面で［カメラ・ビデオ］▶［メニュー］▶［撮影モード］▶［拡大鏡］とプレスしても起動できます。シンプルメニューでは、待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［写真を撮影する］▶［メニュー］▶［撮影モード］▶［拡大鏡］とプレスします。

◆動画（ビデオ）撮影

1 ホーム画面で[カメラ･ビデオ]

静止画の撮影画面が表示されます。

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［ビデオを撮影する］
- シンプルメニューの場合は、操作3へ進みます。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［いいえ］／［切り替え］をプレスします。

2 [メニュー]▶[撮影モード]▶[動画]

動画の撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示して（シャッターボタン）を軽く指でタッチまたは［📷］ボタンを押す

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 停止（シャッターボタン）を軽く指でタッチまたは［📷］ボタンを押す

撮影停止音が鳴り、撮影が終了して保存されます。
- 撮影した動画を確認するには、撮影画面で［メニュー］▶［撮ったビデオを見る］とプレスします。

5 [終了]

カメラを終了します。

✔お知らせ

- 撮影した動画は、MPEG-4（拡張子「.mp4」）のファイル形式で保存されます。
- microSDカードを使用して録画データを保存する場合は、SDスピードクラスがClass4以上のmicroSDカード（別売）／microSDHCカード（別売）／microSDXCカード（別売）をご利用になることをおすすめします。
- 動画撮影時のズームは、いずれの撮影サイズも最大約4.0倍（32段階）です。内側のカメラはズームに対応していません。

◆動画（ビデオ）の撮影設定メニュー

動画撮影画面で［メニュー］をプレスすると、次のメニューを操作することができます。

- 内側のカメラでは設定できない項目があります。

■残り録画可能時間表示

メニュー画面の左上に、設定している保存先の空き容量で保存できる残り録画可能時間の目安が表示されます。保存先の空き容量、撮影サイズにより残り録画可能時間は変化します。残り録画可能時間が10分以下になると、その旨の警告画面が表示されます。

■撮影モード

［静止画］／［動画］／［パノラマ］／［QRコード］／［拡大鏡］のいずれかをプレスして撮影モードを切り替えます。

■内／外カメラ切替

外側のカメラと内側のカメラを切り替えます。

■撮影サイズ

動画の大きさ、撮影サイズを設定します。

- 撮影サイズについて詳しくは、「主な仕様」をご覧ください。→p.135
- お買い上げ時は、［フルHD 16 : 9］（外側のカメラ）、［画面ぴったり 16 : 9］（内側のカメラ）に設定されています。

■ライト

暗いところで録画する際に、撮影ライトを点灯させるかどうかを設定します。

■保存先切替

録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

■撮ったビデオを見る

アルバムアプリを起動して、撮影した動画を確認できます。

❖動画（ビデオ）の自動撮影機能

次の機能は、自動的に調整されます。

オートフォーカス：画面の中心の被写体にピントを合わせてから録画を開始します。

タッチオートフォーカス：録画前や録画中に、撮影画面の被写体にタッチすると、フォーカス枠を表示して自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカス枠の色が白から緑に変わります。

ホワイトバランス：さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

◆QRコード読み取り

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

■QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

❖QRコードの読み取り

- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 **ホーム画面で［便利ツール］▶［QRコード読み取り］**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［バーコードを読み取る］

QRコード読み取り画面が表示されます。

2 **読み取り画面にコードを表示**

読み取りが完了すると、読み取り結果画面が表示されます。

ライトのON／OFF：**［メニュー］▶［ライトON］／［ライトOFF］**

読み取り履歴の表示：**［メニュー］▶［履歴］▶履歴を選択**

3 **読み取りデータを確認**

読み取りデータの保存：**［メニュー］▶［履歴を保存］▶履歴保存欄を選択▶［OK］**

読み取り結果が保存されます。

- 履歴は5件まで保存できます。すでに5件保存されている場合は、既存の履歴保存欄をプレスすると、上書き保存できます。

✔お知らせ

- QRコードは、ホーム画面で［カメラ・ビデオ］▶［メニュー］▶［撮影モード］▶［QRコード］とプレスしても起動できます。シンプルメニューでは、待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［写真を撮影する］▶［メニュー］▶［撮影モード］▶［QRコード］とプレスします。

❖QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 操作できるメニューは、読み取ったデータによって異なります。

電話をかける：電話番号をプレスして電話をかける
電話帳に一括登録：［メニュー］▶［電話帳一括登録］
メールの作成：メールアドレスをプレス▶メールアプリを選択してメールを作成
サイトまたはホームページに接続：URLをプレス
URLをブックマークに登録：［メニュー］▶［ブックマークに登録］
読み取りデータのコピー：［メニュー］▶［コピー］

アルバム

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ファイルによっては再生できない場合があります。
  静止画（写真など）：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
  動画（ビデオなど）：H.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8
  ※ GIFアニメーションは再生できません。

◆画像の表示／再生

1 **ホーム画面で［アルバム］**
シンプル：待受画面で［メニュー］▶［写真・ビデオを撮る・見る］▶［写真・画像を見る］／［ビデオを見る］
アルバムの一覧が表示されます。

2 **アルバムを選択**
画像（写真やビデオなど）の一覧が表示されます。
- ビデオ（動画）の画像は、アルバムや画像の一覧でアルバムや画像の両端にフィルム枠が表示されます。

3 **画像を選択**
画像（写真やビデオ）が表示されます。
- 前後の画像に切り替えるには、画像を左右にフリックします。
- ビデオを選択した場合、▶（動画再生ボタン）をプレスすると、メディアプレイヤーが起動してビデオが再生されます。

■アルバム一覧での主な操作

アルバムの削除：［メニュー］▶［選択して削除する］▶アルバムを選択▶［完了］▶［削除する］▶［OK］
日付別／アルバム別に表示：［メニュー］▶［日付別表示に変更］／［アルバム別表示に戻る］
アルバムの作成：［メニュー］▶［アルバムを作成］▶作成先を選択▶アルバム名を入力▶［決定］▶［OK］
アルバム名の変更：［メニュー］▶［アルバム名を変更］▶アルバムを選択▶アルバム名を入力▶［決定］▶［OK］

■画像一覧での主な操作

メールで送信：［メニュー］▶［メールで送る］▶画像を選択▶［完了］▶［添付する］▶メールを作成して送信
めくってピクチャーに追加：［メニュー］▶［めくってピクチャーに追加］▶画像を選択▶［完了］▶［追加する］▶［設定する］▶［OK］
フォトコレクションに追加：［メニュー］▶［フォトコレクションに預ける］▶画像を選択▶［完了］▶［預ける］
らくコミュ／ファミリーページに投稿：［メニュー］▶［らくコミュ／ファミリーページ投稿］▶画像を選択▶［投稿する］
画像の移動：［メニュー］▶［選択して移動する］▶画像を選択▶［完了］▶移動先のアルバムを選択▶［移動する］▶［OK］

✔お知らせ

- アルバムにより操作できるメニューは異なります。

■画像（写真／ビデオ）表示中の主な操作

画像の縮小／拡大：（縮小）／（拡大）をプレス
前後の画像に切り替え：（前の画像）／（次の画像）をプレス
画面全面で表示：［全画面表示］
メールで送信：［メールで送る］▶メールを作成して送信

✔お知らせ

- 画像（写真やビデオ）を表示中に［メニュー］をプレスすると、めくってピクチャーやフォトコレクションに追加、らくコミュ／ファミリーページに投稿、削除、移動、トップ画面または待受画面への貼り付け、赤外線で送信などの操作ができます。ただし、画像の種類や標準メニュー／シンプルメニューにより、操作できるメニューは異なります。
- トップ画面に設定した写真を移動／削除すると、トップ画面に表示されなくなります。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画を再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、MP3、MIDI、FLAC、WMAです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- MIDI形式および着信用のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンと接続して、パソコンからの操作で本端末のmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送したりできます。詳しくは、「本端末のデータをパソコンから操作」をご覧ください。→p.70
- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。メディアプレイヤーの説明画面が表示された場合は、［使い方の説明を読む］または［説明を読まず利用する］を選択します。

◆音楽／動画の再生

1 ホーム画面で［エンターテインメント］▶［メディアプレイヤー］

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［アプリを使う］▶［メディアプレイヤー］

メディアプレイヤーの操作画面が表示されます。

2 画面下部に表示されるアイコンを選択

- 音楽／動画の一覧が表示された場合は、操作4に進みます。

3 アイテムを選択

4 音楽／動画を選択

操作方法の確認：メディアプレイヤーの操作画面で［メニュー］▶［ヘルプ］

メディアプレイヤーの終了：メディアプレイヤーの操作画面で［メニュー］▶［アプリ終了］

◆dマーケットからの購入

1 ホーム画面で［エンターテインメント］▶［メディアプレイヤー］

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［アプリを使う］▶［メディアプレイヤー］

2 ［dマーケット］▶［dミュージックで探す］／［dビデオで探す］／［dアニメストアで探す］のいずれかをプレス

- 初回起動時はdマーケットのアプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。

地図／GPS機能

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

◆GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体左上部分にGPSアンテナが内蔵されていますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆位置情報サービスの設定

❖GPS機能

GPSを使用して現在地の特定をアプリに許可するかどうかを設定します。

標準

1 **ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[位置情報サービス]**

2 **[GPS機能]をオンにする**

3 **[同意する]**

シンプル

1 **待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]▶[位置情報サービスを設定する]**

2 **[GPS機能を設定する]**

3 **[使用する]▶[同意する]▶[OK]**

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆地図アプリを使う

現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行います。

- 地図アプリを利用するには、LTE／3Gネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 地図アプリは海外ではご利用になれません。
- 地図アプリの一部機能は、ドコモ地図ナビのお申し込みが必要な有料サービスです。
- 現在地を表示するには、あらかじめ［GPS機能］をオンにしてください。
- 初回起動時は「ご利用にあたって」に同意いただく必要があります。

❖現在地を表示

1 **ホーム画面で[地図]▶[現在地]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［地図を見る・乗換案内・GPSを使う］▶［現在地の地図を見る］

- 地図表示中は次の操作ができます。

スクロール：地図をスクロールします。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

［－縮小｜拡大＋］：縮小／拡大します。

❖場所の検索

お店や施設を検索します。

1 **地図表示中に[検索]▶検索ボックスにキーワードを入力▶[検索]**

2 **表示されたリストから目的の場所をプレス**

目的の場所の詳細情報が表示されます。

- 詳細情報の画面で次のオプションを利用することができます。

地図：検索した目的の場所を地図で表示します。

ナビ：検索した目的の場所まで道案内（ナビ）します。

登録：検索した目的の場所を登録します。

メール：検索した目的の場所をメールで送信します。

- 場所によって利用できるオプションは異なります。

❖さまざまな機能の利用

地図を表示中に便利な機能を利用します。

1 **地図を表示中に[メニュー]**

2 **各メニューをプレスして操作**

■地図検索

キーワードの入力や、住所一覧／地下街・駅構内・屋内から選択して地図を表示します。

■お店・施設

ジャンルを選択して、検索ボックスにキーワードを入力／カテゴリから選択してお店・施設を検索します。

- お店・施設の詳細情報で、クーポンや営業時間を確認したり、地図やナビなどのオプションを利用したりできます。

■ナビ

車、徒歩＋電車、自転車の経路検索やナビゲーションができます。

■乗換案内

公共交通機関を利用した経路の検索ができます。→p.86

■自宅へ帰る

自宅へのナビゲーションができます。

■時刻表

電車やバスの時刻表を検索します。

■連携アプリ

地図アプリと連携した「ご当地ガイド」、「訪れた街」を利用できます。

■渋滞情報

渋滞情報を検索します。

■マイデータ

登録地点や履歴地点の確認、自宅や自宅最寄駅の設定ができます。

■設定／ヘルプ

アプリの各種設定や初期化、ヘルプやアプリ情報の確認ができます。

地図アプリの終了：[メニュー] ▶ [アプリ終了] ▶ [アプリ終了]

✔お知らせ

- 一部の機能を利用するには、別途ドコモ地図ナビへのお申し込み（有料）が必要です。

❖地図上で場所の情報確認

1 **地図上でロングプレス**

（ピン）が表示されます。

2 **（ピン）をプレス**

詳細情報が表示されます。

- 詳細情報でオプションを利用することができます。→p.85

❖乗換案内を使う

公共交通機関を利用した経路を検索します。出発駅と到着駅を入力して、経路や運賃・所要時間を調べることができます。

1 **ホーム画面で[乗換・トラベル] ▶ [乗換案内]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［地図を見る・乗換案内・GPSを使う］▶［乗換案内を使う］

- 地図を表示中に［メニュー］▶［乗換案内］をプレスしても操作できます。

2 **出発駅と到着駅を入力して[経路検索]**

- ［出発駅］／［到着駅］／［経由駅を追加］のいずれかをプレスすると、［自宅最寄駅・駅履歴］や［現在地付近で探す］から指定することもできます。

❖現在地をメールで送る【シンプル】

1 **待受画面で[メニュー] ▶ [地図を見る・乗換案内・GPSを使う] ▶ [現在地をメールで送る]**

本文に位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。

メモ

◆メモの作成／編集

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[メモ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［メモを使う］

2 [新規作成]

メモの編集：メモを選択▶［メニュー］▶［編集する］

3 メモの件名と詳細を入力

4 [メモを登録する]▶[OK]

◆メモの表示

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[メモ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［メモを使う］

メモの一覧画面が表示されます。

2 メモをプレス

メモの内容画面が表示されます。

■メモの一覧画面での主な操作

メモの終了：[終了]

メモの並べ替え：[メニュー]▶［一覧の並び替えを行う］▶並び順を選択

メモの表示方法変更：[メニュー]▶［一覧の表示方法を変更］▶表示方法を選択

クラウドのデータと同期※1：[メニュー]▶［クラウドと同期］▶確認画面で［はい］

ドコモクラウドの利用※2：[メニュー]▶［クラウド設定］▶画面の表示に従って操作

※1［クラウドと同期］の操作にはパケット通信料がかかります。

※2 ドコモクラウドを初めて利用する場合は、ホーム画面で［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［ドコモクラウド］をプレスして設定を行います。シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［ドコモのサービス／クラウドの設定を行う］▶［ドコモクラウド］をプレスします。

ドコモクラウドを設定すると、データをサーバーに保管したり、パソコンでデータを編集したりできます。

［クラウド設定］の操作にはパケット通信料がかかります。

■メモの内容画面での主な操作

メモの削除：[メニュー]▶［削除する］▶［削除する］▶［OK］

メモを赤外線で送信：[メニュー]▶［赤外線で送信する］▶［開始］

スケジュール

予定を管理できます。

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[スケジュール]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［スケジュール帳・目覚ましを使う］▶［予定を見る・登録する］

カレンダー画面が表示されます。

■カレンダー画面での主な操作

先月／翌月の切り替え：◀（先月）／▶（翌月）をプレス

今月に切り替え：[メニュー]▶［当月に移動］

予定リスト一覧の表示：[メニュー]▶［予定の一覧］

クラウドのデータと同期※1：[メニュー]▶［クラウドと同期］▶確認画面で［はい］

予定通知時の振動の動作を設定：[メニュー]▶［振動の設定］▶動作を選択

ドコモクラウドの利用※2：[メニュー]▶［クラウド設定］▶画面の表示に従って操作

※1［クラウドと同期］の操作にはパケット通信料がかかります。

※2 ドコモクラウドを初めて利用する場合は、ホーム画面で［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［ドコモクラウド］をプレスして設定を行います。シンプルメニューの場合は、待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［ドコモのサービス／クラウドの設定を行う］▶［ドコモクラウド］をプレスします。

ドコモクラウドを設定すると、データをサーバーに保管したり、パソコンでデータを編集したりできます。

［クラウド設定］の操作にはパケット通信料がかかります。

◆予定の登録

1 カレンダー画面で[メニュー]▶[予定の登録]

2 各項目を設定

3 [登録する]▶[OK]

❖通知の時刻になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で予定の表示や通知の停止ができます。

1 通知画面で目的の操作を行う

予定の表示：[予定を表示する]
詳細画面が表示され、予定の修正や削除ができます。
通知の停止：[閉じる]

◆予定の表示

スケジュールに登録した予定の詳細を表示します。

1 カレンダー画面で日付をプレス

- 予定一覧で［メニュー］▶［当日に移動］をプレスすると、今日の予定一覧画面が表示されます。

2 予定をプレス

■予定の詳細画面での主な操作

予定の修正：[メニュー]▶[修正する]▶修正する項目をプレスして修正▶[編集を完了]▶[OK]
予定の削除：[メニュー]▶[削除する]▶[削除する]▶[OK]
赤外線で送信する：[メニュー]▶[赤外線で送信する]▶[開始]

目覚まし

通常の目覚ましだけでなく、眠りの状態を検出して眠りの浅いときに鳴動するスッキリ目覚ましを設定できます。

- 最大10件登録できます。スッキリ目覚ましを設定できるのは1日に1件のみです。
- スッキリ目覚ましは、十分に充電されている状態でないと動作しません。充電しながら利用することをおすすめします。

◆目覚ましの登録／編集

1 ホーム画面で[目覚まし]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［便利なツールを使う］▶［スケジュール帳・目覚ましを使う］▶［目覚ましを使う］

- 目覚まし一覧で［メニュー］をプレスすると、目覚ましの全件削除、スッキリ目覚ましの注意表示設定、睡眠ログの起動の操作ができます。

2 [目覚ましの登録]

登録した目覚ましの編集：目覚ましを選択

- 目覚ましの左端にある目覚ましアイコンをプレスして、［目覚まし動作］を設定することもできます。

登録した目覚ましの削除：目覚ましを選択▶［削除］▶［削除する］▶［OK］

- 操作3以降は必要ありません。

3 各項目を設定

目覚まし動作：目覚まし方法を設定したり、目覚ましの設定を停止したりします。
時刻：目覚ましの時刻を設定します。
スッキリ目覚まし鳴動範囲：スッキリ目覚ましの動作範囲を設定します。

- ［目覚まし動作］で［スッキリ目覚まし］を選択すると設定できます。

繰り返し：目覚ましの繰り返しを設定します。
メモ：メモを設定します。
音：目覚まし音を設定します。
音量：目覚まし音の音量を設定します。
バイブレータ：目覚まし時刻に振動するかを設定します。

4 [完了]▶[OK]

- ［目覚まし動作］で［スッキリ目覚まし］を選択していると、注意画面が表示されます。［OK］をプレスします。

❖目覚ましの時刻になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で停止します。

1 通知画面で[停止]または ボタンを押す

- [OK] ▶ [OK] をプレスすると、5分後に再通知されます。

お知らせタイマー

タイマーを設定します。

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[お知らせタイマー]

シンプル：待受画面で[メニュー] ▶ [便利なツールを使う] ▶ [お知らせタイマーを使う]

2 時間を指定▶[開始]

カウントダウンが始まります。

- カウントダウン中に[中断]をプレスすると、[中断して終了]／[タイマーに戻る]／[設定をやり直す]のいずれかの操作ができます。

❖指定した時間が経過すると

通知画面の表示、通知音、振動でお知らせします。次の操作で停止します。

1 通知画面で[停止]▶[OK]

- ボタンを押しても停止できます。

電卓

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[電卓]

シンプル：待受画面で[メニュー] ▶ [便利なツールを使う] ▶ [電卓を使う]

2 計算する

すべて消去：[AC]
入力した字を1文字削除：[1字削除]
電卓の終了：[終了]

辞書

電子辞書を利用します。

❖広辞苑 第六版 DVD-ROM版を使う

■用語を入力して検索する

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[辞書]

シンプル：待受画面で[メニュー] ▶ [便利なツールを使う] ▶ [辞書を使う]

2 [広辞苑 第六版 DVD-ROM版を使う]

3 [用語を入力して検索する]▶キーワードを入力▶[検索実行]

検索結果のリスト画面が表示されます。

4 リスト画面の項目を選択

項目の詳細画面が表示されます。

■種別を選んで検索する

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[辞書]

シンプル：待受画面で[メニュー] ▶ [便利なツールを使う] ▶ [辞書を使う]

2 [広辞苑 第六版 DVD-ROM版を使う]

3 [種別を選んで検索する]

検索条件が表示されます。

4 [慣用句検索]／[漢字検索]／[人名検索]／[地名検索]／[作品名検索]／[季語検索]のいずれかをプレス

5 画面に従って操作

❖和英辞典・英和辞典を使う

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[辞書]

シンプル：待受画面で[メニュー] ▶ [便利なツールを使う] ▶ [辞書を使う]

2 [新和英中辞典 第5版を使う]／[新英和中辞典 第7版を使う]

3 キーワードを入力▶[検索実行]

検索結果のリスト画面が表示されます。

4 リスト画面の項目を選択

項目の詳細画面が表示されます。

ドコモバックアップ

ドコモバックアップでは、microSDカードまたはデータ保管BOXにデータをバックアップしたり、バックアップしたデータを本端末に復元したりできます。

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア利用許諾規約に同意いただく必要があります。

◆microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、メール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップ／復元ができます。

1 ホーム画面で[あんしんツール]▶[ドコモバックアップ]▶[microSDカードへ保存・復元]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［ドコモバックアップを使う］▶［microSDカードへ保存・復元］

SDカードバックアップのメニュー画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

microSDカードにバックアップ：[バックアップ]▶バックアップするデータを選択▶[バックアップ開始]▶[開始する]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

本端末に復元：[復元]▶復元するデータの種別で[選択]▶復元するデータを選択▶[選択]▶復元方法を選択▶[復元開始]▶[開始する]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

✔お知らせ

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パックおよびmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、写真・ビデオなどのデータは本体メモリに保存されます。本アプリでは写真・ビデオなどのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- F-06F以外の端末でバックアップした電話帳を本端末で復元をした場合、本端末に対応していない項目（電話帳内の画像やチャットなど）は表示されません。表示されない項目でも情報が保持されているものがあります。本端末でバックアップした後、対応している端末で復元すると表示されます。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 各機能や操作の詳しい説明、その他のメニュー項目の説明については、［メニュー］▶［ヘルプ］をプレスしてご確認ください。

◆データ保管BOXへ保存・復元

通話履歴、音楽、ブックマークのデータをデータ保管BOXにバックアップまたは本端末に復元します。

1 ホーム画面で[あんしんツール]▶[ドコモバックアップ]▶[データ保管BOXへ保存・復元]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［ドコモバックアップを使う］▶［データ保管BOXへ保存・復元］

データ保管BOXのメニュー画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

- ログインについての確認画面が表示された場合は、画面の案内に従って操作してください。

データ保管BOXにバックアップ：[バックアップ]▶バックアップするデータを選択▶[バックアップ開始]▶[開始する]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

本端末に復元：[復元]▶復元するデータの種別で[選択]▶復元するデータを選択▶[選択]▶復元方法を選択▶[復元開始]▶[開始する]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

✔お知らせ

- 定期バックアップ設定は、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。
- データ保管BOXから復元する場合、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。ただし、機種変更の際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

歩数計～からだライフ～

本端末内蔵の各種センサーなどにより毎日の活動量や生活習慣を数値化して、健康管理をサポートする各種アプリを利用できます。
本端末を持ち歩くだけで、毎日の歩数や活動量などのデータに応じたアドバイスを、お申し込みいただいたコースにより受け取ることができる「からだライフ」サービスとも連携します。

- 本端末やパソコンから利用できる「からだライフ」サービスは、利用登録が必要な無料のサービスです。ただし、サービス利用に必要なインターネットサービスプロバイダー（ISP）の接続料やパケット通信料がかかります。
- 体組成計や血圧計は、対応の機器が必要です。対応状況は、機器メーカにお問い合わせください。

1 **ホーム画面で[健康・ショッピング]▶[歩数計]**

シンプル：**待受画面で［メニュー］▶［健康ツールを使う］▶［歩数・活動量計を使う］**

- 初回起動時は、サービスの利用登録画面が表示されます。画面の案内に従って操作してください。

2 **各機能・アプリを操作**

- 各機能・アプリの詳しい説明については、歩数計～からだライフ～のホーム画面右上の?をプレスしてください。

■お知らせ

配信された最新の情報やメンテナンス情報などを確認できます。

■歩数・活動量

歩いた歩数、距離、消費カロリーや脂肪燃焼量、活動量を表示することができる機能です。

■歩き旅コース

「からだライフ」に登録して持ち歩くと、歩いた歩数から日本の名所を巡り、各所の写真や歴史上のできごとを見て歩く、仮想の旅が楽しめる機能です。

■体組成

体組成計から受信した体重や体脂肪などの情報を確認したり、編集したりする機能です。

■パルス・血圧

血圧計から受信した脈拍と血圧の情報などを確認したり、編集したりする機能です。

■睡眠ログ

睡眠中の状態を記録し、睡眠時間、ぐっすり睡眠状態、寝返りやいびきの状態などをグラフ表示します。
また、いびきの録音再生※ができます。
測定結果から睡眠に関するアドバイスが表示されます。

※ 周囲の音の影響により、いびき以外の音を録音する場合があります。

■健康関連アプリ

「パルスチェッカー」ではカメラで脈拍を測定、「高橋尚子のウォーキングクリニック」、「高橋尚子のランニングクリニック」ではウォーキングやランニングのフォームを診断し、アドバイスを受けることができます。

■ネットサービス

「利用設定」で「からだライフ」サービスの利用登録／変更／解約、「サービスメニュー」で「からだライフ」サービスの確認、「生活習慣病サポート」で糖尿病や高血圧症などの生活習慣病向けネットサービスへの申し込みができます。

本体設定

設定メニュー

◆設定メニュー【標準】

ホーム画面で［設定］をプレスして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー		参照ページ
自分の電話番号		49
簡単モード切替	マナーモード	95
	公共モード	95
	機内モード	96
	Wi-Fi	103
	Bluetooth	68
	GPS機能	85
電話の設定	伝言メモ	44
	通話メモ	45
	発信者番号通知	46
	ネットワークサービス	
	あわせるボイス	43
	海外設定	125
	詳細設定	46
	通話時間	
	オープンソースライセンス	
画面・ランプの設定	トップ画面の設定	96
	ホーム画面の設定	96
	配色テーマの設定	97
	画面の明るさ	97
	消灯までの時間	97
	画面の自動回転	98
	いつでもズーム	98
	着信ランプ	98
	詳細設定	98

メニュー		参照ページ
音・振動・タッチの設定	電話・メール着信時の設定	99
	メディア音量	100
	アラーム音量	100
	通知音	100
	マイク入力	101
	ダイヤルパッド操作音	101
	らくらくタッチ	101
	タッチ／プレス時の振動	101
	タッチ／プレス操作	102
	詳細設定	102
通話音声の設定	響カット	43
通信の設定	Wi-Fi	103
	Wi-Fi設定	
	Bluetooth	68
	Bluetooth設定	
	BluetoothLE設定	70
	データ使用	105
	モバイルネットワーク	105 106 123
	VPN設定	106
	SMS使用アプリケーション[※1]	－
セキュリティの設定	セキュリティロック画面	109
	解除方法変更	109
	SIMカードロック[※2]	108
	パスワード表示	110
	提供元不明のアプリ	110
	信頼できる認証情報	110
	証明書のインストール	110
	認証情報の消去	111
	SDカードパスワード	111
ドコモのサービス／クラウド	docomo ID設定	112
	ドコモクラウド	
	アプリケーション管理	
	ドコモアプリパスワード	
	ドコモ位置情報	
	端末エラー情報送信	
	遠隔初期化	
	プロフィール設定	
	オープンソースライセンス	

メニュー		参照ページ
エコモードの設定	エコモード	112
	自動エコモード起動	
	電池残量設定	
	エコモード中の設定値	
音声読み上げの設定	音声読み上げ設定	113
	読み上げ操作ガイド	113
	読み上げ操作練習	113
	タッチで動作設定	113
その他	位置情報サービス	85
	ワンタッチブザー	115
	保存領域	117
	文字入力設定	38
	自分からだ設定	118
	バックアップ・リセット	119 131
	日付と時刻	119
	端末情報	120
	メニュー切替	30
	高度な設定※3	120

※1 お買い上げ時は複数のSMSアプリがインストールされていないため、設定できません。
※2 ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
※3 お買い上げ時はユーザー補助アプリがインストールされていないため、［高度な設定］内の［ユーザー補助］は利用できません。

◆設定メニュー【シンプル】

待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］をプレスして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー		参照ページ
マナー・通信の状態などの切替を行う	マナーモードを設定する	95
	公共モードを設定する	95
	機内モードを設定する	96
	Wi-Fiの有効／無効を設定する	103
	Bluetoothの有効／無効を設定する	68
	GPS機能を設定する	85
電話の設定を行う	発信者番号通知を使う	46
	ネットワークサービスを使う	
	あわせるボイスを設定する	43
	海外利用を設定する	125
	電話・電話帳の詳細を設定する	46
	通話時間の合計を確認する	
	オープンソースライセンスを見る	
画面・ランプの設定を行う	トップ画面の表示を設定する	96
	待受画面の表示を設定する	97
	メニュー形式と配色を設定する	97
	画面の明るさを設定する	97
	消灯までの時間を設定する	97
	画面の自動回転を設定する	98
	いつでもズームを設定する	98
	電話着信ランプの色を選ぶ	98
	画面の詳細を設定する	98

メニュー		参照ページ
音・振動・タッチの設定を行う	電話・メール着信時の設定を行う	99
	音楽などメディアの音量を調節する	100
	アラームの音量を調節する	100
	通知音を選ぶ	100
	マイク入力を設定する	101
	ダイヤルパッドのタッチ／プレス操作音を設定する	101
	タッチパネル操作を押込んで確定する	101
	タッチ／プレス時の振動を設定する	101
	タッチ／プレス時の操作を設定する	102
	詳細を設定する	102
通話音声の設定を行う	響カットを設定する	43
通信の設定を行う	Wi-Fiの有効／無効を設定する	103
	Wi-Fiネットワークとの簡単接続設定や詳細設定	
	Bluetoothの有効／無効を設定する	68
	Bluetooth機器の検出や接続をする	
	Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定	70
	データ使用	105
	モバイルネットワーク	105 106 123
	VPNの設定をします	106
	デフォルトのSMSアプリを設定する※1	－

メニュー		参照ページ
セキュリティの設定を行う	セキュリティロック画面を設定する	109
	解除方法を変更する	109
	SIMカードロックを設定する※2	108
	パスワードを表示する	110
	提供元不明のアプリを許可	110
	信頼できる認証情報を表示する	110
	証明書をインストールする	110
	認証情報を消去する	111
	SDカード パスワードの設定を行う	111
ドコモのサービス／クラウドの設定を行う	docomo ID設定	112
	ドコモクラウド	
	アプリのアップデート等の設定をする	
	ドコモアプリで利用するパスワードの設定	
	ドコモ位置情報で位置提供機能を設定する	
	端末エラー情報送信の設定をする	
	遠隔初期化	
	プロフィール設定	
	オープンソースライセンスを見る	
エコモードの設定を行う	エコモード	112
	自動エコモード起動	
	電池残量設定	
	エコモード中の設定値を見る	
音声読み上げを使う	音声読み上げを設定する	113
	音声読み上げ操作を確認する※3	113
	音声読み上げ操作を練習する※3	113
	タッチで音声読み上げ動作を設定する	113

メニュー		参照ページ
その他の設定を行う	位置情報サービスを設定する	85
	ワンタッチブザーを使う	115
	保存領域を設定する	117
	文字入力の設定を行う	38
	自分からだ設定の登録を行う	118
	バックアップとリセットを行う	119 131
	日付と時刻を設定する	119
	端末情報を見る	120
	メニュー切替を行う	30
	高度な設定を行う	120

※1 お買い上げ時は複数のSMSアプリがインストールされていないため、設定できません。
※2 ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
※3 ［音声読み上げを設定する］の［動作］を［読み上げあり］に設定すると表示されます。

簡単モード切替

- Wi-Fi機能については、「Wi-Fi機能を有効にしてネットワークに接続」をご覧ください。→p.103
- Bluetooth機能については、「Bluetooth機能オン／オフ」をご覧ください。→p.69
- GPS機能については、「GPS機能」をご覧ください。→p.85

◆マナーモードの設定

着信音などをスピーカーから鳴らさずに振動でお知らせするかどうかを設定します。

- マナーモードを設定すると、ステータスバーに（マナーモードのステータスアイコン）が表示されます。

標準

1 **ホーム画面で［設定］▶［簡単モード切替］**

2 **［マナーモード］を［オン］／［オフ］**

シンプル

1 **待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［マナー・通信の状態などの切替を行う］▶［マナーモードを設定する］**

2 **［有効にする］／［無効にする］**

3 **［OK］**

✔お知らせ

- 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
  - ボタンを押す（1秒以上）▶［OK］
  - 携帯電話オプションメニューが表示されるまでボタンを押し続ける▶［通常マナー］▶［OK］
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、カメラ起動中のスクリーンショット音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、BluetoothLE設定のFind Me通知音は鳴ります。

◆公共モード（ドライブモード）の設定

電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスを流すかどうかを設定します。

- 公共モード（ドライブモード）を設定すると、ステータスバーに（ドライブモードのステータスアイコン）が表示されます。

標準

1 **ホーム画面で［設定］▶［簡単モード切替］**

2 **［公共モード］を［オン］／［オフ］**

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[マナー・通信の状態などの切替を行う]▶[公共モードを設定する]

2 [有効にする]/[無効にする]

3 [OK]

✔お知らせ

- ⏻を押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定/解除できます。
- 本端末では、公共モード（ドライブモード）の設定に関わらず、カメラ起動中のスクリーンショット音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、BluetoothLE設定のFind Me通知音、タッチ/プレス操作の操作音は鳴ります。

◆機内モードの設定

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi機能、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi機能およびBluetooth機能は機内モード中に手動で機能を有効にすることができます。

- 機内モードを設定すると、ステータスバーに✈（機内モードのステータスアイコン）が表示されます。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[簡単モード切替]

2 [機内モード]を[オン]/[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[マナー・通信の状態などの切替を行う]▶[機内モードを設定する]

2 [有効にする]/[無効にする]

3 [OK]

✔お知らせ

- ⏻を押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定/解除できます。

画面・ランプの設定

◆トップ画面の設定

トップ画面（誤操作防止用に表示される画面）に関するさまざまな設定を行います。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[画面・ランプの設定]▶[トップ画面の設定]

2 各項目を設定

トップ画像の設定：トップ画面に表示する画像や情報を選択します。

- [めくってピクチャー（複数画像)]／[ファミリーページ]／[アナログ時計]／[1枚画像]／[当月のカレンダー]のいずれかから選択できます。画面の案内に従って操作してください。

充電中の画面表示：充電中にトップ画面が表示されている場合は、画面を消灯しないようにするか、消灯時間の設定に従うかを設定します。

写真の切替時間設定：[トップ画像の設定]に[めくってピクチャー（複数画像)]／[ファミリーページ]を設定している場合は、次の画像に自動で切り替わるまでの時間を設定します。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[画面・ランプの設定を行う]▶[トップ画面の表示を設定する]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは標準の操作2をご覧ください。

3 [完了]▶[OK]

✔お知らせ

- らくらくコミュニティとファミリーページの詳細については、「らくらくコミュニティ」と「ファミリーページ」をご覧ください。→p.65

◆ホーム画面の設定【標準】

ホーム画面（→p.27）に関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で[設定]▶[画面・ランプの設定]▶[ホーム画面の設定]

2 各項目を設定

ｉチャネル：ｉチャネルの表示を契約に応じて切り替えるか、常に表示しないようにするかを設定します。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルを表示するかどうかを設定します。
アイコンの並び替え：カテゴリ別アプリや、基本アプリ（電話・メール・電話帳・ワンタッチダイヤル・ｉチャネル以外のアプリ）を移動します。基本アプリをカテゴリ別アプリエリアに移動することはできません。
- ［初期状態に戻す］をプレスすると、アプリの並び順をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

カテゴリの並び順変更：カテゴリの並び順を変更します。
ウィジェット：→p.33
ブックマークの貼付け解除：ホーム画面に貼り付けられているブックマークの貼り付けを解除します。
- ブックマークをホーム画面に貼り付けている場合に設定できます。→p.63

◆待受画面の設定【シンプル】

待受画面（→p.28）に関するさまざまな設定を行います。

1 **待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［画面･ランプの設定を行う］▶［待受画面の表示を設定する］**

2 **各項目を設定**

背景画像：待受画面に表示する画像を設定します。
時計表示：時計を表示するかどうかを設定します。
ｉチャネル表示の設定：ｉチャネルの表示を契約に応じて切り替えるか、常に表示しないようにするかを設定します。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルを表示するかどうかを設定します。
使い方ヘルプ表示：使いかたヘルプを表示するかどうかを設定します。

3 **［完了］▶［OK］**

◆配色テーマの設定【標準】

トップ画面とホーム画面の配色を設定します。
- お買い上げ時の設定は、端末色によって異なります。

1 **ホーム画面で［設定］▶［画面･ランプの設定］▶［配色テーマの設定］**

2 **項目を選択▶［OK］**

◆メニュー形式と配色の設定【シンプル】

メニュー形式と配色を設定します。

1 **待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［画面･ランプの設定を行う］▶［メニュー形式と配色を設定する］**

2 **各項目を設定**

メニュー形式：待受画面で［メニュー］をプレスしたときに表示される項目の表示形式を設定します。
画面の配色：画面の配色を設定します。

3 **［完了］▶［OK］**

◆画面の明るさの設定

画面の明るさを設定します。

標 準

1 **ホーム画面で［設定］▶［画面･ランプの設定］▶［画面の明るさ］**

2 **各項目を設定**

自動調整：周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動で調整するかどうかを設定します。
明るさ調整：画面の明るさの調整範囲を設定します。
スーパークリアモード：太陽光の下でも画面を見やすくするかどうかを設定します。

シンプル

1 **待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［画面･ランプの設定を行う］▶［画面の明るさを設定する］**

2 **各項目を設定**

各項目について、詳しくは 標 準 の操作2をご覧ください。

3 **［完了］▶［OK］**

◆消灯までの時間設定（スリープモード）

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 **ホーム画面で［設定］▶［画面･ランプの設定］▶［消灯までの時間］**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［画面・ランプの設定を行う］▶［消灯までの時間を設定する］

2 **時間を選択▶［OK］**

✔お知らせ

- 持ってる間ON設定中は、本端末の静止状態を判定するため、設定した時間より約2分長くなる場合があります。

◆画面の自動回転の設定

本端末の向きに合わせて画面を回転させるかどうかを設定します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[画面･ランプの設定]

2 [画面の自動回転]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[画面･ランプの設定を行う]▶[画面の自動回転を設定する]

2 [有効にする]／[無効にする]

3 [OK]

✔お知らせ

- アプリによっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆いつでもズームの設定

[カメラ]ボタンを押し続けている間、画面を拡大するかどうかを設定します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[画面･ランプの設定]

2 [いつでもズーム]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[画面･ランプの設定を行う]▶[いつでもズームを設定する]

2 [拡大画面あり]／[拡大画面なし]

3 [OK]

✔お知らせ

- 次の場合は、本設定を有効にしても動作しません。
  - ホーム画面または待受画面表示中
  - 音声読み上げ設定を有効にしているとき
  - カメラ起動中
  - [カメラ]ボタンを利用しているアプリを起動しているとき
  - 文字入力中

◆着信ランプの設定

電話着信時などのお知らせランプ（着信ランプ）の色を設定します。

1 ホーム画面で[設定]▶[画面･ランプの設定]▶[着信ランプ]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［画面・ランプの設定を行う］▶［電話着信ランプの色を選ぶ］

2 項目を選択

3 [完了]▶[OK]

◆画面・ランプの詳細設定

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[画面･ランプの設定]▶[詳細設定]

2 各項目を設定

インテリカラー：蛍光灯、電球、太陽光など、周囲の光環境に合わせて画面の色味を自動で調整するかどうかを設定します。

持ってる間ON：本端末を手に持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかどうかを設定します。

動画補正：動画（テレビやアルバムなど）の画質補正をするかどうかを設定します。

- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、1080p以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。

静止画補正：静止画（アルバム）の画質補正をするかどうかを設定します。

スクリーンセーバー：充電中、スリープモードになったときに表示する画像を設定します。スクリーンセーバー起動後は、画面に軽く触れるとスクリーンセーバーを終了することができます。

- シンプルメニューでは表示されません。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[画面･ランプの設定を行う]▶[画面の詳細を設定する]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは標準の操作2をご覧ください。

音・振動・タッチの設定

◆電話・メール着信時の設定

電話着信時の着信音、音量、振動（メール受信時を含む）を設定します。

❖電話着信時の着信音設定

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音・振動・タッチの設定]▶[電話・メール着信時の設定]

2 [着信音]

3 [鳴らさない]／[内蔵メロディ]／[ダウンロード]のいずれかをプレス

- [鳴らさない] をプレスした場合は、操作5に進みます。

4 着信音を選択▶[このメロディを選択]

5 [OK]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音・振動・タッチの設定を行う]▶[電話・メール着信時の設定を行う]▶[電話着信時の着信音を選ぶ]

2 [着信音]

3 [鳴らさない]／[内蔵メロディ]／[ダウンロード]のいずれかをプレス

- [鳴らさない] をプレスした場合は、操作5に進みます。

4 着信音を選択▶[選択する]

5 [完了]▶[OK]

✔お知らせ

- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

❖電話着信時の音量設定

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音・振動・タッチの設定]▶[電話・メール着信時の設定]▶[着信音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節▶[完了]▶[OK]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音・振動・タッチの設定を行う]▶[電話・メール着信時の設定を行う]▶[電話着信時の音量を調節する]▶[呼出音量]

2 [＋]／[－]をプレスして音量を調節▶[決定]▶[完了]▶[OK]

✔お知らせ

- 本設定は、通知時の音量設定（→p.100）と連動しています。
- 操作2で[+][-]ボタンを押しても音量を調節できます。

❖電話・メール着信時の振動設定

電話着信時とメール受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

- マナーモード中は設定できません。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音・振動・タッチの設定]▶[電話・メール着信時の設定]

2 [振動]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音・振動・タッチの設定を行う]▶[電話・メール着信時の設定を行う]▶[電話・メール着信時の振動を設定する]

2 [有効にする]／[無効にする]

◆メディア音量の設定

テレビ、ネットラジオ、radiko.jp（ラジオ）、メディアプレイヤー、ボイスレコーダー、インターネット（動画再生）、ゲームなどの再生音やスケジュールの通知音の音量を調節します。

標 準

1 ホーム画面で［設定］▶［音・振動・タッチの設定］▶［メディア音量］

2 スライダーをスライドして音量を調節▶［完了］▶［OK］

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音・振動・タッチの設定を行う］▶［音楽などメディアの音量を調節する］

2 ［＋］／［－］をプレスして音量を調節▶［決定］▶［OK］

✔お知らせ

- 操作2で⊞⊟ボタンを押しても音量を調節できます。

◆アラーム音量の設定

お知らせタイマー（→p.89）の通知音の音量を調節します。

標 準

1 ホーム画面で［設定］▶［音・振動・タッチの設定］▶［アラーム音量］

2 スライダーをスライドして音量を調節▶［完了］▶［OK］

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音・振動・タッチの設定を行う］▶［アラームの音量を調節する］

2 ［＋］／［－］をプレスして音量を調節▶［決定］▶［OK］

✔お知らせ

- 操作2で⊞⊟ボタンを押しても音量を調節できます。

◆通知音の設定

SMS、メール、パソコンメール受信時などの通知音と音量を設定します。

❖通知時の音設定

標 準

1 ホーム画面で［設定］▶［音・振動・タッチの設定］▶［通知音］

2 ［通知音］

3 ［鳴らさない］／［内蔵メロディ］／［ダウンロード］のいずれかをプレス
- ［鳴らさない］をプレスした場合は、操作5に進みます。

4 通知音を選択▶［このメロディを選択］

5 ［OK］

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音・振動・タッチの設定を行う］▶［通知音を選ぶ］▶［通知時の音を選ぶ］

2 ［通知音］

3 ［鳴らさない］／［内蔵メロディ］／［ダウンロード］のいずれかをプレス
- ［鳴らさない］をプレスした場合は、操作5に進みます。

4 通知音を選択▶［選択する］

5 ［完了］▶［OK］

❖通知時の音量設定

標 準

1 ホーム画面で［設定］▶［音・振動・タッチの設定］▶［通知音］▶［音量］

2 スライダーをスライドして音量を調節▶［完了］▶［OK］

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音・振動・タッチの設定を行う］▶［通知音を選ぶ］▶［通知音の音量を調節する］

2 ［＋］／［－］をプレスして音量を調節▶［決定］▶［OK］

✔お知らせ

- 操作2で[+][-]ボタンを押しても音量を調節できます。
- 本設定は、電話着信時の音量設定（→p.99）と連動しています。

◆マイク入力の設定

1 ホーム画面で[設定]▶[音・振動・タッチの設定]▶[マイク入力]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音・振動・タッチの設定を行う］▶［マイク入力を設定する］

2 [端末のマイク]／[イヤホンマイク]

- マイクなしのステレオイヤホン接続時は［端末のマイク］を選択してください。

3 [OK]

◆ダイヤルパッド操作音の設定

ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音・振動・タッチの設定]

2 [ダイヤルパッド操作音]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音・振動・タッチの設定を行う]▶[ダイヤルパッドのタッチ／プレス操作音を設定する]

2 [鳴らす]／[鳴らさない]

3 [OK]

◆らくらくタッチの設定

タッチパネル操作時に画面を押し込む操作を行うかどうかを設定します。

- らくらくタッチを有効にしている場合の操作については「プレス」をご覧ください。→p.24

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音・振動・タッチの設定]

2 [らくらくタッチ]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音・振動・タッチの設定を行う]▶[タッチパネル操作を押込んで確定する]

2 [確定する]／[確定しない]

3 [OK]

◆タッチ／プレス時の振動設定

タッチ／プレスしたときの振動の強さを設定します。

1 ホーム画面で[設定]▶[音・振動・タッチの設定]▶[タッチ／プレス時の振動]▶[振動設定]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音・振動・タッチの設定を行う］▶［タッチ／プレス時の振動を設定する］▶［タッチした際の振動の強さを設定する］

2 項目を選択▶[OK]

◆タッチ／プレス操作の設定

❖操作音の設定

画面を操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音･振動･タッチの設定]▶[タッチ／プレス操作]

2 [操作音]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音･振動･タッチの設定を行う]▶[タッチ／プレス時の操作を設定する]▶[タッチ／プレス操作音を設定する]

2 [鳴らす]／[鳴らさない]

3 [OK]

✔お知らせ

- 公共モード（ドライブモード）の設定に関わらず、操作音は鳴ります。

❖うっかりタッチサポートの設定

端末を手に持ったとき、画面の端に触れていてもプレス操作を行うかどうかを設定します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音･振動･タッチの設定]▶[タッチ／プレス操作]

2 [うっかりタッチサポート]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音･振動･タッチの設定を行う]▶[タッチ／プレス時の操作を設定する]▶[うっかりタッチサポートを設定する]

2 [有効にする]／[無効にする]

3 [OK]

◆音・振動・タッチの詳細設定

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[音･振動･タッチの設定]▶[詳細設定]

2 各項目を設定

画面ロック音：トップ画面を解除またはトップ画面以外で画面を消灯させたときに音でお知らせするかどうかを設定します。

ロック解除時の振動：トップ画面を解除したときに振動でお知らせするかどうかを設定します。

充電時の振動：充電開始時および完了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

充電通知音：充電開始時および完了時に音でお知らせするかどうかを設定します。

電池残量警告音：電池残量が少なくなったときに音でお知らせするかどうかを設定します。

気配り着信：走行／歩行時や周囲の音に応じて、電話着信やメール受信時の着信音を自動調整するかどうかを設定します。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音･振動･タッチの設定を行う]▶[詳細を設定する]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは標準の操作2をご覧ください。

通信の設定

- Bluetooth機能については「Bluetooth®通信」をご覧ください。→p.68

◆Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖Wi-Fi機能を有効にしてネットワークに接続

- Wi-Fiに接続すると、ステータスバーに（Wi-Fi接続中のステータスアイコン）が表示されます。

標準

1 ホーム画面で［設定］▶［通信の設定］▶［Wi-Fi］をオンにする

2 ［Wi-Fi設定］▶［ネットワークの選択］▶Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［登録］▶［閉じる］をプレスします。

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［Wi-Fiの有効／無効を設定する］▶［有効にする］▶［OK］

2 ［Wi-Fiネットワークとの簡単接続設定や詳細設定］▶［Wi-Fiの高度な項目を設定する］▶Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［登録］▶［閉じる］をプレスします。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能が有効のときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- アクセスポイントを選択して接続する際に誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力すると［インターネット接続不良により無効］と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても同様のメッセージが表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「docomo ID」の設定が必要です。次の方法で設定してください。
  - 標準：ホーム画面で［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［docomo ID設定］
  - シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［ドコモのサービス／クラウドの設定を行う］▶［docomo ID設定］

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

• あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Wi-Fi設定]▶[ネットワークの選択]

2 [メニュー]▶[ネットワークを追加]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力

4 [セキュリティ]の[編集]▶セキュリティを選択

• セキュリティは［なし］／［WEP］／［WPA/WPA2 PSK］／［802.1x EAP］のいずれかを設定できます。

5 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶[登録]▶[閉じる]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[Wi-Fiネットワークとの簡単接続設定や詳細設定]▶[Wi-Fiの高度な項目を設定する]

2 [メニュー]▶[ネットワークを追加する]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力

4 [セキュリティ]の[編集]▶セキュリティを選択

• セキュリティは［なし］／［WEP］／［WPA/WPA2 PSK］／［802.1x EAP］のいずれかを設定できます。

5 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶[登録]▶[閉じる]

❖Wi-Fiネットワークの切断

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Wi-Fi設定]▶[ネットワークの選択]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択▶[ネットワークから切断]▶[削除する]▶[閉じる]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[Wi-Fiネットワークとの簡単接続設定や詳細設定]▶[Wi-Fiの高度な項目を設定する]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択▶[ネットワークから切断]▶[削除する]▶[閉じる]

❖Wi-Fiの詳細設定

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Wi-Fi設定]▶[詳細設定]

2 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。

• Wi-Fi機能が無効の場合は設定できません。

画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面が消灯したときや充電しているときにWi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。

接続不良のとき無効にする：Wi-Fiネットワークが不安定なとき、Wi-Fiを使用しないようにするかどうかを設定します。

スキャンを常に実行する：Wi-Fi機能が無効のときでもWi-Fiネットワークをスキャンするかどうかを設定します。

Wi-Fi最適化：Wi-Fi機能が有効のとき、消費電力を抑えるようにするかどうかを設定します。

MACアドレス／IPアドレス：MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[Wi-Fiネットワークとの簡単接続設定や詳細設定]▶[Wi-Fiの詳細設定を設定する]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは 標準 の操作2をご覧ください。

❖Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSのプッシュボタン方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[Wi-Fi設定]▶[Wi-Fi簡単登録]

2 [開始する]▶画面の案内に従って操作

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[Wi-Fiネットワークとの簡単接続設定や詳細設定]▶[Wi-Fiを簡単に登録する]

2 [開始する]▶画面の案内に従って操作

✔お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては接続できない場合があります。接続できない場合は手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティによっては、接続できない場合があります。

◆データ使用の設定

モバイルデータ通信の有効／無効を切り替えることができます。また、設定した期間内に通信したデータ使用量に応じて、モバイルデータ利用の警告を表示することができます。

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[データ使用]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［データ使用］

2 [モバイルデータ]をONにする

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- ［メニュー］▶［バックグラウンドデータ制限］にチェックを付けると、バックグラウンドデータを制限することができます。

◆パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]をオフにする

3 内容を確認して[OK]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]▶[無効にする]

3 内容を確認して[OK]▶[OK]

◆アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

❖利用中のアクセスポイントの確認

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］

2 [メニュー]▶[新しいAPN]

3 [名前]▶ネットワークプロファイル名を入力▶[OK]

4 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[メニュー]▶[保存]

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名の一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行うか、アクセスポイント名の一覧画面で［メニュー］▶［新しいAPN］をプレスして再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［通信の設定を行う］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］

2 [メニュー]▶[初期設定にリセット]

✔お知らせ

- アクセスポイント名の一覧画面でアクセスポイントを選択し、［メニュー］▶［APNを削除］をプレスすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

❖VPNの追加

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[VPN設定]

2 [+]▶VPN設定の各項目を設定▶[保存]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[VPNの設定をします]

2 [+]▶VPN設定の各項目を設定▶[保存]

❖VPNへの接続

- VPNに接続すると、ステータスバーにVPN(VPN接続中の通知アイコン)が表示されます。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[VPN設定]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力▶[接続]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[VPNの設定をします]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力▶[接続]

❖VPNの切断

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[VPN設定]

2 切断するVPNを選択▶[切断]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[VPNの設定をします]

2 切断するVPNを選択▶[切断]

セキュリティの設定

◆本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に、契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.109

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の端末に取り付けて使用する場合は、その端末にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

◆PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

標準

1. **ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]▶[SIMカードロック]**
2. **[SIMカードをロック]をオンにする**
3. **PINコードを入力▶[決定]▶[OK]**

シンプル

1. **待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]▶[SIMカードロックを設定する]**
2. **[SIMカードをロックする]**
3. **[有効にする]**
4. **PINコードを入力▶[決定]▶[OK]**

✔お知らせ

- ご契約時は「0000」に設定されています。

❖PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（SIMカードロックの設定）する必要があります。

1 ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]▶[SIMカードロック]▶[SIM PINの変更]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［セキュリティの設定を行う］▶［SIMカードロックを設定する］▶［SIM PINの変更をする］

2 現在のPINコードを入力▶[決定]

3 新しいPINコードを入力▶[決定]

4 もう一度新しいPINコードを入力▶[決定]▶[OK]

❖PINコードの入力

1 電源を入れる▶コード入力画面でPINコードを入力▶[決定]

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コードを入力▶[決定]

2 新しいPINコードを入力▶[決定]

3 もう一度新しいPINコードを入力▶[決定]

◆セキュリティロック

電源を入れたときやスリープモードから復帰したときに認証操作を必要にして、他人が不正に本端末を使用するのを防ぎます。

❖セキュリティロック画面の設定

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]

2 [セキュリティロック画面]を[オン]／[オフ]

3 認証操作

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]

2 [セキュリティロック画面を設定する]

3 認証操作

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

4 [表示する]／[表示しない]

5 [OK]

❖セキュリティロック画面の解除方法の変更

1 ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]▶[解除方法変更]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［セキュリティの設定を行う］▶［解除方法を変更する］

2 認証操作

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

3 解除方法を選択

暗証番号の入力で解除：［暗証番号（数字のみ）］▶4～8桁の暗証番号を入力▶［次へ］▶もう一度暗証番号を入力▶［次へ］▶［OK］

パスワードの入力で解除：［パスワード（英数字記号）］▶英字を含む4～16桁のパスワードを入力▶［次へ］▶もう一度パスワードを入力▶［次へ］▶［OK］

❖セキュリティロックをかける

1 ⏻ボタンを押す

スリープモードになり、セキュリティロックがかかります。

❖セキュリティロック画面の解除

1 スリープモード中に⏻ボタンを押す

2 解除方法の種類に応じて解除操作

［暗証番号（数字のみ）］の場合：暗証番号を入力▶［決定］

［パスワード（英数字記号）］の場合：パスワードを入力▶［決定］

✔お知らせ

- 解除操作を5回連続して間違えると、［誤った回数が多すぎます］と表示され、残り時間が表示されます。表示が消えてから、もう一度解除操作を行ってください。
- ロックが解除されなくても、セキュリティロック画面から緊急通報をかけることができます。→p.40

◆パスワード表示

暗証番号やパスワードを入力するときに、入力した文字を表示するかどうかを設定します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]

2 [パスワード表示]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]

2 [パスワードを表示する]

3 [表示する]／[表示しない]

4 [OK]

◆提供元不明のアプリのインストールを許可

提供元不明のアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみインストールしてください。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]

2 [提供元不明のアプリ]をオンにする

3 [OK]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]

2 [提供元不明のアプリを許可]▶[許可する]

3 [OK]

◆認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]

2 [信頼できる認証情報]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]

2 [信頼できる認証情報を表示する]

✔お知らせ

- インストールした証明書を削除する場合は、「認証情報の消去」から削除してください。→p.111

❖認証情報や証明書のインストール

- 認証操作が必要になる場合があります。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]

2 [証明書のインストール]

3 インストールする認証情報／証明書を選択

4 必要な場合はパスワードを入力▶[OK]

5 認証情報／証明書の名前を入力▶[OK]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]

2 [証明書をインストールする]

3 インストールする認証情報／証明書を選択

4 必要な場合はパスワードを入力▶[OK]

5 認証情報／証明書の名前を入力▶[OK]

❖認証情報の消去

すべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

標準

1 **ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]**

2 **[認証情報の消去]▶[OK]**

シンプル

1 **待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]**

2 **[認証情報を消去する]▶[OK]**

◆SDカードパスワードの設定

microSDカードにパスワードを設定して、他人が不正に使用するのを防ぎます。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

標準

1 **ホーム画面で[設定]▶[セキュリティの設定]**

2 **[SDカードパスワード]▶認証操作**

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

3 **各項目を設定**

- microSDカードの設定状態によって、表示される項目は異なります。

パスワード登録：microSDカードのパスワード（半角16桁以内）を登録します。

- microSDカードごとに1件、最大20件登録できます。最大件数以上の登録があった場合は、最も古い日付の登録情報を削除して登録します。

パスワード認証：本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付けた場合は、パスワードの認証を行います。

パスワード変更：microSDカードのパスワードを変更します。

パスワード削除：microSDカードのパスワードを削除します。

パスワード強制削除：microSDカードのパスワードを含むすべてのデータを削除します。

- 本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付け、本端末でパスワード認証を行う前の場合のみ操作できます。

シンプル

1 **待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[セキュリティの設定を行う]**

2 **[SDカード パスワードの設定を行う]▶認証操作**

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

3 **各項目を設定**

各項目について、詳しくは標準の操作3をご覧ください。

■microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の端末に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

docomo ID設定：ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。
ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウドの設定を行います。
アプリケーション管理：定期アップデート確認などの設定を行います。
ドコモアプリパスワード：ドコモが提供するアプリで利用するパスワードの設定を行います。お買い上げ時は「0000」に設定されています。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。
遠隔初期化：遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
プロフィール設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[ドコモのサービス／クラウドの設定を行う]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは標準の操作2をご覧ください。

✔お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

エコモードの設定

画面が消灯するまでの時間や各種機能を調整して消費電力を抑えます。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[エコモードの設定]

2 各項目を設定

エコモード：オンにすると、すぐにエコモードが起動します。
自動エコモード起動：［電池残量設定］で設定した電池残量より少なくなったときに、エコモードを起動するかどうかを設定します。
電池残量設定：エコモードを起動する電池残量値を設定します。
エコモード中の設定値：エコモードが起動したときの設定内容を確認できます。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[エコモードの設定を行う]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは標準の操作2をご覧ください。

✔お知らせ

- エコモードは①エコモード、②自動エコモード起動の優先順位で動作します。
- お買い上げ時は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。充電が十分でない場合、［自動エコモード起動］が起動しないことがあります。
- アプリによっては、本機能の効果を得られない場合があります。

音声読み上げ

音声読み上げに関する設定を行います。

- 本機能を利用するには、あらかじめらくらくタッチの設定を有効に設定する必要があります。→p.101

◆音声読み上げ設定

音声読み上げの動作、声質、速さ、音量を設定します。

1 ホーム画面で[設定]▶[音声読み上げの設定]▶[音声読み上げ設定]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音声読み上げを使う］▶［音声読み上げを設定する］

2 各項目を設定

動作：音声読み上げを利用するかどうかを設定します。

- 注意画面が表示された場合は、内容を確認して［設定する］をプレスします。

声質：男声か女声かを設定します。

速さ：読み上げる速さを設定します。

音量：音量を調節します。

◆読み上げ操作ガイド

音声読み上げの各操作方法について音声で説明します。

- あらかじめ音声読み上げ設定を有効にしてください。

1 ホーム画面で[設定]▶[音声読み上げの設定]▶[読み上げ操作ガイド]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音声読み上げを使う］▶［音声読み上げ操作を確認する］

2 項目を選択

◆読み上げ操作練習

音声読み上げ操作の練習を行います。

- あらかじめ音声読み上げ設定を有効にしてください。

1 ホーム画面で[設定]▶[音声読み上げの設定]▶[読み上げ操作練習]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［音声読み上げを使う］▶［音声読み上げ操作を練習する］

2 各項目を操作

- 以降は音声の案内に従って、音声読み上げ操作の練習を行ってください。

◆タッチで動作設定

2本の指で3回タッチして音声読み上げ設定の有効／無効を切り替えるかどうかを設定します。

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[音声読み上げの設定]

2 [タッチで動作設定]を[オン]／[オフ]

- オンにして注意画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をプレスします。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[音声読み上げを使う]▶[タッチで音声読み上げ動作を設定する]

2 [有効にする]／[無効にする]

3 [OK]

◆機能説明や情報などの読み上げ

音声読み上げ設定（→p.113）を有効にすると、読み上げに対応する項目に指で軽く触れたとき、画面のタイトルや情報、操作方法などを自動的に読み上げます。ただし、一部のサイトやアプリは対応していない場合や、正しく読み上げない／読み上げを繰り返す場合があります。

- 読み上げまたは操作が可能な画面内の項目単位に、フォーカス（枠）が表示されます。
- 画面に軽く触れたとき、画面によっては読み上げと同時に音がする場合があります。ただし、すぐに指を離すと音は鳴りません。
- 読み上げ中に⊞⊟ボタンを押すと、読み上げの音量が変更されます。
- マナーモード中は、読み上げ音声はスピーカーから出力されません。ただし、イヤホン接続時にはイヤホンへ読み上げ音声を出力します。
- 暗証番号やパスワードを入力しているときは、セキュリティを考慮して読み上げを行いません。イヤホン（ワイヤレスイヤホンを除く）を接続してご利用ください。
- 音声読み上げ設定を有効にすると、Webページの拡大／縮小は利用できません。
- 音声入力アプリは、読み上げの音量を下げてご利用ください。
- 通話保留中は音声読み上げを利用できません。

- 音声読み上げについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
FMWORLD（http://www.fmworld.net/product/phone/f-06f/yomiage/）

❖音声読み上げ設定時の操作

- 一部アプリでの機能が正しく動作しない場合があります。
- 一部アプリでの操作が変更されます（タッチで決定となる操作が、プレスでの決定に変わります）。

操作種別	操作
指で触れている部分のテキスト読み上げ	1本指で項目に触れる、または1本指を動かして項目に触れる
フォーカス部分をテキスト読み上げ（順送り）／（逆送り）	1本指でフリック（右）／（左）
スクロール（上）／（下）／（左）／（右）	2本指で触れたまま指を（上）／（下）／（左）／（右）に動かす、または2本指でフリック（上）／（下）／（左）／（右）
選択項目を決定	1本指でプレス／1本指でダブルタップ
読み上げを中断	2本指でタッチ、または[カメラ]ボタンを押す
画面構成読み上げ	3本指でタッチ
トップ画面の解除	2本指でスライド、または1本指ですばやく下から上へ大きくフリック
もう一度読み上げ	[カメラ]ボタンを押す
画面内をすべて読み上げ	[カメラ]ボタンを押す（3秒以上）※1
現在位置以降をすべて読み上げ	[カメラ]ボタンを押す（3秒未満）※2
単位を切り替えて読み上げ※3	1本指で触れたまま、指を上下にすばやく、こするように操作して単位を切り替えたあと、1本指でフリック（下）／（上）
Webページの読み上げジャンプ指定を切り替えて読み上げ※4	1本指で触れたまま、指を左右にすばやく、こするように操作してジャンプ指定を切り替えたあと、1本指でフリック（下）／（上）
単位読み上げ（次へ）／（前へ）	1本指でフリック（下）／（上）
アラーム音停止	1本指ですばやく下から上へ大きくフリック
スライダーの値を増減（減らす）／（増やす）※5	1本指でフリック（上）／（下）

※1 1秒間隔で「プッ・プッ・ピッ」と音が鳴ります。
※2 1秒間隔で「プッ」と音が鳴ります。
※3 1文字読み→こま切れ読み→段落読みの順に、読み上げるよう切り替えます。
※4 見出しジャンプ→リンクジャンプ→フォームコントロールジャンプの順に読み上げるよう切り替えます。また、Webコンテンツにフォーカスが当たっている状態で操作します。
※5 スライダーにフォーカスが当たっている状態で操作します。

■電話着信時および通話中の操作

操作種別	操作
電話を受ける	1本指ですばやく下から上へ大きくフリック
着信音を止めて、受話口から電話帳に登録されている発信者名を読み上げ※	[カメラ]ボタンを押す
通話保留の解除	[カメラ]ボタンを押す

※ 電話帳に登録されてない場合は発信者番号を読み上げます。

■文字入力時の操作

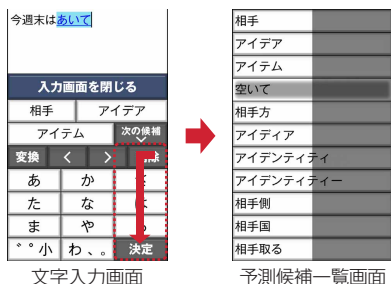
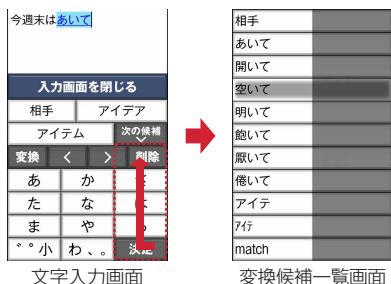
操作種別	操作
親指ベルトを表示	文字を入力した後、ソフトウェアキーボードのふちの部分を外側から内側に指をスライドして「ポロン」という音が鳴ったら、その指を上または下に動かす
編集中の文章全体を読み上げ	文字を確定した後、[カメラ]ボタンを押す（1秒以上）※1、2
編集中の未確定文字の読み上げ	文字を入力した後、[カメラ]ボタンを押す（1秒以上）※1、3

※1 1秒間隔で「プッ・プッ・ピッ」と音が鳴ります。
※2 音声読み上げ設定の［声質］で設定している声で読み上げます。
※3 音声読み上げ設定の［声質］で設定している声と反対の声で読み上げます。

●親指ベルト

親指ベルトとは、文字入力のときに簡単に変換候補／予測候補を選択できるようにする機能です。
文字を入力した後、ソフトウェアキーボードのふちの部分を外側から内側に指をスライドして「ポロン」という音が鳴ったら、その指を上に動かすと変換候補、下に動かすと予測候補が表示されます。親指ベルトの変換候補／予測候補一覧の濃いグレー部分が親指ベルト領域です。

文字入力画面　　変換候補一覧画面

文字入力画面　　予測候補一覧画面

親指ベルト領域では、1本指で上下にスライドすると変換候補／予測候補を選ぶことができます。目的の変換候補／予測候補に薄いグレー部分を移動させ、1本指でプレスして確定します。

ワンタッチブザーの設定

ワンタッチブザーを有効にしておくと、緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。
→p.25

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[ワンタッチブザー]

2 [ワンタッチブザー]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]▶[ワンタッチブザーを使う]▶[ワンタッチブザーを設定する]

2 [有効にする]／[無効にする]

3 [OK]

◆自動音声電話発信の設定

ワンタッチブザーが動作したとき、自動的に音声電話を発信するかどうかを設定します。

- あらかじめワンタッチブザーの設定を有効にしてください。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[ワンタッチブザー]

2 [自動音声電話発信]を[オン]／[オフ]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]▶[ワンタッチブザーを使う]▶[自動で音声電話発信を行う]

2 [発信する]／[発信しない]

3 [OK]

◆発信先番号の登録

ワンタッチブザーが動作したとき、自動的に音声電話を発信する相手を登録します。

- 音声電話を発信する相手は最大3件登録できます。
- 操作4で［ワンタッチダイヤルから選ぶ］または［電話帳から選ぶ］から登録する場合は、あらかじめワンタッチダイヤルまたは電話帳に電話番号を登録してください。→p.45、p.47

標 準

1 ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［ワンタッチブザー］

2 ［発信先番号の登録］

3 ［未設定］

発信先番号を登録している場合は、次の操作を行うことができます。

発信先番号を変更：変更する発信先番号を選択▶［登録相手を変更］▶発信する相手を選択▶［OK］

- 発信する相手を選択した場合は、画面の案内に従って操作してください。

発信先番号を解除：解除する発信先番号を選択▶［発信先番号から解除］▶［OK］

4 目的の操作を行う

ワンタッチダイヤルから選択：［ワンタッチダイヤルから選ぶ］▶発信する相手を選択▶［OK］

電話帳から選択：［電話帳から選ぶ］▶発信する相手を選択▶［OK］

- 発信する相手の電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、発信する電話番号を選択します。

電話帳に新規登録して選択：［電話帳を新規登録する］▶発信する相手を電話帳に登録▶［OK］

- 電話帳の登録方法については、「電話帳を登録【標準】」をご覧ください。→p.47

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［ワンタッチブザーを使う］

2 ［発信先番号の登録を行う］

3 ［未設定］

発信先番号を登録している場合は、次の操作を行うことができます。

発信先番号を変更：変更する発信先番号を選択▶［登録相手を変更］▶発信する相手を選択▶［OK］

- 発信する相手を選択した場合は、画面の案内に従って操作してください。

発信先番号を解除：解除する発信先番号を選択▶［発信先番号から解除］▶［OK］

4 目的の操作を行う

ワンタッチダイヤルから選択：［ワンタッチダイヤルから選ぶ］▶発信する相手を選択▶［OK］

電話帳から選択：［電話帳から選ぶ］▶発信する相手を選択▶［OK］

- 発信する相手の電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、発信する電話番号を選択します。

電話帳に新規登録して選択：［電話帳を新規登録する］▶発信する相手を電話帳に登録▶［OK］

- 電話帳の登録方法については、「電話帳を登録【シンプル】」をご覧ください。→p.47

✔お知らせ

- 発信先番号に設定した電話帳を修正して上書き登録すると、発信先番号も修正した内容に変更されます。
- 次の場合は、発信先番号の設定が解除されます。
  - 発信先番号に設定した電話番号を削除した場合
  - 発信先番号に設定した電話帳を削除した場合

◆ブザー検索設定

GPS機能を利用して居場所を通知できるようにする場合は、イマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。

- あらかじめワンタッチブザーの設定を有効にしてください。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[ワンタッチブザー]

2 [ブザー検索設定]を[オン]／[オフ]

- 「アプリケーションプライバシーポリシー」画面が表示された場合は、内容を確認して［利用開始］をプレスし、画面の案内に従って操作してください。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]▶[ワンタッチブザーを使う]▶[ブザー検索を設定する]

2 [検索する]／[検索しない]

- 「アプリケーションプライバシーポリシー」画面が表示された場合は、内容を確認して［利用開始］をプレスし、画面の案内に従って操作してください。

3 [OK]

保存領域

◆メモリ容量の確認

本端末、microSDカードの合計容量と空き容量を確認します。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]

2 [保存領域]

3 合計容量と空き容量を確認

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]

2 [保存領域を設定する]

3 目的の操作を行う

本端末の合計容量を確認する：[システムメモリ]▶[合計容量]▶内容を確認して[OK]

本端末の空き容量を確認する：[システムメモリ]▶[空き容量]▶内容を確認して[OK]

microSDカードの合計容量を確認する：[microSDカード]▶[合計容量]▶内容を確認して[OK]

microSDカードの空き容量を確認する：[microSDカード]▶[空き容量]▶内容を確認して[OK]

◆microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]

2 [保存領域]▶[microSDカードのマウント解除]▶[OK]

3 [microSD内データを消去]▶認証操作

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

4 [消去する]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]

2 [保存領域を設定する]▶[microSDカードのマウントを解除する]▶[解除する]▶[OK]

3 [microSDカード内のデータを消去する]▶認証操作

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

4 [消去する]▶[OK]

自分からだ設定

健康系のアプリで利用する基本情報や、あわせるビュー、歩数・活動量計の設定を行います。

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[自分からだ設定]

2 各項目を設定

基本設定：誕生日、性別、身長、体重を設定します。

あわせるビュー：年齢に合わせて、画面の色合いを調整するかどうかを設定します。

歩数・活動量計設定：歩数のカウントや活動量の計測を開始するかどうかを設定します。

- カウント中の歩数や計測中の活動量も含めた履歴をすべて削除する場合は、［歩数・活動量の履歴削除］をプレスします。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]▶[自分からだ設定の登録を行う]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは 標 準 の操作2をご覧ください。

❖歩数・活動量計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数／活動量のカウントが正確に行われないことがあります。

✔お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。本端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数や活動量の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や電池残量がゼロの状態で約1か月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

バックアップ・リセット

- データの初期化については、「本端末の初期化」をご覧ください。→p.131

◆かんたんお引越し

microSDカードに保存した携帯電話（富士通／東芝製のFOMA端末）のデータを本端末に復元します。

- 受信／送信／未送信メール、電話帳データ、リダイヤル／着信履歴、スケジュール帳、ブックマーク、アラームのデータを復元できます。
  らくらくホンの場合は、受信／送信／未送信メール、電話帳データ（ワンタッチブザー、ワンタッチダイヤルの設定を含む）、スケジュール帳、ブックマークのデータを復元できます。

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[バックアップ・リセット]▶[かんたんお引越し]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［バックアップとリセットを行う］▶［かんたんお引越しを使う］

2 内容を確認して[OK]

以降は画面の案内に従って操作してください。

- 次回起動時に案内画面を表示しない場合は、［OK］をプレスする前に［以降表示しない］にチェックを付けてください。

✔お知らせ

- メールデータを復元するには、復元完了後に表示される画面で［メールアプリを起動する］をプレスし、画面の案内に従って操作を行ってください。
- 富士通／東芝製のFOMA端末であっても、ご使用の機種によっては、かんたんお引越しに対応していないためデータを復元できないことがあります。

日付と時刻の設定

日付と時刻に関する設定を行います。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[日付と時刻]

2 各項目を設定

24時間表示：時計表示を24時間表示にするか、12時間表示にするかを設定します。

自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。

日付設定：日付を手動で設定します。

- ［自動設定］をオフにすると、設定できます。

時刻設定：時刻を手動で設定します。

- ［自動設定］をオフにすると、設定できます。

タイムゾーン自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。

タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。

- ［タイムゾーン自動設定］をオフにすると、設定できます。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]▶[日付と時刻を設定する]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは 標準 の操作2をご覧ください。

✔お知らせ

- 表示形式を12時間表示に設定しても、写真／動画の情報で表示される時刻などは、12時間表示では表示されません。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェア更新：→p.133
端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。
法的情報：オープンソースライセンスを表示します。
モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[その他の設定を行う]▶[端末情報を見る]

2 項目を確認

各項目について、詳しくは 標 準 の操作2をご覧ください。

高度な設定

◆アプリケーション

❖本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[高度な設定]▶[アプリケーション]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［高度な設定を行う］▶［アプリケーションの管理を行う］

2 アプリを選択

❖アプリのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[高度な設定]▶[アプリケーション]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［高度な設定を行う］▶［アプリケーションの管理を行う］

2 アプリを選択

3 [データを消去]／[キャッシュを消去]

- ［データを消去］を選択した場合は［OK］をプレスします。

❖アプリの削除

- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[高度な設定]▶[アプリケーション]

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［高度な設定を行う］▶［アプリケーションの管理を行う］

2 アプリを選択

3 [アンインストール]▶[OK]

✔**お知らせ**

- アプリを削除すると、標準メニューではホーム画面のアイコンも消去されます。シンプルメニューではメニューは表示されたままですが、起動ができなくなります。

❖アプリの無効化

- アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリは、標準メニューではホーム画面に表示されず、起動もできなくなります。シンプルメニューではメニューは表示されたままですが、起動ができなくなります。ただし、アンインストールはされていません。

1 **ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[高度な設定]▶[アプリケーション]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［高度な設定を行う］▶［アプリケーションの管理を行う］

2 **アプリを選択**

3 **[無効にする]／[有効にする]**

- ［無効にする］を選択した場合は［OK］をプレスします。

✔**お知らせ**

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。有効にしたアプリは、標準メニューでは「その他」カテゴリに配置されます。

◆デバイス管理機能の選択

デバイス管理機能を表示または無効にします。

1 **ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[高度な設定]▶[デバイス管理機能の選択]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［高度な設定を行う］▶［デバイス管理機能を選択する］

2 **項目を選択**

3 **[有効にする]／[無効にする]**

◆ウィジェット表示

トップ画面またはセキュリティロック画面にウィジェットを表示するかどうかを設定します。

- セキュリティロック画面を設定している場合は、トップ画面にウィジェットは表示されません。

1 **ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[高度な設定]▶[ウィジェット表示]**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［高度な設定を行う］▶［ウィジェット表示を設定する］

2 **[ウィジェット表示]を[オン]／[オフ]**

ウィジェットの変更：［ウィジェットの変更］▶［変更］▶ウィジェットを選択▶［決定］▶［OK］

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、クラス5になります。LTEネットワークおよび3Gネットワーク、GSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」
  - 「ドコモ海外利用」アプリのヘルプ

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- 「ドコモ海外利用」アプリのヘルプは、次の操作でご覧ください。
  - 標準：ホーム画面で［乗換・トラベル］▶［ドコモ海外利用］▶ ?
  - シンプル：待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［ドコモ海外利用を使う］▶ ?

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)	LTE
電話	○	○	○	×※2
SMS	○	○	○	○
メール※1	○	○	○	○
ブラウザ※1	○	○	○	○

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をオンにしてください。→p.123
※2 電話は3Gでのご利用となります。

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外で利用する前の確認事項

◆ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について

海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売りのACアダプタ 03、ACアダプタ 04、ACアダプタ 05、ACアダプタ F05、ACアダプタ F06をご利用ください。

■料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆事前設定

■ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。日本国内から（→p.46）、海外から（→p.126）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

[モバイルネットワーク]の[通信事業者]を[自動的に選択]に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント(APN)を設定してから操作してください。→p.106

❖データローミングの設定

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]

2 [モバイルネットワーク]

3 [データローミング]を[オン]/[オフ]

- オンにする場合は、[許可する]をプレスします。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]

2 [モバイルネットワーク]▶[データローミング]

3 [許可する]/[許可しない]

4 [OK]

❖通信事業者の設定

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]▶[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]

シンプル:待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]▶[モバイルネットワーク]▶[通信事業者の選択を行う]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、パケット通信を無効にしてから再度実行してください。→p.105

2 通信事業者のネットワークを選択

✔お知らせ

- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合、日本帰国後に通信事業者を自動選択に設定してください。

❖ネットワークモードの設定

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[通信の設定]

2 [モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]

3 [LTE/3G/GSM(自動)]/[LTE/3G]/[3G]/[3G/GSM]/[GSM]のいずれかをプレス

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[通信の設定を行う]

2 [モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]

3 [LTE/3G/GSM(自動)]/[LTE/3G]/[3G]/[3G/GSM]/[GSM]のいずれかをプレス

4 [OK]

✔お知らせ

- 滞在先で[GSM]に設定した場合は、日本に帰国後、[LTE/3G]または[LTE/3G/GSM(自動)]に設定してください。

❖ディスプレイの表示

国際ローミング中はステータスバーに（国際ローミング中のステータスアイコン）が表示されます。本端末は、LTEネットワークおよび3Gネットワーク、GSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。

- 接続している通信事業者名は、次の方法で確認してください。
  - 標準：ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［端末情報］▶［端末の状態］▶［ネットワーク］
  - シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［端末情報を見る］▶［端末の状態を確認する］▶［ネットワークを表示する］▶［OK］

❖日付と時刻

日付と時刻を自動設定、タイムゾーンを自動設定に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→p.119

❖お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ホーム画面で［電話］

シンプル：待受画面で［電話］▶［電話をかける］

2 ＋（「0」をロングプレス）▶「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 ［電話をかける］

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をオンに設定している場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力▶［電話をかける］▶［変換後の番号で発信］をプレスします。

◆滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話］

シンプル：待受画面で［電話］▶［電話をかける］

2 電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3 ［電話をかける］

◆滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミング利用時の設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

◆海外での発着信設定

海外での着信を規制したり、着信をお知らせする通知の設定やローミングガイダンスの設定をしたりします。

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

❖ローミング時着信規制

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[海外設定]▶[海外使用の設定]▶[ローミング時の着信規制]

2 目的の操作を行う

規制開始：[規制の開始] ▶ [テレビ電話／64Kデータ] または [全て] ▶ [開始する] ▶ [OK] ▶ネットワーク暗証番号を入力
規制停止：[規制の停止] ▶ [停止する] ▶ ネットワーク暗証番号を入力
規制確認：[規制の確認] ▶ [確認する]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[電話の設定を行う]▶[海外利用を設定する]▶[海外で使うときの設定を行う]▶[ローミング時の着信を規制する]

2 目的の操作を行う

規制開始：[ローミング時着信規制を開始する] ▶ [テレビ電話／64Kデータ] または [全て] ▶ [開始する] ▶ [OK] ▶ネットワーク暗証番号を入力
規制停止：[ローミング時着信規制を停止する] ▶ [停止する] ▶ネットワーク暗証番号を入力
規制確認：[ローミング時着信規制を確認する] ▶ [確認する]

❖ローミング着信通知

電源が入っていないときや圏外にいたときの着信が、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知されます（無料）。

標 準

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[海外設定]▶[海外使用の設定]▶[ローミング時の着信通知]

2 目的の操作を行う

通知開始：[通知の開始] ▶ [開始する]
通知停止：[通知の停止] ▶ [停止する]
通知確認：[通知の確認] ▶ [確認する]
通知設定（有料）：[通知の設定（有料）] ▶ [設定する] ▶音声ガイダンスに従って操作

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[電話の設定を行う]▶[海外利用を設定する]▶[海外で使うときの設定を行う]▶[ローミング時の着信通知を設定する]

2 目的の操作を行う

通知開始：[ローミング着信通知を開始する] ▶ [開始する]
通知停止：[ローミング着信通知を停止する] ▶ [停止する]
通知確認：[ローミング着信通知を確認する] ▶ [確認する]
通知設定（有料）：[ローミング着信通知を設定する（有料）] ▶ [設定する] ▶音声ガイダンスに従って操作

❖国際ダイヤルアシスト

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[海外設定]▶[海外使用の設定]▶[国際ダイヤルアシスト]

2 各項目を設定

自動変換機能：自動変換機能のオン／オフを設定します。

国番号：国際電話をかけるときに必要な国番号の設定を行います。

国際プレフィックス：国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を登録できます。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[電話の設定を行う]▶[海外利用を設定する]▶[海外で使うときの設定を行う]▶[国際ダイヤルアシストを設定する]

2 各項目を設定

各項目について、詳しくは 標準 の操作2をご覧ください。

❖ローミングガイダンス

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[海外設定]▶[海外使用の設定]▶[ローミングガイダンス]

2 目的の操作を行う

開始：[ガイダンスの開始]▶[開始する]
停止：[ガイダンスの停止]▶[停止する]
確認：[ガイダンス設定の確認]▶[確認する]

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[電話の設定を行う]▶[海外利用を設定する]▶[海外で使うときの設定を行う]▶[ローミングガイダンスを設定する]

2 目的の操作を行う

開始：[ローミングガイダンスを開始する]▶[開始する]
停止：[ローミングガイダンスを停止する]▶[停止する]
確認：[ローミングガイダンス設定を確認する]▶[確認する]

◆ネットワークサービス（海外）

海外から留守番電話などのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

標準

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[海外設定]▶[海外ネットワークサービス]

2 サービスを選択

留守番電話（有料）：項目を選択して、音声ガイダンスに従って操作します。

転送でんわ（有料）：項目を選択して、音声ガイダンスに従って操作します。

遠隔操作設定（有料）：音声ガイダンスに従って操作します。

番号通知お願い（有料）：音声ガイダンスに従って操作します。

ローミングガイダンス（有料）：音声ガイダンスに従って操作します。

シンプル

1 待受画面で[メニュー]▶[設定を行う]▶[電話の設定を行う]▶[海外利用を設定する]▶[海外からネットワークサービスを使う]

2 サービスを選択

各項目について、詳しくは 標準 の操作2をご覧ください。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ネットワークモードを［LTE/3G/GSM（自動）］に設定します。→p.123
- 通信事業者を自動選択に設定します。→p.123

付録／索引

トラブルシューティング（FAQ）

◆故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→p.133
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源・充電

●本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.20
- 電池切れになっていませんか。→p.21

●画面が動かない／電源が切れない

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に電源ボタンを10秒以上押すと、強制的に再起動することができます。

※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない（お知らせランプが点灯しない、または点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.20
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- 別売りのACアダプタをご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末に正しく接続されていますか。→p.22
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが卓上ホルダと正しく接続されていますか。→p.22
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 別売りのPC接続用USBケーブル T01やmicroUSB接続ケーブル 01などをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせランプ（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■端末操作・画面

●突然電源が落ちる、再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●プレスしたり、ボタンを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→p.23
- スリープモードになっていませんか。電源ボタンを押して解除してください。→p.23

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→p.18

●タッチパネルをプレスしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やテレビの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。→p.21

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止することがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
  - 非常用節電モードの設定→p.25
  - 画面の明るさの設定→p.97
  - 消灯までの時間設定（スリープモード）→p.97
  - エコモードの設定→p.112
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。

●ディスプレイがちらつく

画面の明るさの設定の自動調整を設定していると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→p.97

●ディスプレイに残像が残る

- 端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の自動設定やタイムゾーン自動設定をオンに設定し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→p.119

●端末動作が不安定

- ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次の方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源を切った状態で⏻ボタンを2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えてからトップ画面が表示されるまでの間、−ボタンを押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に［セーフモード］と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
※ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
※ セーフモードを起動すると、らくらくタッチが無効になります。
※ セーフモードを起動すると、一部のアプリがホーム画面やメニュー一覧に表示されず、起動もできなくなります。セーフモードを終了すると、標準メニューでは非表示になっていた一部のアプリが「その他」カテゴリに配置されます。
※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

●プレスしても正しく操作できない

- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

●プレスしても振動しない

らくらくタッチの設定を確認してください。らくらくタッチの設定を有効に設定していても、一部のアプリの一部の操作ではプレスしても振動しないことがあります。→p.101

●プレスしたときの振動が弱い

電池残量が少なくなると振動が弱くなります。

●画面に表示されているメニュー項目やボタンに軽く触れても、枠がついたり色が変化したりしない

らくらくタッチの設定を確認してください。らくらくタッチの設定を有効に設定していても、一部のアプリの一部の操作では枠がついたり色が変化したりしないボタンがあります。→p.101

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→p.121

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→p.23

■通話・音声

●［電話をかける］をプレスしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→p.96

●通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、はっきりボイス、あわせるボイス、ゆっくりボイスを設定すると相手の声が聞き取りやすくなります。→p.42

●通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを取り付け直してください。→p.18、p.20、p.23
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→p.46
- ネットワークモードの種類（LTE／3G／GSM）を変更していませんか。→p.123
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は［しばらくお待ちください（音声サービス）］と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 電話着信時の音量設定を確認してください。→p.99
- 次の機能を起動していませんか。
  - 公共モード（ドライブモード）→p.95
  - マナーモード→p.95
  - 機内モード→p.96
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→p.46
- 伝言メモの応答時間設定を0秒に設定していませんか。→p.44
- 留守番電話サービスの呼出時間設定、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していませんか。→p.46

●電話がつながらない

- ドコモminiUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→p.18
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→p.96

■メール

●メールを自動で受信しない

- メールの受信設定の［メール自動受信］を［手動で受信する］に設定していませんか。→p.54
- パソコンメールのアカウント個別の設定の［受信間隔］を［自動受信は行わない］に設定していませんか。→p.59

■テレビ・カメラ

●テレビの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
  ワンセグアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。
- 視聴場所に合ったチャンネルリストを使用していますか。→p.77

●カメラで撮影した写真やビデオがぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 本端末のカメラには自動撮影機能が搭載されていますが、タッチオートフォーカスの機能を利用してもピントを合わせることができます。→p.80、p.82

■おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→p.73
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→p.73

■海外利用

●海外で、が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、圏外が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークモードの種類を［LTE/3G/GSM（自動）］に変更してください。→p.123
- 通信事業者を自動選択に設定してください。→p.123
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→p.23

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を規制開始にしていませんか。→p.125

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→p.123

■データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→p.19

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像を表示しようとすると［壊れているか利用できない形式です］と表示される

画像データが壊れている場合は［壊れているか利用できない形式です］と表示される場合があります。

■Bluetooth機能

●Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行うには、本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

●カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

◆エラーメッセージ

●空き容量低下
端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。不要なデータを削除し、容量を確保してください。（例えば、アルバム内の撮影データを削除するなど）

端末の空き容量が低下している場合に表示されます。アルバム内の写真やビデオのデータを削除することで、端末の空き容量を増やすことができます。

●しばらくお待ちください（音声サービス）／しばらくお待ちください（データサービス）

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●電池残量がありません。シャットダウンします。

電池残量がありません。充電してください。→p.21

●PINロック解除コードがロックされました

ドコモminiUIMカードがPUKロックされた状態でPINロック解除コードを入力すると表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→p.108

●SIMカードが挿入されていません

ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられているか確認してください。→p.18

●SIMカードはロックされています。

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→p.108

●SIM card 異常
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。

ドコモminiUIMカードのICが汚れているときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモminiUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモminiUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）
へ電話

- 本端末からスマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で［あんしんツール］▶［遠隔サポート］▶［このスマートフォンから発信する］▶［電話をかける］をプレスします。シンプルメニューでは、待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［遠隔サポートを使う］▶［このスマートフォンから発信する］▶［電話をかける］をプレスします。

2 ホーム画面で［あんしんツール］▶［遠隔サポート］

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［あんしん・海外ツールを使う］▶［遠隔サポートを使う］

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ［遠隔サポートの接続画面に進む］▶［同意する］

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

✔お知らせ

- 通話中画面の［メニュー］からも遠隔サポートを起動できます。→p.42

本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- 初期化中に電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。

標準

1 ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［バックアップ・リセット］▶［データの初期化］

本体の各種設定及び、保存領域またはmicroSDカード内の全データが削除される旨のメッセージが表示されます。

2 ［次の画面］

3 ［本体のみ］／［本体とmicroSDカード］

4 認証操作

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

5 ［削除する］

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

シンプル

1 待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［バックアップとリセットを行う］▶［データの初期化を行う］

本体の各種設定及び、保存領域またはmicroSDカード内の全データが削除される旨のメッセージが表示されます。

2 ［次へ］

3 ［本体のみ］／［本体とmicroSDカード］

4 認証操作

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

5 ［削除する］

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

✔お知らせ

- 初期化後、タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

❖アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書または本端末に搭載されている「使いかたガイド」の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→p.127）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■次の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますのでご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の受話口／スピーカー、外側カメラ（動作時）に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-06Fのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページでご案内いたします。

- 更新方法は、次の3種類があります。
  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  即時更新：今すぐ更新を行います。
  予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ソフトウェア更新のご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを取り外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。充電しながら行うことをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - Wi-Fi接続先のアクセスポイントがドコモのネットワークに接続しているとき

  ※ Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません］または［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません］と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のF-06F固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、［ソフトウェア更新に失敗しました。］と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

◆ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新設定が［自動で更新を行う］に設定されています。

1 **ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［端末情報］▶［ソフトウェア更新］**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［端末情報を見る］▶［ソフトウェアを更新する］

2 **［ソフトウェア更新設定の変更］**

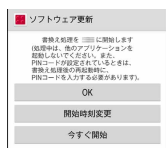
3 **［自動で更新を行う］／［自動で更新を行わない］**

❖ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに(ソフトウェア更新あり）が表示されます。

- (ソフトウェア更新あり）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、(ソフトウェア更新あり）は消えます。

1 **通知パネルを表示して、通知をプレス**

書換え予告画面が表示されます。

書換え予告画面

2 **目的の操作を行う**

確認終了：［OK］

ホーム画面または待受画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

時刻の変更：［開始時刻変更］

予約更新→p.135「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える：［今すぐ開始］

即時更新→p.134「ソフトウェアの即時更新」

✔**お知らせ**

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに(ソフトウェア更新あり）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が［自動で更新を行わない］に設定されている場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには設定メニューから起動する方法と書換え予告画面から起動する方法があります。

〈例〉設定メニューからソフトウェア更新を起動する

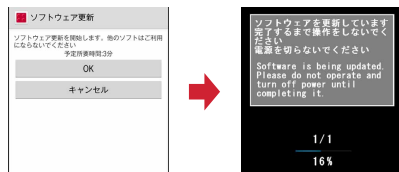
1 **ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［端末情報］▶［ソフトウェア更新］▶［更新を開始する］▶［はい］**

シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［端末情報を見る］▶［ソフトウェアを更新する］▶［更新を開始する］▶［はい］

- ソフトウェア更新の必要がないときには、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。

書換え予告画面からの起動：書換え予告画面を表示▶［今すぐ開始］

2 **［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的に書き換え開始**

- ［OK］をプレスすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動が行われ、ホーム画面または待受画面が表示されます。

❖ソフトウェア更新完了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに（ソフトウェア更新完了）が表示されます。通知パネルを表示して通知をプレスすると、更新完了画面が表示されます。

◆ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書換え予告画面を表示▶［開始時刻変更］

2 時刻を設定▶［設定］

❖予約の時刻になると

開始時刻になると［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

✔お知らせ

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にF-06Fの電源が切れている場合は、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに（ソフトウェア更新中断 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が表示された場合は、次の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 圏外
  - 電池パック外れ
  - 他機能との競合

主な仕様

■本体

品名		F-06F
サイズ		高さ約137mm×幅約67mm×厚さ約9.9mm （最厚部：約9.9mm）
質量		約138g（電池パック装着時）
内蔵メモリ		ROM：8GB RAM：2GB
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約590時間
	GSM	静止時（自動）：約460時間
	LTE	静止時（自動）：約480時間
連続通話時間※2、3	FOMA／3G	約530分
	GSM	約530分
ワンセグ連続視聴時間※4		約480分
充電時間※5		ACアダプタ 03：（単独）約170分、（卓上ホルダ F46使用時）約170分 ACアダプタ 04：（単独）約120分、（卓上ホルダ F46使用時）約120分 ACアダプタ 05：（単独）約120分、（卓上ホルダ F46使用時）約120分 DCアダプタ 03：約200分 DCアダプタ 04：約120分
ディスプレイ	種類	有機EL
	サイズ	約4.5inch
	発色数	16777216色
	解像度	横720×縦1280ピクセル（HD）
撮像素子	種類	外側カメラ：裏面照射型CMOS 内側カメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	外側カメラ：1/3.9inch 内側カメラ：1/8.2inch
カメラ有効画素数		外側カメラ：約810万画素 内側カメラ：約130万画素
カメラ記録画素数（最大時）		外側カメラ：約800万画素 内側カメラ：約120万画素
デジタルズーム	静止画	外側カメラ：最大約10.2倍（32段階）
	動画	外側カメラ：最大約4.0倍（32段階）

静止画記録サイズ		外側カメラ： 8メガ最高画素（3264×2448） 6メガワイド（3264×1840） SNS（2048×1536） フルHD（1920×1080） ケータイメール（640×480） 内側カメラ： 最大画素1.2メガ（1280×960） 画面ぴったり（1280×720） ケータイメール（640×480）
動画記録サイズ		外側カメラ： フルHD（1920×1080） 画面ぴったり（1280×720） ケータイメール（640×480） 内側カメラ： 画面ぴったり（1280×720） ケータイメール（640×480）
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠※6
Bluetooth機能	バージョン	4.0※7
	出力	power class 1
	対応プロファイル※8	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP、ANP、FMP、PASP、PXP、TIP、HOGP
イヤホンマイクジャック		φ3.5mmイヤホンジャック4極
表示言語		日本語
入力言語（文字入力）		日本語、英語

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。
※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
※4 ワンセグ連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
※5 充電時間とは、本端末の電源を切って、電池パックの電池残量がゼロの状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
※6 IEEE802.11nは、2.4GHz／5GHzに対応しています。
※7 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※8 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■電池パック

品名	電池パック F30
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	2100mAh

❖本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

❖静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	本体	microSDカード（1GB）
ケータイメール（640×480）	約40000枚	約8000枚

❖動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	本体	microSDカード（1GB）
ケータイメール（640×480）	約219分（1件あたり約87分）	約43分（1件あたり約43分）

❖本端末で表示できるファイルについて

本端末の「Document Viewer」アプリは、次のファイルの表示に対応しています。

ファイルの種類	拡張子
Microsoft Word 2003	.doc
Microsoft Excel 2003	.xls
Microsoft PowerPoint 2003	.ppt
Microsoft Word 2007／2010	.docx
Microsoft Excel 2007／2010	.xlsx
Microsoft PowerPoint 2007／2010	.pptx
テキスト	.txt
PDF	.pdf

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-06Fの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.460W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.538W/kg※2です。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 Xi/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

◆Declaration of Conformity

The product "F-06F" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.411W/kg for HEAD and 0.426W/kg for BODY. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.37W/kg, and when worn on the body, is 0.42W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F06F).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged

to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.
Warning
This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.
<Prevention of Hearing Loss>
Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「ｉチャネル」「ｉコンシェル」「しゃべってコンシェル」「マチキャラ」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「デコメ®」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「かんたんデコメ」「かざしてリンク」「iD」「公共モード」「パケ・ホーダイ」「メロディコール」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「エリアメール」「spモード」「spモードメール」「声の宅配便」「Xi」「Xi／クロッシィ」「あんしんスキャン」「つながりほっとサポート」「dメニュー」「dマーケット」「dブック」「dミュージック」「dビデオ」「ご当地ガイド」「俳句・写真くらぶ」「スマートフォンあんしん遠隔サポート」「フォトコレクション」「はなして翻訳」「うつして翻訳」「スゴ得コンテンツ」および「ｉチャネル」ロゴ「しゃべってコンシェル」ロゴ「トルカ」ロゴ「おサイフケータイ」ロゴ「エリアメール」ロゴ「声の宅配便」ロゴ「Xi」ロゴ「つながりほっとサポート」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「dブック」ロゴ「ご当地ガイド」ロゴ「俳句・写真くらぶ」ロゴ「スマートフォンあんしん遠隔サポート」ロゴ「フォトコレクション」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「うつして翻訳」ロゴ「スゴ得コンテンツ」ロゴ「メディアプレイヤー」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「ドコモバックアップ」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewerを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- StationMobile®は株式会社ピクセラの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play、Gmailは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- この機器に搭載されている「ゴシックMB101」フォントは株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「ゴシックMB101」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.

- その他の本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本体メモリには以下の辞書コンテンツがインストールされています。
  〈岩波書店〉
  広辞苑 第六版 DVD-ROM版（内蔵版）（新村出編）
  〈研究社〉
  新英和中辞典第7版（内蔵版）（竹林滋、東信行、諏訪部仁、市川泰男編）
  新和英中辞典第5版（内蔵版）（Martin Collick、David P.Dutcher、田辺宗一、金子稔編）

◆オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、次をご参照ください。
  標準：ホーム画面で［設定］▶［その他］▶［端末情報］▶［法的情報］▶［オープンソースライセンス］
  シンプル：待受画面で［メニュー］▶［設定を行う］▶［その他の設定を行う］▶［端末情報を見る］▶［法的情報を確認する］▶［オープンソースライセンス］
  オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから　dメニュー／検索 ▶［お客様サポートへ］
▶「オンライン手続き」の［開く］
▶［ドコモオンライン手続きの一覧をみる］
（パケット通信料無料）

パソコンから　My docomo
（https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/）
▶ ドコモオンライン手続き一覧

※spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● 公共モード（電源OFF／ドライブモード）→p.46、p.95
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンス、または運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

● 振動→p.99
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

● マナーモード→p.95
着信音や操作音など端末から鳴る音を消すことができます。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→p.46

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先〈らくらくホンセンター〉

■携帯電話／一般電話共通

（らくらく）（みんな）
0120-6969-37

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-06Fからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」をロングプレスします）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

'14.7（1版）
CA92002-8506